

# Administration Manual Netbiter<sup>®</sup> Argos

Doc.ID HMSI-27-238  
Rev: 2.30



---

HALMSTAD • CHICAGO • KARLSRUHE • TOKYO • BEIJING • MILANO • MULHOUSE • COVENTRY • PUNE • COPENHAGEN

---

HMS Industrial Networks  
Mailing address: Box 4126, 300 04 Halmstad, Sweden  
Visiting address: Stationsgatan 37, Halmstad, Sweden

E-mail: [info@hms-networks.com](mailto:info@hms-networks.com)  
Web: <http://netbiter.com>

# 必ずお読みください

本ドキュメントは、Netbiter Argos の機能を十分理解していただくためのものです。

## 責任の範囲

本マニュアルは細心の注意を払って作成されています。誤字や脱字があった場合は、HMS Industrial Networks AB にお知らせください。本ドキュメントに記載されているデータや図表は、何ら拘束力を持ちません。HMS Industrial Networks AB は、製品開発に継続的に取り組むという自社のポリシーに基づき、製品に変更を加える権利を留保します。本ドキュメントの内容は予告なく変更される場合があります。また、本ドキュメントの内容は、HMS Industrial Networks AB による何らかの保証を表明するものではありません。HMS Industrial Networks AB は、本ドキュメント内の誤りについて一切の責任を負いません。

本製品は様々な用途に応用可能です。本ソフトウェアの使用者は、必要なあらゆる手段を通じて、本ソフトウェアの用途が適用される法令、規則、規約、規格の定める性能・安全性に関する要件をすべて満たしていることを検証しなければならないものとします。

HMS Industrial Networks AB は、いかなる場合であっても、本製品のドキュメントに記載されていない機能やタイミング、機能の副作用によって生じた不具合について一切の責任を負いません。本製品のかかる側面を直接または間接に使用したことで生じる影響（互換性の問題や安定性の問題など）は、本ドキュメントでは定義されていません。

本ドキュメントの例や図表は、説明のみを目的として使用されています。本製品の個々の使用においては様々なバリエーションや要件が存在するため、本ドキュメントの例や図表に基づいて本製品を使用したことに関して、HMS Industrial Networks AB は一切の責任を負いません。

## 知的所有権

本ドキュメントに記載されている製品に組み込まれた技術に関する知的所有権は HMS Industrial Networks AB に帰属します。この知的所有権には、米国およびその他の国における特許や出願中の特許が含まれます。

## 商標

Netbiter® は、HMS Industrial Networks AB の登録商標です。その他の商標は、各所有者に帰属します。

Netbiter Argos Administration Manual  
Copyright© HMS Industrial Networks AB  
2014 年 9 月

# 目次

前書き	本ドキュメントについて	
	関連ドキュメント.....	6
	ドキュメント更新履歴.....	6
	表記と用語.....	7
	サポート.....	7
<b>第1章</b>	<b>はじめに</b>	
	Netbiter Argos システム.....	8
	Netbiter のサービス.....	9
	Netbiter Argos の概要 (View & Control).....	10
	Netbiter Argos の概要 (Manage & Analyze).....	11
	Netbiter Argos のインターフェース.....	12
	View & Control のインターフェース.....	12
	Remote Access のインターフェース.....	12
	Manage & Analyze のインターフェース.....	12
	利用可能なタブと機能.....	13
	M&A アカウントへのユーザーアクセス.....	14
	V&C アカウントへのユーザーアクセス.....	16
<b>第2章</b>	<b>お使いになる前の準備 - 新規アカウントの作成</b>	
	Netbiter のサービス.....	17
	初回設定とアカウント作成.....	17
	インストール手順.....	18
	フィールドシステムのアクティベート.....	20
	最後の手順 - ネットワーク接続の設定.....	21
	Netbiter ゲートウェイを使用する.....	22
<b>第3章</b>	<b>フィールドシステムの追加 (M&amp;A)</b>	
	新規フィールドシステムの追加.....	23
	フィールドシステムのアクティベート.....	24
	最後の手順 - 接続の設定.....	24
	Ethernet 接続.....	24
	3G/GPRS 接続.....	24
	アクティベートの完了.....	25

## 第4章 Netbiter サービスのアップグレード

### 第5章 フィールドシステムの設定

コンフィグレーション - デバイス .....	29
テンプレートとプロファイル .....	31
テンプレートを使用した新しいデバイスの追加 .....	32
プロファイルを使用した新しいデバイスの追加 .....	33
コンフィグレーション - ゲートウェイ設定 .....	34
GPS の設定 (Netbiter EasyConnect EC220/EC250) .....	34
Modbus の設定 .....	35
SNMP の設定 (サポートされている場合) .....	35
コンフィグレーションの同期 .....	35
コンフィグレーション - 履歴データ .....	36
履歴データの追加 .....	36
コンフィグレーション - 表示設定 .....	38
表示設定の追加 .....	38
コンフィグレーション - アラーム .....	39
アラームパラメータの追加 .....	39
コンフィグレーション - デバイスプロファイルの関連付け .....	40
デバイスプロファイルの関連付け .....	40
サーバー側アラームの設定 .....	41
ダッシュボード .....	41
マップ .....	41
マップの設定 .....	42
バックアップ / ファームウェア .....	43
バックアップ .....	43
ファームウェアのアップデート .....	43
フィールドシステムのプロパティ .....	44

### 第6章 ダッシュボード

ダッシュボードの作成 .....	46
ダッシュボードを編集のために開く .....	47
現在値を値リストとして追加 .....	48
履歴データの追加 .....	51
履歴データをリストウィジェットとして追加 .....	51
履歴データをグラフウィジェットとして追加 .....	52
アラームリストウィジェットの追加 .....	53
描画ウィジェット (現在値表示) の追加 .....	54
描画ツール .....	55
描画領域へのオブジェクトの追加 .....	56
高度な描画ツール .....	62



<b>第7章</b>	<b>レポート (M&amp;A のみ)</b>	
	レポートタイプの概要.....	64
	レポートの作成.....	65
	レポート固有の設定.....	66
	どのレポートを使用すればよいか.....	68
	レポートリスト.....	68
<b>第8章</b>	<b>テンプレートおよびプロファイルの作成</b>	
	デバイステンプレートの作成.....	70
	デバイステンプレートへのパラメータの追加.....	71
	テンプレートのアップロード.....	74
	デバイスプロファイルの作成 (M&A のみ).....	74
	デバイスプロファイルの編集.....	75
	履歴データ、現在値、およびアラームの追加.....	75
	ダッシュボードおよびデフォルトゲートウェイ設定の追加.....	76
<b>第9章</b>	<b>アカウントのコンフィグレーション (M&amp;A)</b>	
	Information.....	77
	サマリーページ.....	77
	履歴データ計算.....	78
	ライセンス.....	79
	サブスクリプション.....	79
	サブスクリプションキーの追加.....	79
	SMS サブスクリプションキーの追加.....	81
	ユーザーサブスクリプションキーの追加.....	83
	[Account] - [Users] タブ.....	84
	ユーザー情報.....	84
	ユーザーの追加.....	86
	既存ユーザーの編集.....	87
	[Account] - [External Data Access] タブ.....	90
	Web サービスのアクセスキーの作成.....	90
	RSS フィードの作成.....	91
	公開プロファイル.....	92
	IP ホワイトリストの使用.....	93
	[Account] - [Customize] タブ.....	94
<b>第10章</b>	<b>他のゲートウェイの使用</b>	
	Netbiter WS シリーズ.....	95
	Netbiter Argos アカウントへの Netbiter WS の追加.....	96
	Netbiter Argos での Netbiter WS の設定.....	97
	Netbiter WS の設定の更新.....	97

## 前書き

## P. 本ドキュメントについて

本マニュアルは、Netbiter Argos アカウントの管理者を主な対象読者としており、アカウントの設定・管理とその構成要素を中心に説明しています。

より詳しい情報や各種ドキュメントは、HMS の Web サイト ([www.netbiter.jp](http://www.netbiter.jp)) から入手いただけます。



**重要!** このユーザーマニュアルで言及されている Netbiter ゲートウェイは主に **EasyConnect** モデルを指し、ここに記載された情報のほとんどは EasyConnect モデルを前提としています。他のタイプの Netbiter ゲートウェイ（たとえば、**Netbiter WS** シリーズの製品など）の使用方法については第 10 章を参照してください。

### P.1 関連ドキュメント

ドキュメント
Netbiter EasyConnect ゲートウェイユーザーマニュアル
EasyConnect EC350 インストレーションガイド
EasyConnect EC250 インストレーションガイド
EasyConnect EC220 インストレーションガイド
EasyConnect EC150 インストレーションガイド
Netbiter WS100 ユーザーマニュアル
Netbiter WS200 ユーザーマニュアル

### P.2 ドキュメント更新履歴

リビジョン	日付	作成者	章	説明
2.30	2014/09	SDa	4	M&A へのアップグレードに関する情報を追加
2.20	2014/06	SDa	複数	新アカウントサービスレベル
2.10	2014/04	SDa	複数	リモートアクセスに関する情報を追加。小規模な変更
2.04	2013/06/18	SDa	複数	SNMP、ヒステリシスロギング、レポートに関する情報を追加
2.03	2013/05/27	SDa	7	「プロジェクトマネージャー」のユーザーレベルを追加
2.02	2013/04/23	SDa	すべて	文章の軽微な修正
2.01	2013/02/28	SDa		誤植の修正
2.00	2012/12	SDa		大幅に更新
1.00	2012/03/02	ViHa		初版

## P.3 表記と用語

本マニュアルでは以下の表記を使用します。

- 番号付きリストは手順を表します。
- 番号なしリストは情報を表します。手順ではありません。

### 用語集

項目	説明
Netbiter Argos データセンター	Netbiter Argos データセンターは、接続されたフィールドシステムからデータを収集して保存するソリューションです。Netbiter Argos には、アラーム管理、レポート作成、データ記録などのさまざまな機能があります。
Netbiter Argos アカウント	Netbiter Argos アカウントは、接続されたフィールドシステムの管理に使用するユーザーアカウントです。
フィールドシステム	フィールドシステムは、ゲートウェイとそれに接続されたすべてのデバイスの集合です。フィールドシステムにはデバイスは複数含まれる場合がありますが、ゲートウェイは 1 台だけです。たとえば、2 台のゲートウェイを所有している場合はフィールドシステムが 2 つ存在することになります。
ゲートウェイ	ゲートウェイとして使用できるのは、Netbiter EasyConnect、Netbiter WS モデル、または Netbiter Argos と互換性のあるサードパーティ製品です。
Netbiter Argos プロジェクト	管理の全体像を把握しやすくするため、接続されたフィールドシステムを複数の Netbiter Argos プロジェクトにグループ分けすることができます。たとえば、特定の現場の住所や特定の顧客などに属するフィールドシステムを 1 つのプロジェクトにまとめることが可能です。
デバイス	デバイスは、ゲートウェイに接続された機器です。デバイスの例としては、ディーゼル発電機コントローラー、UPS、電力計、PLC などがあります。
デバイステンプレート	接続されているデバイスの Modbus または SNMP パラメータを記述したものです。
デバイスプロファイル	プロファイルには、デバイステンプレートに加えて、ユーザーに最適なインターフェースを提供するための追加の設定（ダッシュボードやレポートなど）が格納されています。
同期	Netbiter Argos で設定を追加または変更した場合、それらの変更をゲートウェイと同期する必要があります。同期の完了後、フィールドシステムで変更後の設定が使用可能になります。

## P.4 サポート

お問い合わせとサポートに関する情報は、[support.netbiter.com](http://support.netbiter.com) の各ページをご覧ください。

## 第1章

## 1. はじめに

## 1.1 Netbiter Argos システム

HMS Industrial Networks の Netbiter リモートマネジメントソリューションは、遠隔地にある機器の操作や監視を可能にする他に類を見ない包括的なソリューションです。



Netbiter Argos を構成する主な要素は以下の3つです。

1. **クラウド上で運用されるセキュアなホスティング。** Netbiter Argos データセンターは、接続されたフィールドシステムからのデータを保存し、ユーザーがそれらのデータにアクセスできるようにするセキュアなホスティングサービスです。このデータセンターは、複数の場所に分散した冗長化サーバーを使用して HMS が高度なセキュリティの下に運用しています。Netbiter Argos データセンターにログオンして、フィールドシステムやデバイスを安全に管理することができます。

2. **クラウド管理サービス。** Netbiter Argos は、"クラウドベース"のリモート管理ツール一式を備えています。

- 操作監視のための視覚的なダッシュボード
- アラーム管理
- 診断とトレンドデータ
- 管理レポート
- ユーザーおよびプロジェクト管理
- GPS トラッキング
- 他のビジネスシステム (CRM、ERP、Netbiter Web サービス API など) との統合

3. **Netbiter ゲートウェイ経由の接続。** Netbiter ゲートウェイには現場にあるリモート機器をプラグアンドプレイで接続できます。1 台の Netbiter ゲートウェイとそれに接続された機器 (デバイス) の集合を「フィールドシステム」と呼びます。



**重要!** このユーザーマニュアルで言及されている Netbiter ゲートウェイは主に Netbiter EasyConnect ゲートウェイモデルを指し、ここに記載された情報のほとんどは EasyConnect モデルを前提としています。他のタイプの Netbiter ゲートウェイ (たとえば、**Netbiter WS** シリーズの製品など) の使用方法については、第 10 章を参照してください。

## 1.2 Netbiter のサービス

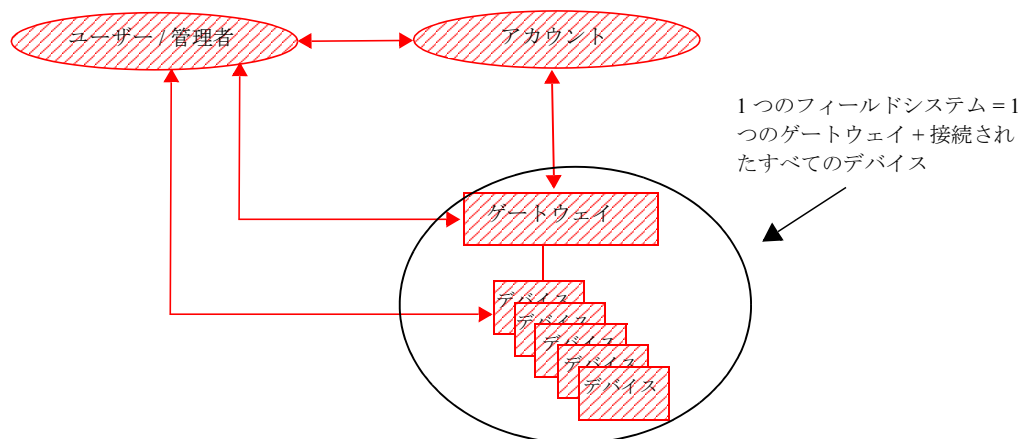
Netbiter Argos には、それぞれさまざまな機能や特徴を備えた各種サービスが用意されています。以下のサービスが利用可能です。

- **View & Control (V&C)** - このサービスは、すべての新規アカウントにおいて、すなわち、Netbiter ゲートウェイを 1 つ登録すると、自動的に利用可能になります。View & Control では、データの記録や現在値、アラームといった基本的なリモート管理機能を利用できます。
- **Remote Access** - これは、インターネットや 2G/3G 携帯電話ネットワーク上のセキュアトンネルを介して接続されたデバイスへのアクセスをサポートする特殊なモードです。この機能は特定のモデルにのみ用意されています (EC310 および EC350)。
- **Manage & Analyze (M&A)** - Netbiter Argos で拡張されたこのサービスは、2 つ以上の Netbiter ゲートウェイで使うことを目的としています。Netbiter のこのサービスを使用すると、以下に示すその他すべての機能を利用できます。
  - プロジェクトの構成と複数サイトの管理
  - ユーザーの追加と管理の機能
  - 複数の Netbiter ゲートウェイの追加
  - レポート
  - サードパーティ製ソフトウェアやカスタムソフトウェアに組み込むための Netbiter Argos API

**View & Control** のサービスでは、Netbiter ゲートウェイを **1 つだけ**しか持てません。また、Netbiter Argos で新規アカウントを作成する際、このサービスが常にデフォルトのサービスになります。

## 1.3 Netbiter Argos の概要 (View & Control)

Netbiter の V&C サービスを使用する場合、Netbiter Argos システムは以下の概念図で表されます。



(管理者でもある) シングルのユーザーは、データ記録、現在値、アラームをはじめとする基本的なリモート管理機能を扱える、1つのフィールドシステムにアクセスできます。Netbiter ゲートウェイでサポートされている場合、このシステムをリモートアクセスに使用することもできます。セクション 1.2 を参照してください。

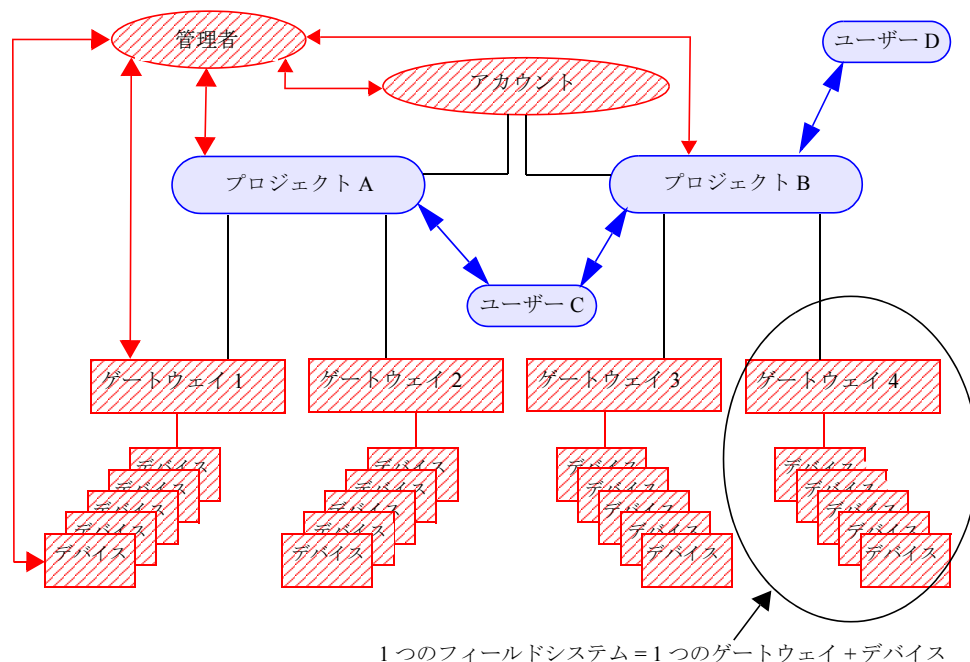
- 
 お使いの Netbiter Argos アカウントを M&A にアップグレードする場合は、お近くの販売店にお問い合わせの上、サブスクリプションキーを購入してください。実際のアップグレード手順については第 4 章を参照してください。

## 1.4 Netbiter Argos の概要 (Manage & Analyze)

Netbiter の M&A サービスを使用する場合、以下に示す Netbiter Argos のすべての機能を利用できます。

- プロジェクトの構成と複数サイトの管理
- 複数のユーザー
- 複数の Netbiter ゲートウェイ
- レポート
- Remote Access 機能
- サードパーティ製ソフトウェアやカスタムソフトウェアに組み込むための Netbiter Argos API へのアクセス

これは以下の概念図で表されます。



**アカウント** - Netbiter Argos の最上位レベルです。アカウントには1つ以上のプロジェクトが含まれます。

**管理者** - 管理者はすべてのデータと設定（アカウント自体も含む）に加えて、アカウントに属するすべてのプロジェクト、フィールドシステム、デバイスにも無制限にアクセスできます。

**プロジェクト** - プロジェクトには1つ以上のフィールドシステムが含まれることから、そのフィールドシステムに属するデバイスも含まれます。アカウントに属するフィールドシステムは、通常、場所、顧客、設置形式などに応じてプロジェクトにグループ分けされています。

**フィールドシステム / デバイス (1台以上)** - 1台のゲートウェイとそれに接続された機器によって1つのフィールドシステムが構成されます。フィールドシステムとデバイスの設定にアクセスできるのは管理者だけです。

**ユーザー** - ユーザーがアクセスできるのはプロジェクトレベルに限られますが、（たとえば、ユーザー C は）複数のプロジェクトにアクセスしてそれらのプロジェクトのデータ、アラーム、レポートを表示できます。あるプロジェクト（たとえば、プロジェクト B）に複数のユーザーを登録することもできます。ユーザーの詳細については、セクション 9.3 を参照してください。

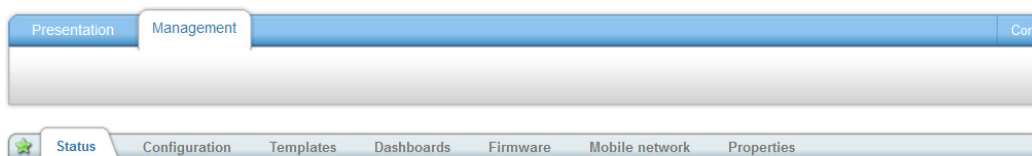
## 1.5 Netbiter Argos のインターフェース

Netbiter Argos データセンターのインターフェースは、アカウントに使用されている Netbiter サービスにより異なります。使用可能なサービスは以下のとおりです。

- **View & Control (V&C)** - この Netbiter サービスでは、データの記録や現在値、アラームといった基本的なリモート管理機能を利用できます。これは 1 つの Netbiter ゲートウェイでのみ使用できます。
- **Remote Access (RA)** - これは、インターネットや 2G/3G 携帯電話ネットワーク上のセキュアトンネルを介して接続されたデバイスへのアクセスをサポートする特殊なモードです。この機能は特定のモデルにのみ用意されています（現在は EC310 および EC350）。
- **Manage & Analyze (M&A)** - この拡張された Netbiter サービスは、2 つ以上の Netbiter ゲートウェイで使うことを目的としています。このサービスでは、View & Control の機能に加え、以下に示すその他すべての機能を利用できます。
  - プロジェクトの構成と複数サイトの管理
  - ユーザーの追加と管理の機能
  - 複数の Netbiter ゲートウェイの追加
  - レポート
  - サードパーティ製ソフトウェアやカスタムソフトウェアに組み込むための Netbiter Argos API

### 1.5.1 View & Control のインターフェース

View & Control レベルのインターフェースは、最大 2 つのタブに制限されており、以下に示すように、1 つは **[Presentation]** タブ、もう 1 つは機能制限された **[Management]** タブです。

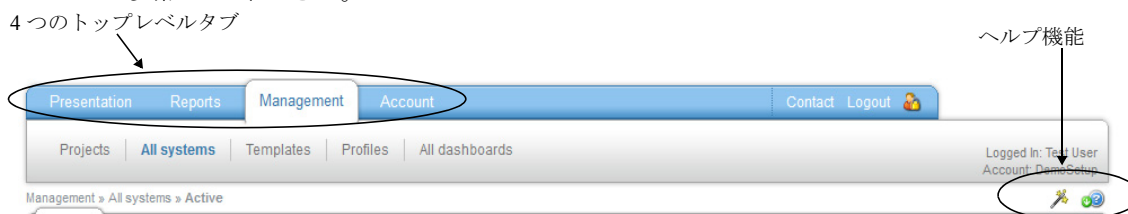


### 1.5.2 Remote Access のインターフェース

**Remote Access (RA)** 機能 (2.3 を参照) も有効にすると、インターフェースがさらに影響を受けます。RA が有効な場合、V&C の **[Presentation]** タブは非表示になります。

### 1.5.3 Manage & Analyze のインターフェース

このタイプのアカウントのインターフェースには 4 つのトップレベルタブが用意されているほか、カスタムページの追加も行えます (94 ページを参照)。このサービスレベルでは複数のユーザーが許容されているため、何にアクセスできるかはユーザーにより異なります。**[Management]** タブと **[Account]** タブ、および設定の全範囲には、アカウント管理者のみ無制限にアクセスできます。ユーザーがアクセスできるのは、以下で最初に説明する 2 つのタブに限られます。ユーザーアクセスの詳細については、次のページを参照してください。







## 1.5.4 利用可能なタブと機能

本セクションでは、各 Netbiter サービスがどの機能を利用できるかを示しながら、利用可能な各種機能の概要について説明します。

### ヘルプ機能（すべての Netbiter サービス）

 マジックワンド（魔法の杖）のアイコンをクリックすると、設定作業に役立つ Netbiter Argos のオンラインガイドが開きます。

 青いクエスチョンマークのアイコンをクリックすると、操作状況に応じた詳細なヘルプを使用できます。オンラインヘルプには、このドキュメントよりも新しい情報が掲載されている場合があります。

### [Presentation] タブ（RA を除く）

このタブは、フィールドシステムのデータの表示に使用します。テキスト、グラフ、画像その他のグラフィカルな要素を使用してデータが表示されます。データと設定は、（ユーザーのアクセス権に応じて）プロジェクト単位やフィールドシステム単位でグループ化して表示できるほか、全プロジェクトの全アラームをリスト形式で表示することができます。Remote Access (RA) モードで実行している場合、V&C アカウントに対してこのタブは表示されません。

M&A ユーザーは、ここに表示された情報にアクセスできますが、（管理者と異なり）設定の変更は行えません。ただし、ユーザーにアラームを確認する権限が与えられている場合、アラームの確認は可能です。

### [Reports] タブ（M&A のみ）

このタブは、料金請求、報告、評価、フォローアップなどの目的でフィールドシステムのデータに基づいてレポートを作成、表示する場合に使用します。レポートは、ユーザーがアクセス可能なプロジェクトからのみ利用できます。レポートの作成・生成が行えるのは M&A の管理者だけです。

### [Management] タブ（V&C および M&A）

M&A の場合、このタブの設定にはアカウント管理者だけがアクセスできます。プロジェクトおよびフィールドシステムのあらゆる側面（アラーム、デバイス、履歴データ、ダッシュボードなど）をこのタブから設定し、維持管理することができます。本ドキュメントでは、主にこの設定について説明します。

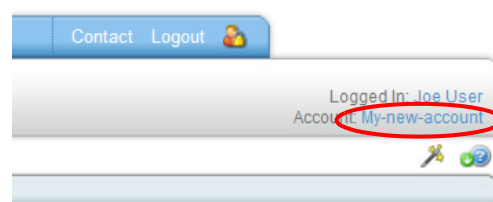
V&C の場合、限定された一部の設定を（許可されたただ 1 人の）ユーザーが利用できます。

### [Account] タブ（M&A のみ）

このタブの設定にはアカウント管理者だけがアクセスできます。ユーザー、ライセンス、外部からのデータへのアクセス、およびアカウント自体の管理をこのタブから行います。また、会社のロゴや会社名などを使用して Netbiter Argos インターフェースをカスタマイズすることもできます。詳細については、第 9 章を参照してください。

### [Account] リンク（V&C のみ）

ウィンドウ右上にあるアカウント名をクリックすると、V&C ユーザー用の制限されたアカウント設定にアクセスできます。



## 1.6 M&A アカウントへのユーザーアクセス

**重要!** このセクションの内容は、M&A アカウントのユーザーにのみ当てはまるものです。

(管理者ではなく) ユーザーとしてログインした場合、使用できる情報は一部のみに限定されます。ユーザーが使用できる情報は、新規ユーザーを設定する際に管理者が定義します。ユーザーはアカウントに属するプロジェクトの1つまたは複数にアクセスできます。

### プロジェクトとフィールドシステム

フィールドシステムは、プロジェクト単位で管理を行います。つまり、1つのプロジェクトに複数のフィールドシステムを含めることができます。プロジェクト名をクリックすると、そのプロジェクトに属するすべてのフィールドシステムが表示されます。

フィールドシステム名をクリックすると、そのシステムのデータを表示するためのページが開きます。管理者が特定のフィールドシステム用のカスタムページやダッシュボードを作成している場合があります (次の例を参照)。この場合、ユーザーはそうしたページ等にもアクセスできます。

## アラーム

ユーザーはプロジェクトが属するフィールドシステムから通知されるアラームにもアクセスできます。アラームはシステムごとに表示できますが、**[All Alarms]** タブにも表示されます。

Project	System	Source	Alarm	Class	Severity	Status
Netbiter Demo Project	Germany Karlsruhe - WS200	dev_wago	WS200 Alarm	1	Indeterminate	Active
Netbiter Demo Project	Matelec Netbiter Demo	Netbiter internal I/O	Temperature alarm 25°	1	Indeterminate	Active
Netbiter Demo Project	Sweden Halmstad Partner program demo kit	Partner program demo kit gateway	Digital input active alarm	1	Minor	Active
Netbiter Demo Project	Sweden Halmstad Partner program demo kit	Partner program demo kit gateway	Temperature high	1	Major	Normal

show all

アラームの確認権限が与えられている場合、ユーザーは右側の **[Acknowledge]** リンクをクリックして内容の確認が行えます。アラームが確認済みになっている（リンクがグレーアウトしている）場合、誰か（ユーザーまたは管理者）がアラームの発生に気付いたことを意味し、すでに対処済みである可能性もあります。アラームを確認すると、ステータスが **[Normal]** に戻るか、アラーム条件が引き続き有効な場合は **[Active]** のままになります。ただし、確認済みのアラームは、いったん **Normal** ステータスに戻らない限り、再び作動することはありません。アラームの状態はアラーム履歴に記録されます。

アラームは、重要度（**[Severity]**）のレベルに応じて色分けされます。

不確定（**[Indeterminate]**）レベルは、アラーム作成時のデフォルトのレベルです。常にレベルを設定することをお勧めします。

アラーム設定の詳細については、39 ページの **コンフィグレーション - アラーム** を参照してください。

色	重要度
■	アクティブなクリティカルアラーム（危険）
■	アクティブなメジャーアラーム（重大）
■	アクティブなマイナーアラーム（軽微）
■	アクティブな警告
なし	アラームステータス OK
■	重要度が設定されていない不確定アラーム

## 履歴データ

このページには、データがグラフ形式で表示されます。次の図に示すように、パラメータを左軸または右軸の適切な位置にドラッグして追加することができます。

## レポート

ユーザーはプロジェクトのレポートにもアクセスできます。レポートは定期的に行われる場合が多く、ダウンロードして保存することができます。レポートが生成された場合にアカウント管理者に通知が送信されるように設定することも可能です。

Reports » Reports

Generated Reports

Create date	Report type	Report name	Period	Download	Status	Action
2012-11-19 09:15:38	export	MFA Export data report	2012 W46 Repeated every week		wait	
2012-11-12 09:15:38	export	MFA Export data report	2012 W45 Repeated every week	<a href="#">download</a>	done	
2012-11-05 09:15:38	export	MFA Export data report	2012 W44 Repeated every week	<a href="#">download</a>	done	
2012-05-15 13:14:58	export	Export data report	2012 W19 Repeated every week		canceled	
2012-05-14 14:15:41	export	Export data report	2012 W19 Repeated every week		canceled	
2011-09-20 11:45:37	trend	Trend report	2011-08-20 - 2011-09-17	<a href="#">download</a>	done	
2011-09-01 13:06:35	energy	Energy report	2011-09-01 Once	<a href="#">download</a>	done	
2011-07-28 16:33:47	tank	Tank volume report	2011-06-28 - 2011-07-28	<a href="#">download</a>	done	
2011-07-22 10:55:36	energy	Energy report	2011-06-22 - 2011-07-22	<a href="#">download</a>	done	
2011-07-14 15:47:35	compare	Compare report	2011-07-07 - 2011-07-14	<a href="#">download</a>	done	
2011-06-01 13:58:46	temp	Temperature Report Mountain Cabin	2011 May Repeated every month	<a href="#">download</a>	done	
2011-05-26 15:07:00	trend	Trend report	2011 April	<a href="#">download</a>	done	
2011-04-01 13:58:46	temp	Temperature Report Mountain Cabin	2011 March Repeated every month	<a href="#">download</a>	done	
2011-02-10 14:34:07	temp	Temperature Report - Vemdalen winter cabin	2011 January Repeated every month	<a href="#">download</a>	done	

## 1.7 V&C アカウントへのユーザーアクセス

ここで利用可能な設定（[Presentation] および [Management] 内）は、この Netbiter サービスで利用可能な機能が反映されています。これらの設定についての詳細は、オンラインヘルプ、および本マニュアルの他のセクションを参照してください。

Presentation Management Contact Logout

Logged In: Joe User  
Account: My-new-account

Status Configuration Templates Dashboards Firmware Mobile network Properties

System ID (Device ID) 003011FBF150 Time zone Europe/Copenhagen

Online history

Zoom 1d 1w 1m From Jul 9, 2014 To Jul 10, 2014

12:00 14:00 16:00 18:00 20:00 22:00 10 Jul 02:00 04:00 06:00 08:00 10:00

16 Jun 23 Jun 30 Jun 7 Jul

Download

Time zone Europe/Copenhagen

Traffic sent No traffic information.

Traffic received No traffic information.

Gateway configuration synchronization status

## 第2章

## 2. お使いになる前の準備 - 新規アカウントの作成

この章では、Netbiter Argos でユーザーアカウントを作成する方法について説明します。また、Netbiter EasyConnect ゲートウェイの登録についても説明します。ただし、ユニットの物理的な設置についてはここでは説明しません。詳細については、製品に同梱されているインストールマニュアルを参照してください。

**重要!** - この章および本マニュアルのほとんどの説明は、Netbiter EasyConnect ゲートウェイの使用を前提としています。Netbiter Argos で他のタイプの Netbiter ゲートウェイを使用する場合は第 10 章を参照してください。

## 2.1 Netbiter のサービス

Netbiter Argos のアカウントは、Netbiter ゲートウェイ登録時に作成します。Netbiter Argos では以下のサービスが用意されています。

- **View & Control (V&C)** - このサービスは、Netbiter ゲートウェイを 1 つ持つすべての新規アカウントに適用されます。View & Control のサービスレベルでは、データの記録や現在値、アラームといった基本的なリモート管理機能を利用できるとともに、このユニットを用いた Remote Access が可能です (次を参照)。
- **Remote Access (RA)** - これは、インターネットや 2G/3G 携帯電話ネットワーク上のセキュアトンネルを介して接続されたデバイスへのアクセスをサポートする特殊なモードです。この機能はモデル固有 (EC310 および EC350) ですが、V&C および M&A の両方のサービスで利用可能です。
- **Manage & Analyze (M&A)** - Netbiter Argos で拡張されたこのサービスは、2 つ以上の Netbiter ゲートウェイで使うことを目的としています。このレベルでは、以下に示すその他すべての機能を利用できます。
  - プロジェクトの構成と複数サイトの管理
  - ユーザーの追加と管理の機能
  - 複数の Netbiter ゲートウェイの追加
  - レポート
  - サードパーティ製ソフトウェアやカスタムソフトウェアに組み込むための Netbiter Argos API

View & Control のサービスでは、Netbiter ゲートウェイを **1 つだけしか持てません**。また、Netbiter Argos で新規アカウントを作成する際、このサービスが常にデフォルトのサービスになります。

## 2.1.1 初回設定とアカウント作成

このセクションでは、Netbiter Argos で新規アカウントを作成する方法、および Netbiter EasyConnect ゲートウェイを初めてインストールする方法について説明します。以下のものがが必要です。

- Netbiter EasyConnect ゲートウェイ
- 製品に同梱されたシステム ID とアクティベーションコードが記載された印刷書類 (右を参照)。
- ワイヤレスモデルの場合 - HMS Industrial Networks 製の Netbiter SIM カード、または他の事業者が提供する SIM カード。



**重要!** - Netbiter Argos にて既存のアカウントに Netbiter ゲートウェイを追加するには、第 3 章を参照してください。



## 2.2 インストール手順

1. Web ブラウザーを起動し、[www.netbiter.net](http://www.netbiter.net) にアクセスします。

2. **[Create an account]** リンクをクリックします (右図を参照)。

3. 必要なアカウント情報をフォームに入力します。アカウント名とパスワードをメモして保管します。この情報はアカウントにアクセスする際に必要となります。パスワードに関するヒントについては、次のページを参照してください。

4. サービスの利用規約を読み、チェックボックスをオンにして同意します。

5. 最後に、**[Register]** ボタンをクリックします。アカウント情報に入力した E-mail アドレス宛に、アクティベーションリンクが記載された E-mail が送信されます。

netbiter argos

Username

Password

Sign in

Create an account Lost your password?

© 2007-2014 All rights reserved.  
Netbiter® is a registered trademark of HMS Industrial Networks.

netbiter argos

Netbiter Argos Activation Details  
Netbiter is a complete on-line remote management solution that enables you to monitor, control and support the performance and operation of remote equipment and installations via Ethernet, GSM, GPRS or 3G networks.

Read more on [support.netbiter.com](http://support.netbiter.com)

SYSTEM ID  
123456789012345

ACTIVATION CODE  
1234567890

How to use:  
If you don't have an account on Netbiter Argos:  
1. Go to Netbiter Argos (www.netbiter.net) and click on the Create an account link.  
2. When the new account is created, follow the instructions and sign in to activate account.  
3. Click on the online guide icon "i" and follow the instructions on how to add and activate a system.  
If you need to use an existing Netbiter Argos account:  
1. Go to Netbiter Argos (www.netbiter.net) and sign in your account.  
2. Click on the online guide icon "i" and follow the instructions on how to add and activate a system.

This document should be treated as a document of value, as a customer's confidential information may be included in it. If you lose this document, you will need to apply for a new Activation Code at [www.netbiter.com](http://www.netbiter.com)

01/08/09-1.00

Create a new account

Information about your product

System ID \* Supplied with your product

Activation Code \* Supplied with your product

Information about your account

Account name \*

Password \*

Repeat Password \*

Your user information

First Name \*

Last Name \*

Company \*

Country \* Select...

Phone

E-mail \*

Confirm E-mail \*

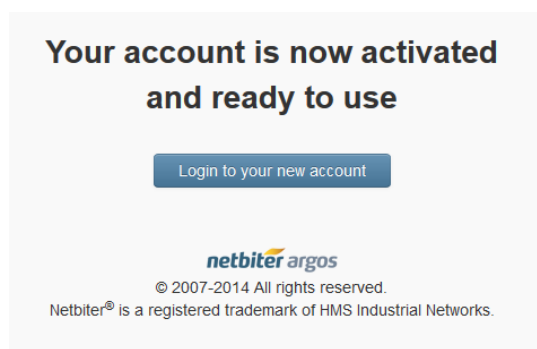
Accept the terms and conditions

Register Cancel

**重要!** 製品のシステム ID とアクティベーションコードは、Netbiter ゲートウェイのパッケージに同梱された印刷シートに記載されています。これは重要な書類ですので、大切に保管してください。この書類を紛失した場合は、[support.netbiter.com](http://support.netbiter.com) から Netbiter のサポートまでご連絡ください。

6. 送信された E-mail を開き、アクティベーションリンクをクリックします。これでアカウントにログインできます。

7. **[Log in to your new account]** ボタンをクリックして、Netbiter Argos ログインページを開きます。



8. アカウントのユーザー名とパスワードを入力して **[Sign In]** ボタンをクリックします。

これで、Netbiter EasyConnect ゲートウェイが登録されましたので、アクティベーションを行ってください。セクション 2.3 を参照してください。

### パスワードについて

パスワードの推奨事項は以下のとおりです。

- 8 文字以上にします。
- 数字、大文字、小文字を組み合わせます。その他に %、&、#、?、\$ などの文字も含めるのが理想的です。
- ユーザーの個人情報を含めないでください。
- ユーザー名またはユーザーの E-mail アドレスと同じにしないでください。
- 複数のサイトで同じパスワードを使用しないでください。



## 2.3 フィールドシステムのアクティベート

フィールドシステムは、Netbiter ゲートウェイとそれに接続されたすべてのデバイスの集合です。フィールドシステムには複数のデバイスが含まれる場合がありますが、Netbiter ゲートウェイは 1 台だけです。たとえば、Netbiter ゲートウェイが 2 台接続されている場合はフィールドシステムが 2 つ存在することになります。

17 ページの初回設定とアカウント作成 のセットアップ手順において、1 つ目のフィールドシステムとして Netbiter EasyConnect ゲートウェイを使用して Netbiter Argos アカウントが作成されました。このシステムは使用する前にアクティベートする必要があります。

この手順は、同じアカウントに後で追加するフィールドシステムでも同様です。ただし、Manage & Analyze のサービスを使用する必要があります。

### 主要モードの決定 (EC310 および EC350 のみ)

複数の動作モードをサポートする Netbiter ゲートウェイ (EC310 および EC350) では、システムをどのように使用するかを選択します。2 つの選択肢があります。

- **View & Control** - このサービスでは、データの記録や現在値、アラームといった基本的なリモート管理機能を利用できます。17 ページを参照してください。
- **Remote Access** - インターネットまたは LAN 上のセキュアトンネルで接続されたデバイスへのアクセスをサポートする特殊なモード/レベルです。

必要な主要モードを選択し、[Activate] ボタンをクリックします。

System activation

System ID (Device ID) \*

---

Activation code \*

---


**What will you use this system for?**  
This can be changed later.

**Use system for View & Control (Remote management)**  
Primary usage will be log, live and alarm management of the devices connected to the EC product.

**Use system for Remote Access**  
Primary usage will be remote access and use the EC product for connecting my own tools to the devices connected.

---

Note that it might take several minutes before the unit will come online when activating.

 なお、主要モードはいつでも変更できます。

### アクティベーション (その他のすべてのモデル)

Netbiter ゲートウェイが複数のモードをサポートしていない場合、[Activate] ボタンのクリック以外に必要な操作はありません。

System activation

System ID (Device ID) \*

---

Activation code \*

---

Note that it might take several minutes before the unit will come online when activating.



## アクティベーション完了後

ユニットがアクティベートされると、[Status] ページが自動的に表示されます。

The screenshot shows the Netbiter EasyConnect web interface. The top navigation bar includes 'Presentation' and 'Management' tabs, with 'Contact' and 'Logout' links. The user is logged in as 'Joe User' with account 'My-new-account'. The main navigation menu includes 'Status', 'Configuration', 'Templates', 'Dashboards', 'Firmware', 'Mobile network', and 'Properties'. The 'Status' page displays the following information:

- System ID (Device ID) 003011FBF150
- Time zone Europe/Copenhagen
- Online history: Zoom 1d, 1w, 1m; From Jul 9, 2014; To Jul 10, 2014
- Download button
- Time zone: Europe/Copenhagen
- Traffic sent: No traffic information.
- Traffic received: No traffic information.
- Gateway configuration synchronization status

このとき、([Presentation] および [Management] から) 利用可能な設定は、Manage & Analyze のサービスレベルで利用可能な設定範囲の一部です。これらの設定についての詳細は、オンラインヘルプ、および本マニュアルの他の章を参照してください。

## 2.4 最後の手順 - ネットワーク接続の設定

目的の接続方法に応じて、Netbiter EasyConnect ゲートウェイへの接続を決定する必要があります。必要な手順については以下を参照してください。

### Ethernet 接続

ここで必要な手順は Netbiter EasyConnect ゲートウェイの Ethernet ネットワーク接続がアクティブかどうかを確認することだけです。動作状態の LED 表示に関する情報は、インストールマニュアルまたは『Netbiter EasyConnect ユーザーマニュアル』を参照してください。

### 3G/GPRS 接続

この接続をサポートするモデルでは、3G または GPRS 接続がデフォルトで有効になっています。上記の 2.3 で [Activate] ボタンをクリックした後、以下で説明するように [Mobile network] 設定のタブを開いてください。

## Netbiter SIM カード

1. **[I have a Netbiter SIM card]** オプションを選択します。
2. SIM カードとともに提供された Netbiter SIM カード用の電話番号を入力します。

I have a Netbiter SIM-card

I have a custom or standard SIM-card

SIM-card mobile number \*

3. **[Send]** ボタンをクリックし、モバイルネットワークの設定を Netbiter ゲートウェイに送信します。

## カスタムまたは標準 SIM カード

1. **[I have a custom or standard SIM card]** オプションを選択します。
2. SIM カードのアクセスポイント名 (APN) を入力します。APN のユーザー名とパスワードが必要な場合は、これらも入力します。この情報はモバイルネットワーク事業者から提供されます。

I have a Netbiter SIM-card

I have a custom or standard SIM-card

SIM-card mobile number \*

APN \*

APN username

APN password

3. **[Send]** ボタンをクリックし、モバイルネットワークの設定を Netbiter ゲートウェイに送信します。

**i** 注：これらのモデルを有線の Ethernet 接続で使用するには、製品の内部設定ページからこれを有効にする必要があります。詳細については、『**Netbiter EasyConnect ユーザーマニュアル**』を参照してください。



## 2.5 Netbiter ゲートウェイを使用する

新規 Netbiter ゲートウェイの使用とコンフィグレーションに関するあらゆる側面 (**[Presentation]** および **[Management]** のメニュー項目から利用可能な設定) については、オンラインヘルプ、および本マニュアルの他の章を参照してください。

## 3. フィールドシステムの追加 (M&A)

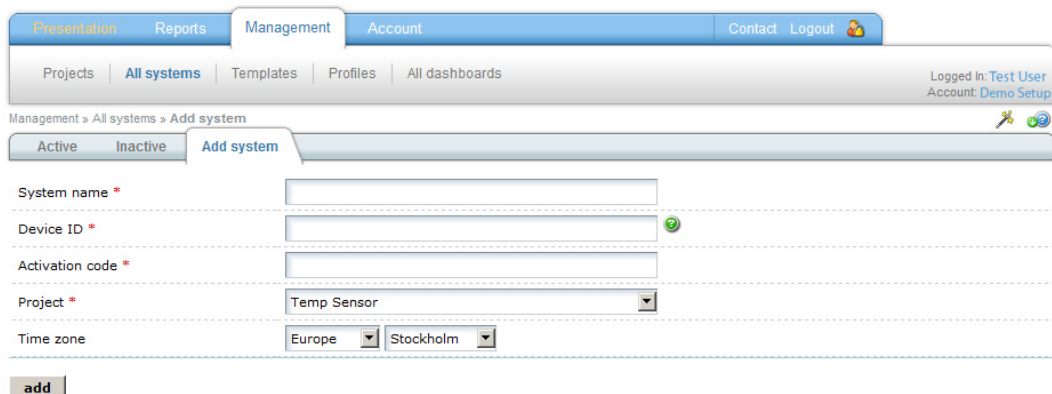
この章では、Netbiter Argos の既存のユーザーアカウントに複数のフィールドシステムを追加する方法について説明します。複数のフィールドシステムは、**Manage & Analyze (M&A)** サービスでのみサポートされています。この手順では Netbiter EasyConnect ゲートウェイを使用します。ただし、ユニットの物理的な設置についてはここでは説明しません。詳細については、製品に同梱されているインストールマニュアルを参照してください。

フィールドシステムは、Netbiter ゲートウェイとそれに接続されたすべてのデバイスの集合です。フィールドシステムには複数のデバイスが含まれる場合がありますが、Netbiter ゲートウェイは 1 台だけです。たとえば、Netbiter ゲートウェイが 2 台接続されている場合はフィールドシステムが 2 つ存在することになります。

-  **注 1** : - この章および本マニュアルのほとんどの説明は、Netbiter EasyConnect ゲートウェイの使用を前提としています。Netbiter Argos で他のタイプの Netbiter ゲートウェイを使用する場合は、第 10 章を参照してください。
-  **注 2** : - Netbiter Argos のアカウントをお持ちでない場合は、第 2 章を参照してください。

### 3.1. 新規フィールドシステムの追加


1. [Management] >> [All Systems] >> [Add system] に移動します。
2. 新しいフィールドシステムにわかりやすい名前を付けて入力します。
3. Netbiter EasyConnect ゲートウェイのシステム ID とアクティベーションコードを入力します。これらはユニットとともに提供された印刷文書に記載されています。
4. [Project] フィールドで、フィールドシステムが属するプロジェクトを選択します。
5. [Time zone] フィールドで、フィールドシステムが設置される場所のタイムゾーンを設定します。
6. [Add] ボタンをクリックしてフィールドシステムを追加します。



The screenshot shows the 'Add system' form in the Netbiter Argos web interface. The navigation menu at the top includes 'Presentation', 'Reports', 'Management', and 'Account'. The 'Management' menu is expanded to show 'All systems' and 'Add system'. The form has the following fields:

- System name \* (text input)
- Device ID \* (text input)
- Activation code \* (text input)
- Project \* (dropdown menu, currently showing 'Temp Sensor')
- Time zone (dropdown menu, currently showing 'Europe' and 'Stockholm')

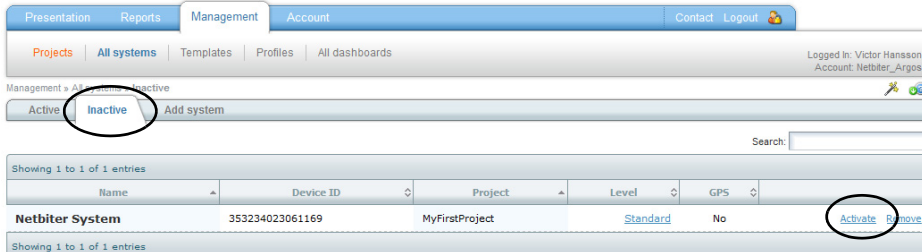
An 'add' button is located at the bottom left of the form.

-  **注** : 複数のフィールドシステムを使用する場合は、名前の付け方を工夫されることをお勧めします。そのフィールドシステムがどのようなものでどこに設置されているかがわかるような体系的または説明的な名前を付けておくと、将来、時間と労力の節約になります。

## 3.2. フィールドシステムのアクティベート

このシステムをアクティベートして Netbiter Argos で使用できるようにする必要があります。

1. [Management] >> [All Systems] >> [Inactive] の順にクリックします。



2. アクティベートするフィールドシステムの右側の [Activate] リンクをクリックします。
3. このモデルが複数の動作モードをサポートする場合、主要モードを選択します。詳細は 2.3 を参照してください。

The screenshot shows the 'System activation' form. It has two input fields: 'System ID (Device ID) \*' with the value '003011FBF150' and 'Activation code \*' with masked characters. Below the fields are two radio button options:
 

- Use system for View & Control (Remote management): Primary usage will be log, live and alarm management of the devices connected to the EC product.
- Use system for Remote Access: Primary usage will be remote access and use the EC product for connecting my own tools to the devices connected.

 A note in a dashed box says: 'Note that it might take several minutes before the unit will come online when activating.' At the bottom, there is an 'activate' button.

4. [Activate] ボタンをクリックします。

## 3.3. 最後の手順 - 接続の設定

目的の接続方法に応じて、Netbiter EasyConnect ゲートウェイへの接続を決定する必要があります。必要な手順については以下を参照してください。

### 3.3.1. Ethernet 接続

ここで必要な手順は、Netbiter EasyConnect ゲートウェイの Ethernet ネットワーク接続がアクティブかどうかを確認することだけです。動作状態の LED 表示に関する情報は、インストールマニュアルまたは『Netbiter EasyConnect ユーザーマニュアル』を参照してください。

### 3.3.2. 3G/GPRS 接続

この接続をサポートするモデルでは、3G または GPRS 接続がデフォルトで有効になっています。上記の 3.2. で [Activate] ボタンをクリックした後、以下で説明するように [Mobile network] 設定のタブを開いてください。信号強度の LED 表示に関する情報は、Netbiter EasyConnect のインストールマニュアルを参照してください。

## Netbiter SIM カード

1. **[I have a Netbiter SIM card]** オプションを選択します。
1. SIM カードとともに提供された Netbiter SIM カード用の電話番号を入力します。

I have a Netbiter SIM-card

I have a custom or standard SIM-card

SIM-card mobile number \*

send

2. **[Send]** ボタンをクリックし、モバイルネットワークの設定を Netbiter ゲートウェイに送信します。

## カスタムまたは標準 SIM カード

1. **[I have a custom or standard SIM card]** オプションを選択します。
3. SIM カードのアクセスポイント名 (APN) を入力します。APN のユーザー名とパスワードが必要な場合は、これらも入力します。この情報はモバイルネットワーク事業者から提供されます。

I have a Netbiter SIM-card

I have a custom or standard SIM-card

SIM-card mobile number \*

APN \*

APN username

APN password

4. **[Send]** ボタンをクリックし、モバイルネットワークの設定を Netbiter ゲートウェイに送信します。

**注:** これらのモデルを有線の Ethernet 接続で使用するには、製品の内部設定ページからこれを有効にする必要があります。詳細については、『**Netbiter EasyConnect ユーザーマニュアル**』を参照してください。

## 3.4. アクティベートの完了

これで Netbiter EasyConnect ゲートウェイがアクティベートされ、自動的にオンラインになります。これに要する正確な時間は、いくつかの要因（たとえば、ネットワーク構成など）によって異なります。ユニットがオンラインになると、**[Online]** の列に緑の星が表示されます（次の図を参照）。

フィールドシステムのステータスを確認するには、**[Presentation] >> [All Systems]** をクリックします。

Presentation > All systems

All systems Map

Showing 1 to 1 of 1 entries

Online	Alarm status	Name	Project
★	OK	Netbiter System	My first project

Showing 1 to 1 of 1 entries

★ Offline ★ Online ☆ Unknown

## 4. Netbiter サービスのアップグレード

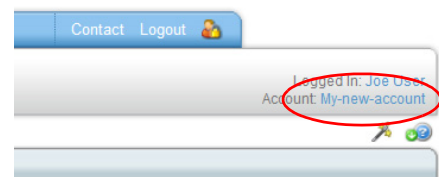
既存の Netbiter アカウントにフィールドシステムを登録 / 追加するには、そのアカウントを **Manage & Analyze** サービス用に設定する必要があります。この有料サービスを使用すると、複数のフィールドシステムが利用可能になるとともに、以下に示すその他すべての機能が利用可能となります。

- プロジェクトの構成と複数サイトの管理
- ユーザーの追加と管理の機能
- レポート
- サードパーティ製ソフトウェアやカスタムソフトウェアに組み込むための Netbiter Argos API

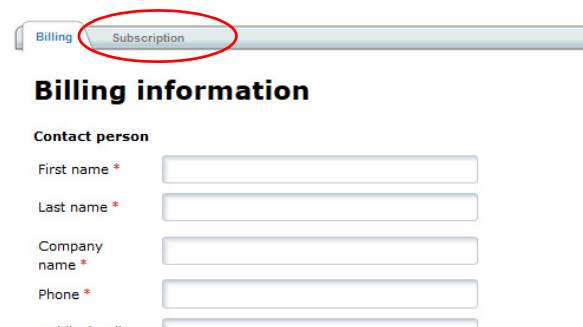
既存のアカウントが **View & Control** サービス用に設定されている場合、まず始めにそのアカウントを **Manage & Analyze** サービス用にアップグレードする必要があります。

アカウントをアップグレードするには、本章で説明する以下の手順を行います。

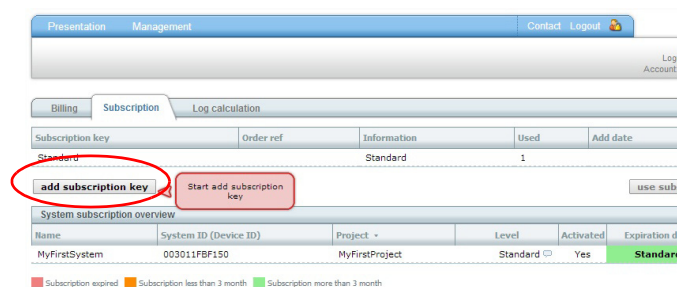
1. **Manage & Analyze** のサブスクリプションキーを販売窓口注文します。すると、キーを含む E-mail が送信されます。
2. ログインした後、右に示すように、名前  
のリンクをクリックしてアカウントの設定を  
開きます。



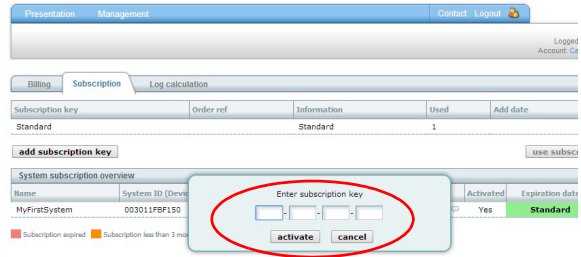
3. [Subscription] タブをクリック  
します。



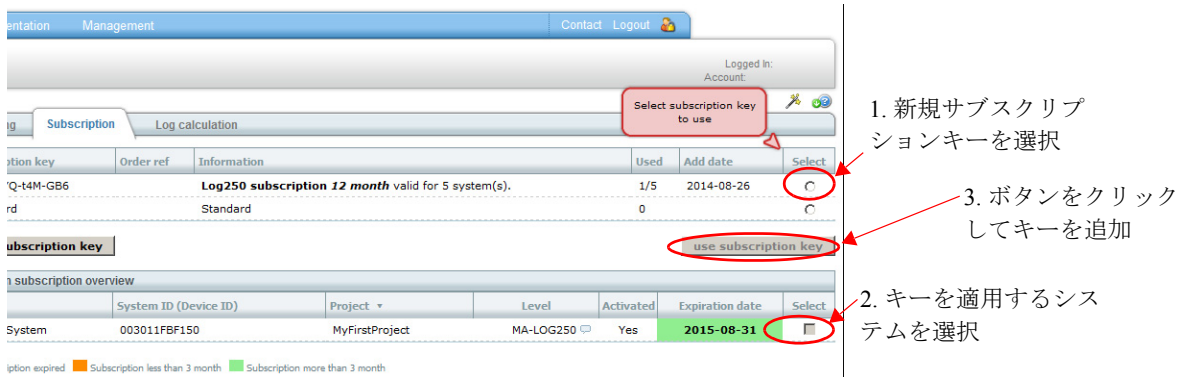
4. [Add subscription  
key] ボタンをクリック  
します。



5. サブスクリプションキー（受信した E-mail を参照）を入力し、[Activate] ボタンをクリックします。



6. そのアカウントにある（1つの）システムにサブスクリプションを割り当てます。



7. [Upgrade to Manage & Analyze service] ボタンをクリックし、[Yes] ボタンをクリックします。

**Upgrade to Manage & Analyze service?**

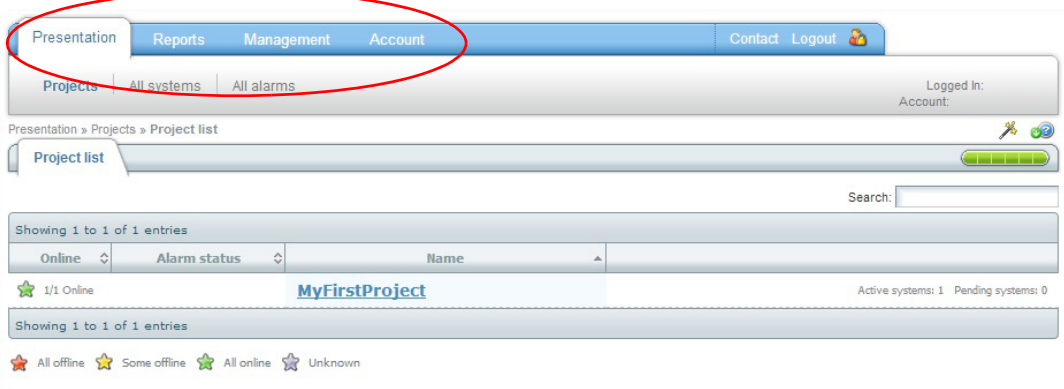
Upgrading to the Manage & Analyze service enables additional functionality. Some of the key functions that become available with the Manage & Analyze service are:

- Add multiple Netbiters into the account
- Project organization and management of multiple systems
- Possibility to add and manage users
- Create and schedule reports
- Netbiter Argos API for integration with third party or custom software applications

Manage & Analyze is a subscription based service that provides extended functionality as described above and each Netbiter gateway will need a Manage & Analyze subscription. For further information regarding the services available through Netbiter Argos, please visit [www.netbiter.com](http://www.netbiter.com). Please contact your Netbiter sales representative for detailed information regarding pricing and ordering.



これで、そのアカウントから Netbiter Argos のすべてのタブと機能にアクセスできるようになりました。



**i** View & Control のサービスレベルでは、Netbiter ゲートウェイを **1つ** だけしか持てません。また、Netbiter Argos で全く新しいアカウントを作成する際、このサービスレベルが常にデフォルトのレベルになります。

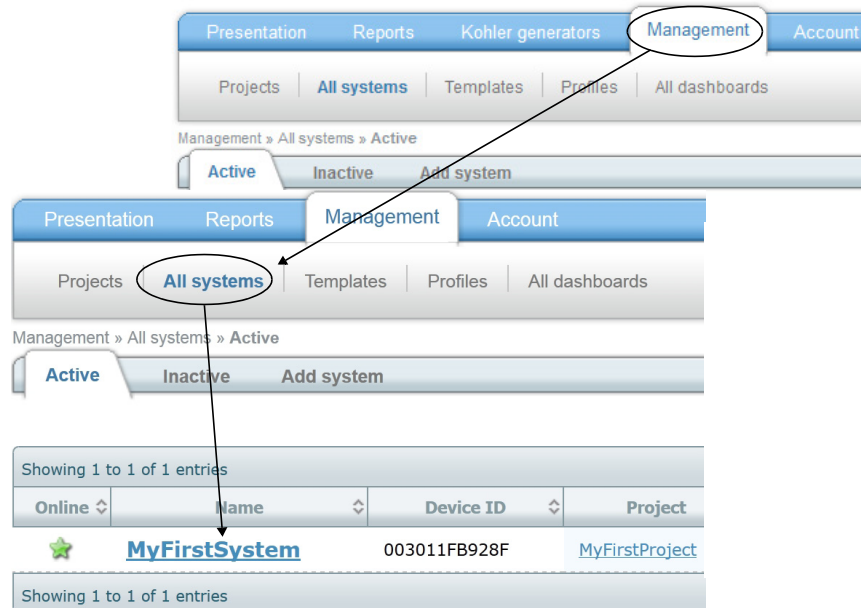


## 5. フィールドシステムの設定

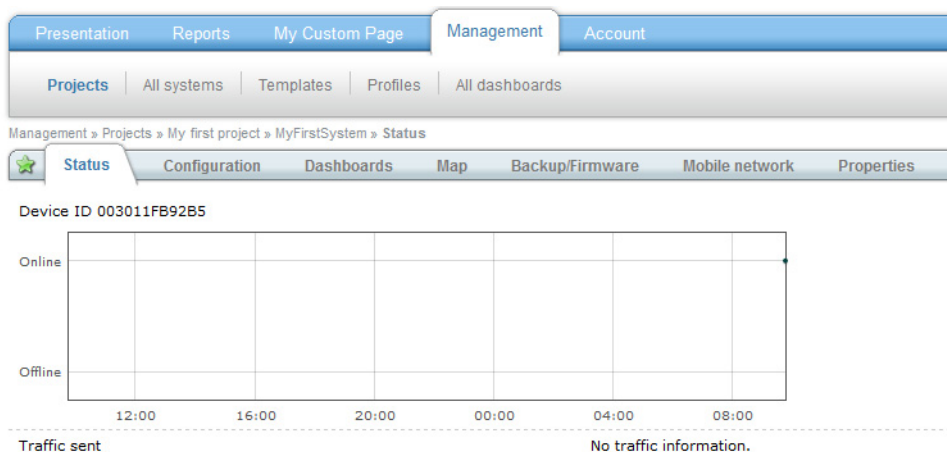
次に、各種設定の表示や変更、アラームの送信、イベントの記録、データの保存などが行えるように、新しいフィールドシステムを設定する必要があります。フィールドシステムおよびゲートウェイの全般的な設定はすべて、Netbiter Argos サーバーの Web ページから行います。

- ✂️ マジックワンド（魔法の杖）のアイコンをクリックすると、設定作業に役立つオンラインガイドが開きます。
- 🔗 オンラインガイドアイコンの横にある青いクエスチョンマークのアイコンをクリックすると、拡張ヘルプが参照できます。
- ⚠️ **重要 1** - Netbiter EasyConnect ゲートウェイの初回設定時には、**[Gateway settings]** を設定しなければならない場合があります。34 ページを参照してください。
- ⚠️ **重要 2** - Netbiter Argos でフィールドシステムのコンフィグレーションを変更した場合、**必ず**、変更内容をフィールドシステムに同期する必要があります。35 ページを参照してください。

設定作業を開始するには、**[Management]** メニュー、**[All systems]**、設定するフィールドシステムの順に移動します。システム名をクリックします。



フィールドシステム名をクリックして開きます。最初に **[Status]** タブのページが開きます。





## 5.1 コンフィグレーション - デバイス

Netbiter Argos において、フィールドシステムという用語は、以下の 2 つの要素で構成されたシステムを意味します。

- a) 1 台のゲートウェイ（たとえば、Netbiter EasyConnect ゲートウェイ）。
- b) ゲートウェイに接続されたデバイス / 機器。デバイスの例としては、センサー、発電機コントローラー、スイッチ、電力計、UPS ユニットなどがあります。

コマンドおよびデータは、Netbiter Argos を介してゲートウェイ（およびその接続デバイス）との間で送受信されます。Netbiter EasyConnect ゲートウェイは、端子コネクタブロックまたは D-Sub コネクタを介して物理的に接続されたデバイスと通信します。

[**Configuration**] タブをクリックすると、コンフィグレーションの概要と、使用可能なデバイスの一覧が表示されます。[**Configuration**] タブには次の図のような情報が表示されます。

Device	Device type	Settings	Template
Internal	Virtual WS		Netbiter Internal
ETH Stats	Virtual ETH		Netbiter Ethernet Stat
GPS	Virtual GPS		Netbiter GPS
PPP Stats	Virtual PPP		Netbiter PPP Stat

**注：** Netbiter EasyConnect ゲートウェイはいくつかの内部パラメータも備えており、これらは便宜上「**virtual**」というデバイスタイプで呼ばれています。

上の図のアルファベットは、以下のコンフィグレーションタブ及びその設定と対応しています。

- **A - Device configuration** - ゲートウェイに接続されたデバイス。
- **B - Logging** - フィールドシステムの内部パラメータまたは接続デバイスからのパラメータ値の記録を設定します。36 ページを参照してください。
- **C - Visualizations** - フィールドシステムデータのグラフィック表示。38 ページを参照してください。
- **D - Alarms** - アラームを使用して、フィールドシステムで発生したイベントをユーザーに知らせます。39 ページを参照してください。
- **E - Connected device profiles** - このフィールドシステムに関連付けられたデバイスプロファイルを示します。40 ページを参照してください。
- **F - Gateway settings** - ゲートウェイと接続デバイス間の通信に関する設定。34 ページを参照してください。
- **G - Remote Access** - サポートされている場合、このボタンを押すと Netbiter EasyConnect で利用可能な 2 つの動作モードが切り替わります。このボタンを [OFF] にすると、ユニットは通常の動作モード（つまり、リモートマネジメント）

で動作します。

このボタンを **[ON]** にすると、ユニットは **Remote Access モード** で動作します。このモードは、Netbiter EasyConnect の Ethernet ポートおよびシリアルポートに接続されたデバイスを、あたかもデバイスに PC が直接接続されているかのように、PC のツールを用いて直接コンフィグレーション/プログラミング可能にする、透過的なトンネリングを提供する特殊なモードです。

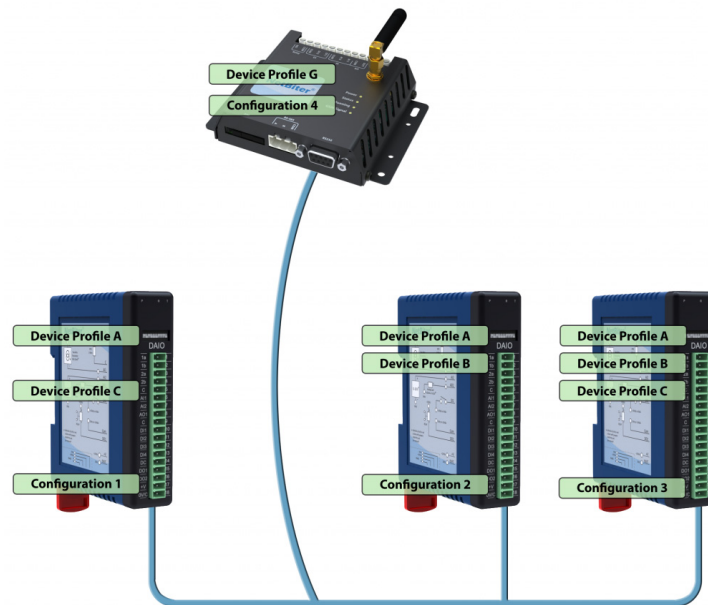
リモートマネジメント（履歴データやアラームなど）使用時に利用可能なすべての標準コンフィグレーションオプションは、この動作モードでは表示されません。ゲートウェイの設定のみ可能です。なお、この2つの動作モードはいつでも切り替え可能です。

リモートアクセスに関する詳細情報は、[support.netbiter.com](http://support.netbiter.com) から入手可能なドキュメントを参照してください。

### 5.1.1 テンプレートとプロファイル

Netbiter EasyConnect ゲートウェイに接続された Modbus または SNMP デバイスと通信するには、デバイスと Netbiter EasyConnect ゲートウェイ間のマッピングを提供する、**デバイステンプレート**または**デバイスプロファイル**が必要です。

- **デバイステンプレート**は、接続されたデバイスの Modbus または SNMP パラメータを記述したものです。このテンプレートには、使用可能なアドレスとそのデータタイプのほか、あらかじめ定義されたスケーリングやオフセットが格納されています。パラメータのさまざまな表示方法もテンプレートで定義できます（たとえば、列挙や読み出し/書き込み条件など）。
- **デバイスプロファイル**には、デバイステンプレートに加えて、ユーザーに最適なインターフェースを提供するための追加の設定（ダッシュボード、表示設定、各種ゲートウェイ設定など）が格納されています。



ここに示す例では、履歴データとアラームパラメータがデバイスプロファイルで設定されています。**プロファイル A**は、3台のデバイス（この例では I/O Extender）すべてで共有されています。**プロファイル B**は、右側の2台のデバイスで共有されています。**プロファイル C**は、一番右と一番左のデバイスで共有されています。**プロファイル G**は Netbiter EasyConnect ゲートウェイだけが使用しています。

また、コンフィグレーション 1、2、3、4 に各デバイス / Netbiter EasyConnect ゲートウェイの固有の設定が格納されています。

新しいテンプレートのアップロード、編集、作成は、**[Management] >> [Templates]** メニューで行います。新しいテンプレートを作成する際は、テンプレートに関連付ける対象デバイスのドキュメントが必要です。

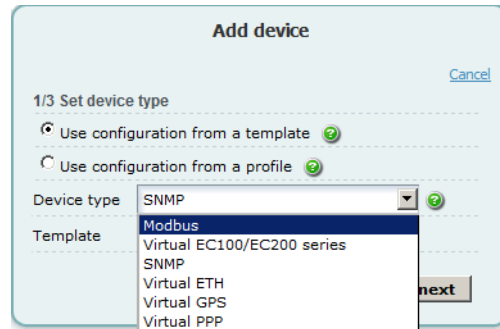
プロファイルの作成と追加は、**[Management] >> [Profiles]** から行います。詳細については、69 ページの**テンプレートおよびプロファイルの作成**を参照してください。

### 5.1.2 テンプレートを使用した新しいデバイスの追加

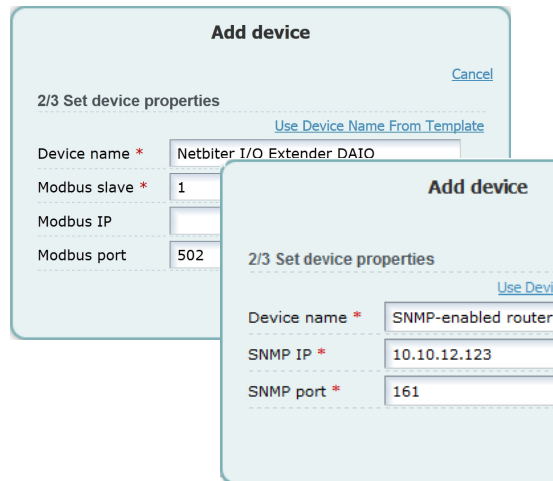
**add device**  新しいデバイスを Netbiter EasyConnect ゲートウェイに追加するには、[Device Configuration] ページの下部にある [Add Device] ボタンをクリックします。

以下の手順に従ってデバイスを追加します。

1. 最初の手順 (1/3) は、**デバイスタイプの設定**です。[Use configuration from a template] ラジオボタンをクリックし、[Device Type] ドロップダウンリストからデバイスタイプを選択して、デバイスに適切なテンプレートを選択します。デバイスに使用可能なテンプレートがない場合は、新たに作成する必要があります。69 ページを参照してください。



2. デバイスの名前を入力するか、[Use Device Name From Template] リンクをクリックして、**デバイスプロパティを設定**します (手順 2/3)。



**Modbus** スレーブアドレス (有効範囲 :1 ~ 247) については、デバイスのユーザーマニュアルを参照してください。デバイスが **Modbus TCP** を使用する場合は、ここにデバイスの IP アドレスを入力します。Modbus TCP のデフォルトポートは 502 です。

**SNMP** デバイスの場合は、SNMP の IP アドレスとポートを入力します。

3. これでデバイスの追加はほぼ完了しました。[Save] をクリックします。さらに、[Gateway settings] を設定しなければならない場合があります。34 ページを参照してください。



これで、追加したデバイスが [Device configuration] のリストに表示されます。


Device configuration		Logging	Visualization	Alarms	Connected device profile	Gateway settings
Device	Device type	Settings	Template	Action		
Internal	Virtual WS		Netbiter Internal	Edit		
ETH Stats	Virtual ETH		Netbiter Ethernet Stat	Edit		
GPS	Virtual GPS		Netbiter GPS	Edit		
PPP Stats	Virtual PPP		Netbiter PPP Stat	Edit		
Netbiter I/O Extender DAIO	Modbus	Modbus slave: 1	Netbiter I/O Extender DAIO	Edit	Remove	

デバイスと、デバイスに関連付けられたデバイステンプレート

これで Netbiter Argos にデバイスが追加されましたが、加えた変更をゲートウェイ / Netbiter EasyConnect に同期する必要があります。

- [Gateway settings] の設定に関する詳細については、34 ページを参照してください。
- コンフィグレーションを同期するには、35 ページのセクション 5.3 を参照してください。

### 5.1.3 プロファイルを使用した新しいデバイスの追加

**add device** 

[Device Configuration] ページの下部にある [Add Device] ボタンをクリックします。

以下の手順に従ってデバイスを追加します。

1. 最初の手順 (1/3) は、**デバイスタイプの設定**です。[Use configuration from a profile] ラジオボタンをクリックし、ドロップダウンリストからデバイスに適切なプロファイルを選択します。

この例では、Netbiter EasyConnect EC250 スターターキット用の既製のプロファイルを使用しています。このプロファイルには、I/O Extender ユニットとアナログ温度センサーが含まれています。

[Next] をクリックします。

2. 次に、**デバイスプロパティ**を設定します。プロパティの一部 (Modbus スレーブ ID など) はプロファイルによってプリセットされる場合があります。

デバイスが **Modbus TCP** を使用する場合は、Modbus の IP アドレスとポート (デフォルトポートは 502) を入力し、[Next] をクリックします。

3. これでデバイスの追加はほぼ完了しました。[Save] をクリックします。通信ポートについて定義済みのゲートウェイ設定を使用する場合は、[preconfigured gateway settings] チェックボックスをオンにしてから [Save] をクリックします。定義されていない場合は、手動で設定する必要があります。

追加したデバイスが [Device configuration] のリストに表示されます。

Device configuration		Logging	Visualization	Alarms	Connected device profile	Gateway settings
Device	Device type	Settings	Template			
Internal	Virtual WS		Netbiter Internal			
ETH Stats	Virtual ETH		Netbiter Ethernet Stat			
GPS	Virtual GPS		Netbiter GPS			
PPP Stats	Virtual PPP		Netbiter PPP Stat			
Netbiter EC250 Starter kit	Modbus	Modbus slave: 1	Netbiter I/O Extender DAIO			

デバイスと、デバイスに関連付けられたデバイステンプレート

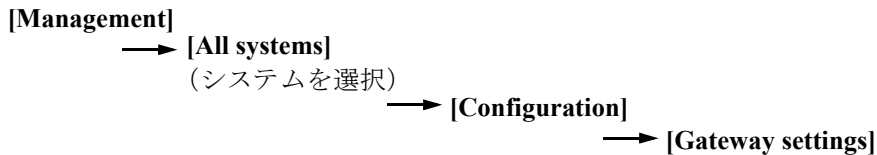
これで Netbiter Argos にデバイスが追加されましたが、加えた変更をゲートウェイ / Netbiter EasyConnect に同期する必要があります。

- [Gateway settings] を手動で設定するには、次のセクションを参照してください。
- コンフィグレーションを同期するには、35 ページのセクション 5.3 を参照してください。

## 5.2 コンフィグレーション - ゲートウェイ設定

これらは、Netbiter EasyConnect ゲートウェイのシリアルポート（および、サポートされている場合は Ethernet ポート）の設定です。これにより、Netbiter EasyConnect ゲートウェイとその接続デバイス間の通信、および接続された GPS モジュールとの通信を設定できます。

一部のデバイスプロファイルではあらかじめゲートウェイが設定されていますが、手動で設定する場合は以下のタブを開いてください。



**注：**手動で設定する場合は接続デバイスに従ってください。詳細については、デバイス製造元のドキュメントを参照してください。

Netbiter EasyConnect ゲートウェイがこの機能をサポートしている場合、現在の設定をゲートウェイから取得して使用できます。**[Get settings from gateway]** ボタンをクリックします。

get settings from gateway

### 5.2.1 GPS の設定（Netbiter EasyConnect EC220/EC250）

これらは、RS-232 D-Sub インターフェースを使用して GPS 受信機（ユーザー側で準備）を Netbiter EasyConnect ゲートウェイに接続するために必要な設定です。この GPS 受信機は、サブメッセージとして GGA および RMC を持つ NMEA バージョン 3 プロトコルをサポートする必要があります。Netbiter Argos の設定は、GPS 受信機の設定と一致する必要があります。正しい設定については、デバイスのユーザーマニュアルを参照してください。


**Enabled - D-Sub** コネクタを GPS モードに設定します。これにより、外部 GPS 受信機を接続して使用することが可能となります。


**Baud Rate** - 通信ボーレート。GPS 機器のボーレートと一致する必要があります。

**Distance** - GPS ユニットの移動距離がここに指定した距離を超えた場合、その位置が Netbiter Argos に通知されます。この値が小さすぎると、大量のデータトラ



フィックが発生します。GPS 位置は、信号強度や現在受信可能な衛星の数によって若干変動する場合があります。この設定のデフォルト値は 100 m です。

 **重要!** 次のパラメータに進む前に、各パラメータの横の **[Set]** ボタンを忘れずにクリックしてください。この操作を忘れた場合、Netbiter EasyConnect ゲートウェイが受け取るコンフィグレーションは不完全なものになります。

 Netbiter EasyConnect EC350 には GPS 受信機が内蔵されています。外部 GPS アンテナを接続するだけで使用可能です。

## 5.2.2 Modbus の設定

これらの設定は Modbus デバイスの設定と一致する必要があります。詳細については、接続デバイスのユーザードキュメントを参照してください。サポートされている場合、現在の設定を Netbiter EasyConnect ゲートウェイから取得して使用できます。用意されているボタンをクリックします。


get settings from gateway

**Physical** - Netbiter EasyConnect ゲートウェイの物理インターフェースを Modbus 通信用に設定します。

**Baud Rate** - Modbus 通信のボーレートを設定します。

**Parity** - Modbus ポートが接続デバイスとの通信に使用するパリティビットの数。

**Stop Bits** - Modbus ポートが接続 Modbus デバイスとの通信に使用するストップビットの数。

 **重要!** 次のパラメータに進む前に、各パラメータの横の **[Set]** ボタンを忘れずにクリックしてください。この操作を忘れた場合、Netbiter EasyConnect ゲートウェイが受け取るコンフィグレーションは不完全なものになります。

## 5.2.3 SNMP の設定（サポートされている場合）

これらの設定は、Netbiter EasyConnect ゲートウェイと接続された SNMP デバイスとの間の通信を制御します。

**CommunityRead** - SNMP 管理システムがデバイスパラメータを読み出すためのパスワード。


**CommunityWrite** - デバイスパラメータへの書き込み許可を与えるパスワード。

## 5.3 コンフィグレーションの同期


コンフィグレーションを追加または変更した場合は、その都度、変更内容をフィールドシステムに同期する必要があります。

コンフィグレーションの変更後、まだ同期していない場合は、**[Last synchronization]** のテキストが赤色になります。

同期を開始するには、**[Synchronize configuration]** ボタンをクリックします。

Status	Configuration	Dashboards	Map	Backup/Firmware
Last configuration update	2012-10-25 08:15:58			
Last synchronization	Never synchronized 			

synchronize configuration

 **重要!** ゲートウェイにデバイスが接続されている場合、**[Gateway settings]** の設定が完了するまでコンフィグレーションは同期しないでください。34 ページの **コンフィグレーション - ゲートウェイ設定** を参照してください。

## 5.4 コンフィグレーション - 履歴データ

履歴データは、システム [Presentation] ページの [Historical data] タブ、またはダッシュボード (45 ページを参照) に表示できます。最初の履歴データがサーバーに自動送信されるまで、最大で 1 時間かかる場合があります。

### 5.4.1 履歴データの追加

1. 対象のフィールドシステムを選択し、[Logging] タブに移動します。

[Management]

→ [All systems]

(システムを選択)

→ [Configuration]

→ [Logging]

2. [Logging] タブの [Add log parameter] ボタンをクリックします。

add log parameter

3. [Add log parameter] ダイアログに情報を入力します。

- **Device** - パラメータの取得元のデバイス。
- **Group** - パラメータの取得元のテンプレートグループ。
- **Parameter** - 記録するパラメータ。
- **Description** - 記録されたデータに対して使用する名前。デフォルトでは、テンプレートのパラメータ名になりますが、右側のチェックボックスをオンにすることにより、これを無効にして別の名前を入力できます。
- **Unit** - デフォルトでは、テンプレートでパラメータに対して定義された単位になります。右側のチェックボックスをオンにすることにより、これを無効にして別の単位を使用できます。
- **Scaling** - 記録する前にパラメータ値をスケールリングする場合、スケールリング値を指定します。たとえば、パラメータ値 = 510、スケールリング値 = 10 の場合は、51.0 が履歴データに記録されます。
- **Offset** - (スケールリング後の) パラメータ値に数値を加算する場合、加算値を指定します。たとえば、スケールリング後のパラメータ値 = 51.0、オフセット = 5.3 の場合は、 $51.0 + 5.3 = 56.3$  が履歴データに記録されます。スケールリングとオフセットの詳細については、オンラインヘルプを参照してください。
- **Additional ID** - たとえば、外部アプリケーションで Web サービス API を使用してパラメータを識別する場合や、複数のコンフィグレーション間で同じパラメータを区別する場合に使用します。



- **Number of decimals** - 履歴データで使用する小数点以下の桁数を指定します。
- **Valid range** - パラメータを設定するためには、パラメータがこの範囲内にある必要があります。
- **Enumeration** - 行の右側にあるチェックボックスをオンにすることで、列挙型のパラメータを上書き / 編集できます。そうすると、パラメータ値はその値に対して定義された文字列で表されます。各パラメータ値は、次のようにセミコロン (“;”) で区切ります。1=ON; 0=OFF。



なお、列挙型の文字列には空白を含めることはできません。

- **Log interval** - 連続する 2 回の記録ポイントの間隔。アカウントのサブスクリプションに応じて、30 秒から最大 60 分の範囲で設定できます。
  - **Log type** - 以下の 3 種類から選択できます。
    - **Value** - サンプリング時点のパラメータ値が保存されます。
    - **Delta** - 現在の記録ポイントと前回の記録ポイントとの差が保存されます。たとえば、Point(i) - Point(i-1) が保存されます。通常、電力計で使用します。
    - **Hysteresis** - 正常動作中に小さい変動が起こる値（たとえば、設定温度など）を記録する場合に使用します。詳細については、次のセクションを参照してください。
4. **[Save]** をクリックして履歴データを追加します。**[Cancel]** をクリックすると、ウィンドウが閉じてすべての変更が破棄されます。**[Logging]** タブに、設定した履歴データの保存期間が表示されます。



#### 注:

- 複数のインスタンスで同じスケールリングとオフセットを使用する場合は、デバイステンプレートで設定した方が便利です。
- 履歴データの設定を試す場合や、様々な履歴データの保存期間を確認する場合は、次の場所にある履歴データ計算ツールを使用してください。

**[Account]**  
 → **[Information]**  
 → **[Log Calculation]**

### ヒステリシスロギングについて

このタイプの記録方法を選択すると、前回の記録ポイントと比較した変化量がヒステリシスフィルタの設定値を超えた場合にのみ、値が記録されます。つまり、変化量の大小にかかわらずすべての値を記録するのではなく、一定期間内に検出された変化量が大きい値のみが記録されます。

たとえば、サーモスタットが 22 度に設定された部屋の温度は 22 度前後でたえず上昇 / 下降します。温度がたとえば 23 度に上がったことがわかると役立つ一方で、22.15 度に上がった、または 21.70 度に下がったことがわかってもそれほど役立たない場合があります。ヒステリシスフィルタの値をたとえば 0.5 に設定すると、温度が 22 度より 0.5 度以上高いまたは低い場合にのみ（すなわち、22.5 度以上または 21.5 度以下になったときにのみ）、温度が履歴データに記録されます。



ヒステリシス値を使用して記録する際は、各時間で有効な記録ポイントのうち保存される割合を 50% 以下に抑えるようにすることが重要です。そのため、ヒステリシスフィルタに小さすぎる値を設定しないでください。そうしないと、記録期間の一部ではデータが過剰に保存され、残りの期間ではほとんど保存されないといった事態が起こり得ます。



計算ミスを避けるため、記録値は常に 60 分に 1 回（毎正時に）記録されます。

## 5.5 コンフィグレーション - 表示設定

表示設定は、[Overview] ページまたはダッシュボードでパラメータ値をグラフィック表示するために使用します。まずパラメータを作成してから、それを必要な場所に追加します。表示パラメータは、関連付けられたフィールドシステムパラメータの現在値を表示し、ダッシュボードなどでリアルタイムに更新できます。

### synchronize configuration

Device configuration	Logging	Visualization	Alarms	Connected device profile	Gateway settings	
Device		Device profile	Group	Parameter	Description	Unit
NB EasyConnect	-	Internal serial status	Valid responses	Valid responses	pcs	
NetBiter I/O Extender DAIO	-	Input settings	RTD 1 Type	RTD 1 Type	1-7 enum	
NetBiter I/O Extender DAIO	-	Input settings	RTD 2 Type	RTD 2 Type	1-7 enum	

### 5.5.1 表示設定の追加

1. 画面の下部にある [Add Visualization] ボタンをクリックします。

2. [Add visualization parameter] ダイアログに以下のように情報を入力します。

- **Device** - パラメータの取得元のデバイス。
- **Group** - デバイステンプレートでパラメータが属するパラメータグループ。
- **Parameter** - 追加する個別パラメータ。
- **Description** - 表示パラメータの名前として使用されます。デフォルトでは、上記の [Parameter] と同じになります。右側のチェックボックスをオンにすることで、設定を変更できます。

- **Unit** - パラメータの単位。デフォルトでは、テンプレートで定義された単位になります。右側のチェックボックスをオンにすることで、設定を変更できます。
- **Scaling** - 表示する前にパラメータ値をスケーリングしたい場合にスケーリング値を指定します。パラメータ値がスケーリング値で除算されます。たとえば、パラメータ値 = 510、スケーリング = 10 の場合は、51.0 が表示されます。
- **Offset** - (スケーリング後またはスケーリングされていない) パラメータ値に数値を加算したい場合に加算値を指定します。たとえば、(スケーリング後の) パラメータ値 = 51.0、オフセット = 5.3 の場合は、51.0+5.3=56.3 が表示されます。
- **Additional ID** - たとえば、外部アプリケーションでパラメータを識別する場合や、複数のコンフィグレーション間で同じパラメータを区別する場合に使用します。
- **Number of decimals** - 表示値で使用する小数点以下の桁数を指定します。

- **Valid range** - パラメータを設定するためには、パラメータがこの範囲内にある必要があります。この範囲外の値は無視されます。
- **Enumeration** - 列挙型パラメータの場合、行の右側にあるチェックボックスをオンにすることで、列挙値を上書きできます。そうすると、パラメータ値はその値に対して定義された文字列で表されます。各パラメータ値は、次のようにセミコロン (“;”) で区切ります。1=ON; 0=OFF



なお、列挙型の文字列には空白を含めることはできません。

3. **[Save]** をクリックして表示パラメータを追加します。**[Cancel]** をクリックすると、ウィンドウが閉じてすべての変更が破棄されます。

これで表示値が作成され、たとえばダッシュボードに現在値を表示させることができます。ダッシュボードに表示値を追加する方法については、47 ページを参照してください。



**注**：複数のインスタンスで同じスケールとオフセットを使用する場合は、これらをプロファイルで設定した方が便利です。

## 5.6 コンフィグレーション - アラーム

フィールドシステムで特定のイベントが発生したとき、または特定の条件が満たされたときにアラームが生成されるように設定することができます。これらのアラームは、SMS テキストメッセージや E-mail など直接ユーザーに通知することも、ダッシュボードや **[Overview]** ページなどにアラームを表示させて、間接的に知らせることも可能です。アラームの RSS フィードをセットアップすることもできます。

Current configuration has 5 alarms								Alarm enabled <input checked="" type="checkbox"/>
Device	Device profile	Group	Parameter	Description	Trigger	Severity	Action	
NetBiter I/O Extender DAIO	-	Temperature Input	RTD Input 1	Pool water freezing risk (below 2c)	Less than 2 /13.3+-128.19549	Warning	<a href="#">Edit</a> <a href="#">Clone</a> <a href="#">Remove</a>	
NetBiter I/O Extender DAIO	-	Temperature Input	RTD Input 1	Pool water hot (above 29c)	Greater than 29 /13.3+-128.19549	Warning	<a href="#">Edit</a> <a href="#">Clone</a> <a href="#">Remove</a>	
NetBiter I/O Extender DAIO	-	Analog IO	Analog Input 1	Filter clogged (above 2.5 bar)	Greater than 2.5 /546+-1.37	Critical	<a href="#">Edit</a> <a href="#">Clone</a> <a href="#">Remove</a>	
NetBiter I/O Extender DAIO	-	Analog IO	Analog Input 1	Filter Pressure high (above 1.6 bar)	Greater than 1.6 /546+-1.37	Warning	<a href="#">Edit</a> <a href="#">Clone</a> <a href="#">Remove</a>	
NetBiter I/O Extender DAIO	-	Analog IO	Analog Input 1	Water Temp [warm and cosy] (above 26c)	Greater than 26 /546+-1.37	Indeterminate	<a href="#">Edit</a> <a href="#">Clone</a> <a href="#">Remove</a>	

アラームリスト（上の例を参照）では、右側にあるリンクをクリックすることによって各アラームを編集、複製、削除できます。**複製 (Clone)** は、類似したアラームを複数設定する場合に便利です。これを使えば、既存のアラームのコピーを作成して適宜変更するだけで済みます。

### 5.6.1 アラームパラメータの追加

1. **[Alarms]** タブの **[Add alarm parameter]** ボタンをクリックします。
2. **[Add alarm setting]** ダイアログに情報を入力します。

- **Device** - パラメータの取得元のデバイス。
- **Group** - パラメータの取得元のテンプレートグループ。
- **Parameter** - アラームに追加するパラメータ。右側のボタンをクリックすると、パラメータ名が **[Description]** フィールドに入力されます。下記を参照してください。
- **Description** - アラームの名前として使用されます。
- **Trigger/Value** - これら 2 つの設定を組み合わせるとアラームの作動方法が決定されます。

**Add alarm setting**

Device:

Group:

Parameter \*:

Description \*:

Trigger \*:

Value \*:

Scaling:

Offset:

Additional id:

Class:






Severity \*:

- *Equal to* - パラメータが値と等しい場合。
- *Not equal to* - パラメータが値と等しくない場合。
- *Less than* - パラメータが値より小さい場合。
- *Greater than* - パラメータが値より大きい場合。
- *Any bit* - パラメータのいずれかのビットが値 (0/1) と等しい場合。
- *Neither bit* - パラメータのすべてのビットが値 (0/1) と等しくない場合。
- *All bit* - パラメータのすべてのビットが値 (0/1) と等しい場合。
- *No response* - デバイスへの接続が失われたことを検出します。値は、デバイスの通信タイムアウトの連続回数です。
- **Scaling** - アラーム発生条件を比較する前にパラメータ値をスケーリング (除算) したい場合にスケーリング値を指定します。たとえば、パラメータ値 = 510、スケーリング = 10 の場合は、51.0 がアラーム発生条件の比較に使用されます。
- **Offset** - スケーリング後のパラメータ値に数値を加算したい場合に加算値を指定します。たとえば、スケーリング後のパラメータ値 = 51.0、オフセット = 5.3 の場合は、51.0+5.3=56.3 がアラーム発生条件の比較に使用されます。

**Class** - アラームを 1 ~ 10 のクラスに分類する場合に使用します。クラスにはそれ以上の機能は実装されていません。


**Severity** - 重要度のレベルに応じてアラームを色分けします。

不確定 ([Indeterminate]) レベルは、アラーム作成時のデフォルトのレベルです。アラームの重要度レベルを常に設定することをお勧めします。

色	重要度
	アクティブなクリティカルアラーム (危険)
	アクティブなメジャーアラーム (重大)
	アクティブなマイナーアラーム (軽微)
	アクティブな警告
なし	アラームステータス OK
	重要度が設定されていない不確定アラーム

3. **[Save]** ボタンをクリックしてアラームパラメータを追加します。

**[Cancel]** をクリックすると、ウィンドウが閉じてすべての変更が破棄されます。

 **注:** 複数のインスタンスで同じスケーリングとオフセットを使用する場合は、これらをデバイステンプレートまたはプロファイルで設定した方が便利です。

## 5.7 コンフィグレーション - デバイスプロファイルの関連付け


Netbiter EasyConnect は、デバイスプロファイル (複数のフィールドシステム / デバイスで共有する同じパラメータを含むコンフィグレーション) の使用をサポートしています。デバイスプロファイルに加えた変更は、次回フィールドシステム / デバイスにコンフィグレーションを同期したときに個々のフィールドシステム / デバイスで有効になります。

通常は、フィールドシステムを追加する際にデバイスプロファイルを追加します。フィールドシステムを追加した後にデバイスプロファイルを関連付けるには、以下の手順に従います。

### 5.7.1 デバイスプロファイルの関連付け

デバイスプロファイルをフィールドシステムに関連付けるには、**[Connect device profile]** をクリックします。

1. タブの **[Connect device profile]** ボタンをクリックします。
2. デバイスプロファイルを追加する対象のデバイスを選択します。
3. デバイスに追加するプロファイルを選択します。
4. **[Save]** をクリックしてプロファイルを割り当てます。 **[Cancel]** をクリックすると、ウィンドウが閉じてすべての変更が破棄されます。

 **注:** デバイスプロファイルを関連付けるには、事前にデバイスを追加する必要があります。プロファイルの作成方法については、69 ページの **テンプレートおよびプロファイルの作成** を参照してください。



## 5.7.2 サーバー側アラームの設定

このセクションの各種アラームは、Netbiter Argos サーバーが生成と監視を行います。以下のサーバーアラームを作動させることができます。

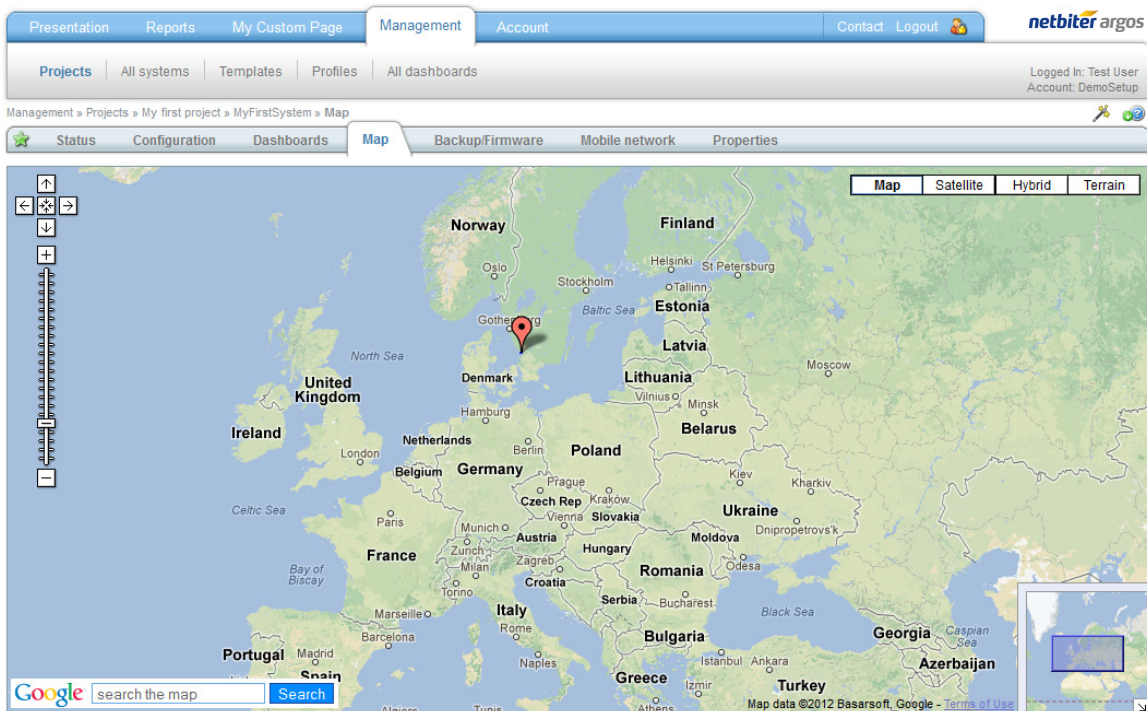
- **Offline** - フィールドシステムがオフラインになった場合に発生します。Netbiter Argos から Netbiter EasyConnect ゲートウェイの稼働状態がチェックされ、オフラインの場合はアラームが生成されます。原因によっては、ユニットがオフラインと認識されるまでに最大で 30 分かかる場合があります。
- **GPS Position** - GPS 対応のフィールドシステムが **[Management] >> [Map]** で設定した距離（メートル単位）を超えて移動した場合、サーバー側の GPS 位置アラームが発生します。
- **No GPS signal** - GPS 信号が弱い場合、または失われた場合に発生します。

## 5.8 ダッシュボード

ダッシュボードとは、特定のフィールドシステム用にカスタマイズされたグラフィカルな情報表示ページです。このページはカスタマイズ可能で、データをリストやグラフ形式で表示したり、画像で表現することができます。ダッシュボードの詳細については、第 6 章を参照してください。

## 5.9 マップ

マップ機能を使用して、フィールドシステムの位置を地図上にグラフィカルに表示することができます。Netbiter EasyConnect ゲートウェイが GPS 機器の使用をサポートしている場合、フィールドシステムの位置を GPS 機器から直接取得可能で、地図上の位置を自動的に更新することもできます。



左側のツールを使用して、ズームレベルの調整や地図の表示範囲変更操作を行います。また、地図をクリックしながらドラッグして表示範囲を変更したり、マウスホイールを使用してズームイン/ズームアウトすることもできます。

## 5.9.1 マップの設定

### ドラッグアンドドロップ

フィールドシステムの位置は、地図上の赤いマーカーをドラッグアンドドロップすることで簡単に設定できます。

### 座標を使用した位置の設定

WGS84 形式の座標を使用して位置を設定することもできます。緯度と経度を各フィールドに入力します。

Latitude (WGS 84)	S	47	°	59	'	23.71	"
Longitude (WGS 84)	E	175	°	46	'	52.49	"
Get position from GPS	gps						
Enable GPS tracking on map	enabled						
Alarm radius	500 m						

save clear tracking

### GPS からの位置の取得

有効な GPS 受信機がフィールドシステムに接続されている場合は、[GPS] ボタンを使用してシステムの位置を取得できます。

### 地図上での GPS トラッキングの有効化

[Enable GPS tracking on Map] を有効にすると、地図上のフィールドシステムの位置が自動的に更新されます。

### アラーム半径


アラーム半径とは、サーバー側 GPS 位置アラームを発生させるフィールドシステムの移動距離（メートル単位）です。

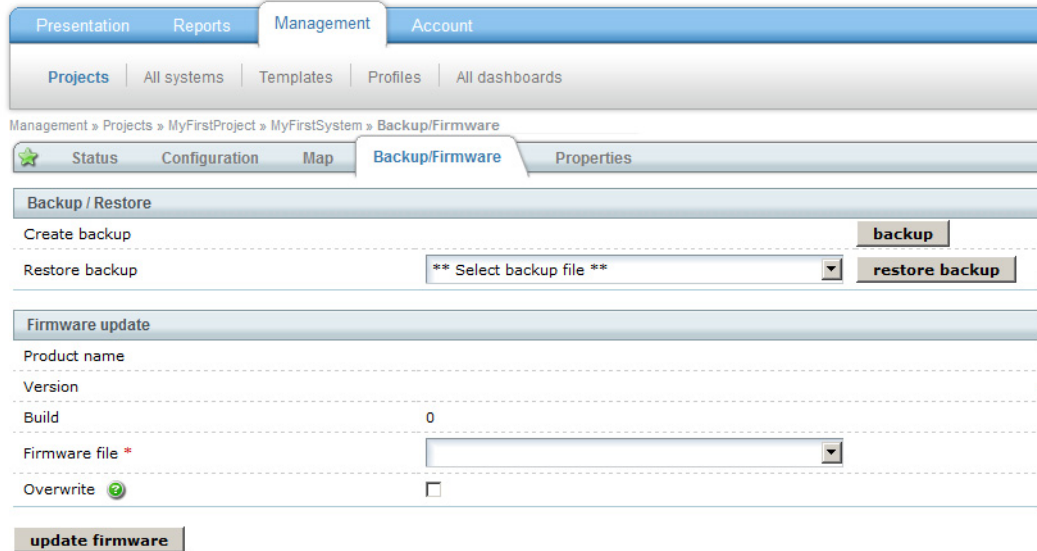
サーバー側アラームは、[Management] >> [システム名] >> [Configuration] に移動してページの下部で設定します。

## 5.10 バックアップ / ファームウェア

### 5.10.1 バックアップ

この機能では、ゲートウェイのコンフィグレーションをバックアップし、必要な場合に復元することができます。バックアップファイルは Netbiter Argos サーバーに保存されます。

 **注:** バックアップ機能が使用できない製品では、これらの設定は表示されません。



The screenshot shows the 'Backup/Firmware' configuration page. It features a navigation bar with 'Presentation', 'Reports', 'Management', and 'Account'. Below this, there are sub-navigators for 'Projects', 'All systems', 'Templates', 'Profiles', and 'All dashboards'. The main content area is divided into two sections: 'Backup / Restore' and 'Firmware update'. The 'Backup / Restore' section includes a 'Create backup' button and a 'Restore backup' button, with a dropdown menu for selecting a backup file. The 'Firmware update' section includes fields for 'Product name', 'Version', 'Build', 'Firmware file', and an 'Overwrite' checkbox.

#### バックアップの作成

**[Backup]** ボタンをクリックすると、バックアップが作成されてサーバーに保存されます。

#### バックアップの復元

ドロップダウンボックスから既存のバックアップファイルを選択します。**[Restore backup]** ボタンをクリックすると、そのファイルがゲートウェイにダウンロードされて復元されます。

### 5.10.2 ファームウェアのアップデート

これらの設定を使用してファームウェアをアップデートできます。状況によっては、Netbiter Argos を介してファームウェアをアップデートできない場合があります。詳細については、製品のユーザーマニュアルを参照してください。

#### ファームウェアファイル

使用可能なファームウェアファイルです。ゲートウェイにインストールするファイルを選択します。

#### 上書き

**[Overwrite]** チェックボックスは、現在のバージョンのファームウェアを再インストールする場合、または古いバージョンのファームウェアをインストールする場合にオンにします。

#### ファームウェアのアップデート

ファームウェアファイルの選択後、**[update firmware]** ボタンをクリックすると、アップデートが開始されます。

## 5.11 フィールドシステムのプロパティ

最後のタブは、**[Properties]** タブです。

このタブを使用して、システムに関するさまざまな情報（場所、担当者、説明など）を入力できます。

ここに表示されたパラメータはすべて変更可能で（デバイス ID を除く）、システムを別のプロジェクトに移動することもできます。

詳細については、オンラインヘルプを参照してください。

ここで変更を加えた後、**[Save]** ボタンをクリックします。

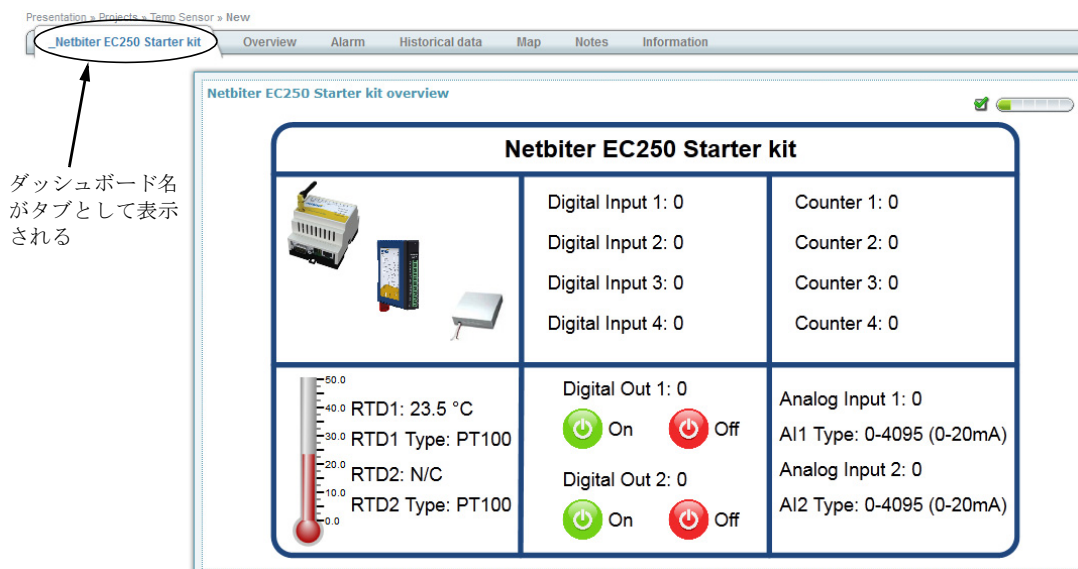
<span>★</span> Status   Configuration   Dashboards   Map   Backup/Firmware <b>Properties</b>	
<b>System specific information</b>	
Device ID	003011FB48AE
System name	City water treatment 12
Time zone	Europe   Stockholm
Project	Netbiter Demo Project
<b>Select the overview page to use for the system</b>	
System overview page	Default with image
<b>Edit optional settings for the system</b>	
System description	Water treatment station nr 12
Location	
Contact person	Joe Janitor
System URL	
Address	
ZIP / Post code	
City	Stockholm
State / County	
Country	Sweden
Additional information	



## 第6章

## 6. ダッシュボード

ダッシュボードとは、特定のフィールドシステム用にカスタマイズされたグラフィカルな情報表示ページです。このページはカスタマイズ可能で、データを画像などを使ってリストやグラフ形式で表示することができます。アカウントの各フィールドシステムには最大3つのダッシュボードを作成することが可能です。各ダッシュボードはフィールドシステムの **[Presentation]** ページにタブとして表示されます。



Netbiter Argos には、フィールドシステムのパラメータをリストやグラフィック形式で表示するためのさまざまなウィジェットが用意されています。ウィジェットには以下のようなものがあります。

- 現在値のリスト
- 現在値を表示するフィールドシステムのグラフィック画面
- 最新の履歴データのリスト
- 履歴データのグラフ
- アラームのリスト

ダッシュボードには以下の2種類があります。

- **プロファイルダッシュボード** - このダッシュボードが格納されたプロファイルを使用する複数のフィールドシステムで使用できます。
- **フィールドシステムダッシュボード** - このタイプのダッシュボードは、単一のフィールドシステムでのみ作成・使用することができます。

**注:**

- ダッシュボードがタブとして表示されているのに、ダッシュボードのリストにない場合、そのダッシュボードはデバイスプロファイルに格納されています。この場合、そのダッシュボードのタブを削除するには、フィールドシステムから該当するデバイスプロファイルの関連付けを解除する必要があります。
- システムダッシュボードをプロファイルダッシュボードに変換することはできません。ダッシュボードを今後再利用する予定である場合は、プロファイルダッシュボードを直接作成することをお勧めします。

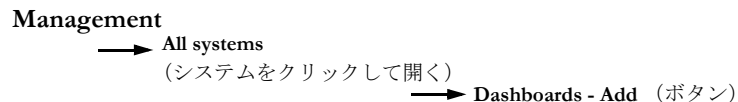
## 6.1 ダッシュボードの作成

Netbiter Argos には、ダッシュボードを作成できる場所が 2 か所あります。

A) メイン [Overview] ページから作成する場合



B) そのダッシュボードを使用する単一のフィールドシステムのコンフィグレーションから作成する場合



1. 選択した方法に応じて、[Add] リンクまたはボタンをクリックします。以下のどちらかのダイアログが表示されます。

[All dashboards] からダッシュボードを作成すると、最上部ダイアログ (A) が表示されます。

特定のフィールドシステム用のダッシュボードを作成すると、別のダイアログ (B) が表示されます。

2. ダッシュボードの基本設定を作成 / 編集します。基本設定は以下のとおりです。

- **Dashboard name** - タブに表示される名前。
- **Access level** - 誰がダッシュボードにアクセスできるかを決定します。管理者のみ、またはユーザーを選択できます。
- **Sort priority** - ダッシュボードが複数存在する場合に、ダッシュボードの表示順を決定する値を指定します。値が小さいほど左に表示されます。1 ~ 99 の範囲で設定できます。
- **[Dashboard Type]** と **[System]** ([All Dashboards] から作成する場合のみ) - これらの設定を使用して、ダッシュボードをフィールドシステムまたはプロフィールに関連付けます。

Management > Dashboards > Add

Profile dashboards System dashboards Add dashboard

Dashboard name \*

Access level

Sort priority

Dashboard type  System  Profile

System

save

B

Dashboard properties

Dashboard name:	Dashboard
Access level:	User
Sort priority:	50
Connected to:	New test field system

edit

Widgets

- Live values
- Logged values
- Alarms

[Connected to] フィールドにはあらかじめデータが入力されています。これを編集することはできません。

3. [All dashboards] からダッシュボードを作成している場合は、ここで [Save] をクリックします。そうすると、ダイアログ (A) が、特定のシステムからダッシュボードを作成する場合と同じ編集ウィンドウ (B) に切り替わります。

## 6.2 ダッシュボードを編集のために開く

作成したダッシュボードはいつでも編集可能です。

編集するダッシュボードを、メインメニューのリストから選択するか、

Management  
→ All dashboards

または

そのダッシュボードを使用する単一のフィールドシステムから選択します。

Management  
→ All systems  
(システムをクリックして開く)  
→ ダッシュボード

編集するダッシュボードの名前をクリックすると、プロパティページが開きます。これらのプロパティは、前のページで説明したプロパティと同じです。

The screenshot shows the 'Management » Dashboards' page. It has three tabs: 'Profile dashboards', 'System dashboards', and 'Add dashboard'. Below the tabs is a table with columns 'Dashboard' and 'Connected to'. The 'Dashboard' column contains a link 'New dashboard' which is highlighted with a dashed box. An arrow points from the text '基本プロパティ' (Basic properties) to the 'Dashboard properties' section of the 'New dashboard' page. Another arrow points from the text 'ウィジェット' (Widgets) to the 'Widgets' section of the same page.

Dashboard	Connected to
<a href="#">Dashboard</a>	My new field system
<a href="#">New dashboard</a>	

**Dashboard properties**

Dashboard name:	Dashboard
Access level:	User
Sort priority:	50
Connected to:	New test field system

edit

**Widgets**

- Live values
- Logged values
- Alarms

ダッシュボードの基本プロパティはダッシュボードの作成時にすでに定義しているため、ここでは各種パラメータの値へのリンクを提供するさまざまなウィジェットを選択してダッシュボードの実際の内容を決定し、その内容を入力します。ウィジェットはリスト、グラフ、またはユーザー定義の描画形式でデータを表示できます。

ウィジェットの追加方法について、以降のセクションで説明します。

## 6.3 現在値を値リストとして追加

ここでは、**Live Value List** ウィジェットをダッシュボードに追加します。このウィジェットは、パラメータデータの単純なリストを提供します。

1. プラス (+) 記号をクリックして、**[Live values]** の使用可能なパラメータを展開します。

2. **[Add Value List]** リンクをクリックします。そうすると、リストウィジェットがダッシュボードのレイアウトに追加されます。このウィジェットは、パラメータのデータをリスト形式で表示します。

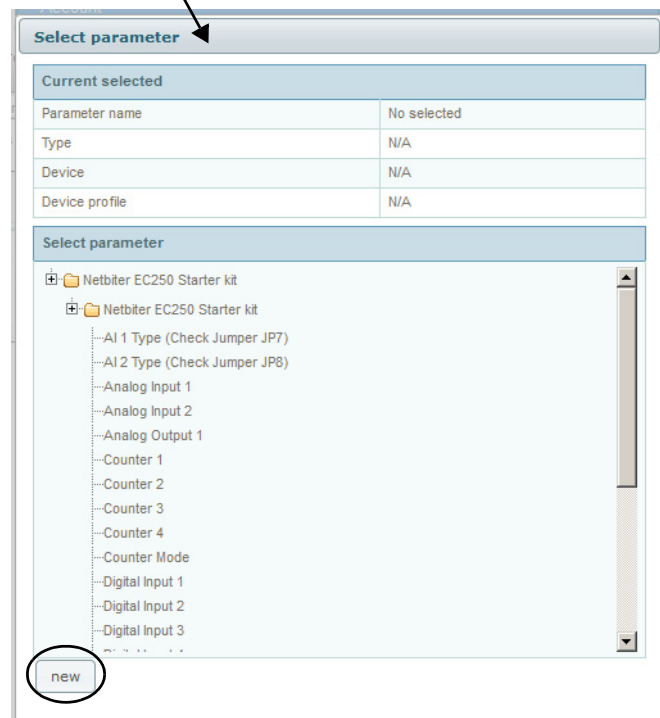
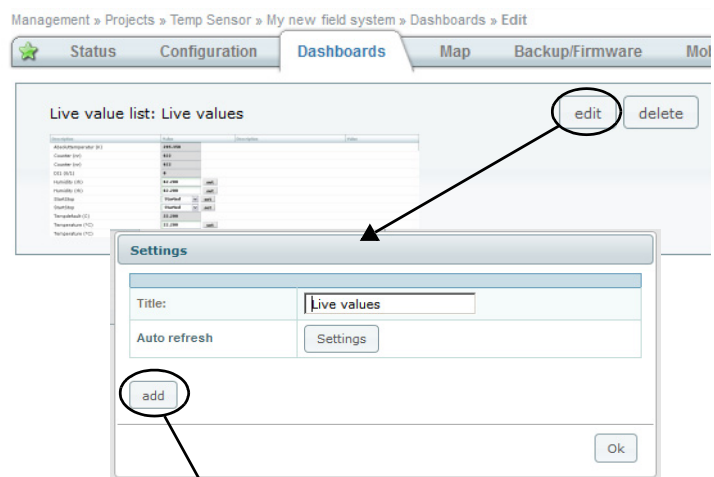
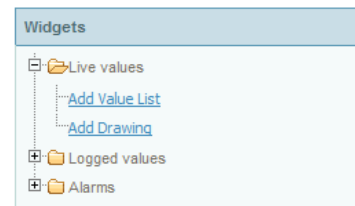
これでダッシュボードにリストが追加されましたので、次にリストに表示する具体的な値を追加します。

1. 値リストの **[edit]** ボタンをクリックします。

2. リストのプロパティダイアログが表示されます。**[Auto Refresh]** 設定の詳細については、下記の手順 5 を参照してください。パラメータを追加するには、**[Add]** ボタンをクリックします。

3. **[Select parameter]** ダイアログが表示されます。下部のリストには、ダッシュボードで使用可能なすべての現在値 (表示) パラメータと履歴データが含まれます。パラメータを選択して **[OK]** をクリックします。

**[New]** ボタンをクリックして新しい表示パラメータを直接追加することもできます。表示パラメータの作成の詳細については、38 ページの **コンフィグレーション - 表示設定** を参照してください。

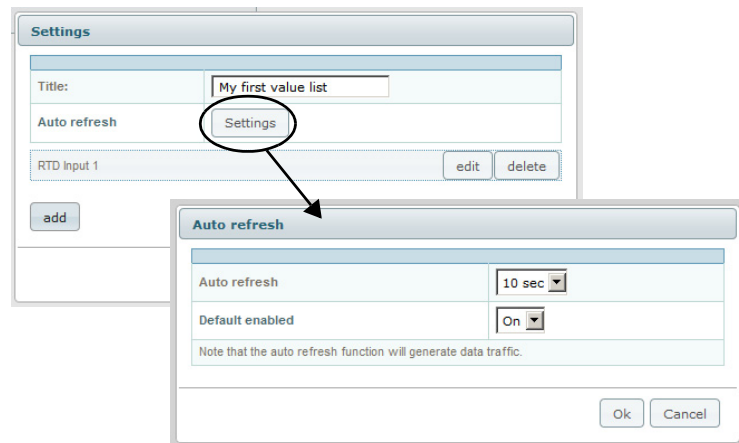


**ヒント!** Netbiter EC250 Starter kit を使用している場合は、たとえば、センサーからの温度現在値を提供する **[RTD Input 1]** を選択します。

4. 必要なパラメータの追加が終わったら、**[Settings]** ボタンをクリックして自動更新を設定します。

5. 自動更新の間隔を設定し、**[OK]** ボタンをクリックします。

必要に応じて、**[Default Enabled]** を **[ON]** に設定できます。そうすると、ページが表示されたときに自動更新が自動的に開始されます。これを **[OFF]** に設定した場合、ダッシュボードページにあるチェックボックスをオンにしない限り自動更新は有効になりません。下記の例を参照してください。GPRS で接続されているフィールドシステムでは、データ転送量に基づいて従量課金される場合、この設定をオフにすると費用の節減につながります。



## 新しいダッシュボードのテスト

ダッシュボードへのウィジェットの追加が済んだら、次に実際のシステムでダッシュボードの外観を確認します。

ダッシュボードを開きます。

Presentation

→ All systems

(システムをクリックして開く)

→ Dashboard (タブをクリックして表示)

この (非常に基本的な) ダッシュボードには、接続されたセンサーからの温度現在値が表示されます。右側の自動更新チェックボックスをオンにすると、緑の進行状況バーが空になったときに値が自動的に更新されます。



## ウィジェットへのパラメータの追加

前のセクションで追加したウィジェットは、パラメータ値 (RTD Input 1 からの温度値) を1つだけ含む単純なリストです。リスト (または任意の種類ウィジェット) にさらに値を追加するには、必要なパラメータごとに前述の手順を繰り返します。

## 複数のウィジェット

下記は、3つの異なるウィジェットが表示されたダッシュボードの例です。各ウィジェットを目的の場所にドラッグアンドドロップして、ウィジェットを縦方向で並べ替えることができます。

Management » Projects » My first » T » Dashboards » Edit

★ Status Configuration **Dashboards** Map Backup/Firmware Mobile r

**Live value list: Live values** edit delete

Location	Unit	Timestamp	Value
Abolition/monitor (N)	100.000		
Counter (v)	442		
Counter (v)	442		
DC (V)	5		
Humidity (RH)	44.200	2010-07-08 13:25:09	44.200
Humidity (RH)	44.200	2010-07-08 13:25:09	44.200
Shutdown	Normal	2010-07-08 13:25:09	Normal
Shutdown	Normal	2010-07-08 13:25:09	Normal
Temperature (°C)	13.200	2010-07-08 13:25:09	13.200
Temperature (°C)	13.200	2010-07-08 13:25:09	13.200
Temperature (°C)	13.200	2010-07-08 13:25:09	13.200

**Log graph** edit delete

**Alarm list** edit delete

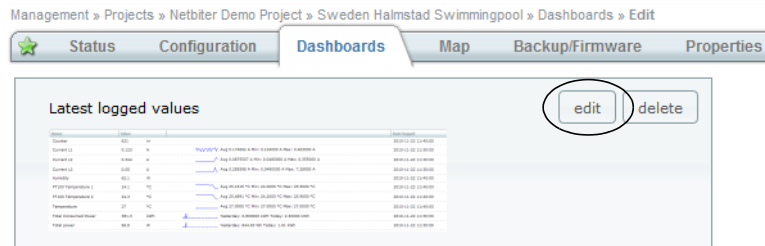
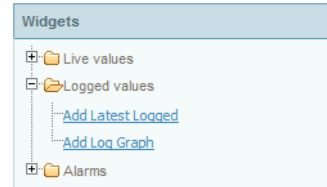
Source	Alarm	Time	Severity	Status	Action
Internal registers	Serial timeouts > 10	2010-07-08 13:25:09	Critical	Active	Acknowledge
ModsimAnCasDator	On/Off	2010-07-12 06:53:30	Warning	Normal	Acknowledge
ModsimAnCasDator	On/Off	2010-07-12 06:51:32	Warning	Normal	Acknowledge

## 6.4 履歴データの追加

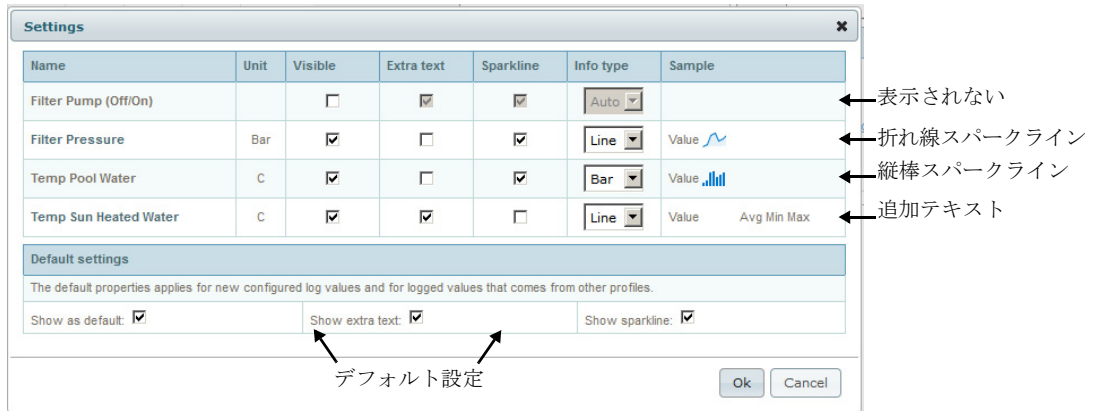
履歴データをリストまたはグラフ形式でダッシュボードに追加できます。履歴データによって示されるデータは表示（現在値）パラメータとほとんど同じですが、記録間隔によっては、最新の履歴データが現在値よりも古い場合があります。値が送信されて記録されるまでに最大1時間の遅延が生じる可能性があります。

### 6.4.1 履歴データをリストウィジェットとして追加

1. プラス (+) 記号をクリックして **[Logged values]** 内の使用可能なパラメータを展開し、**[Add Latest Logged]** リンクをクリックします。履歴データのリストがダッシュボードに追加されます。
2. **[Edit]** ボタンをクリックし、履歴データを追加するためのダイアログを表示します。



3. 必要に応じて関連するチェックボックスをオンにしてパラメータを設定し、**[OK]** をクリックします。使用可能な設定は以下のとおりです。



- **Visible** - パラメータをダッシュボードに表示するかどうかを設定します。
- **Extra text** - パラメータの追加情報を表示します。
- **Sparkline** - スパークラインの表示を有効にします。
- **Info type** - 表示するスパークラインのタイプを選択します。
- **Default settings** - これらのチェックボックスをオンにすると、新しい履歴データに対してその設定がデフォルトとして使用されます。

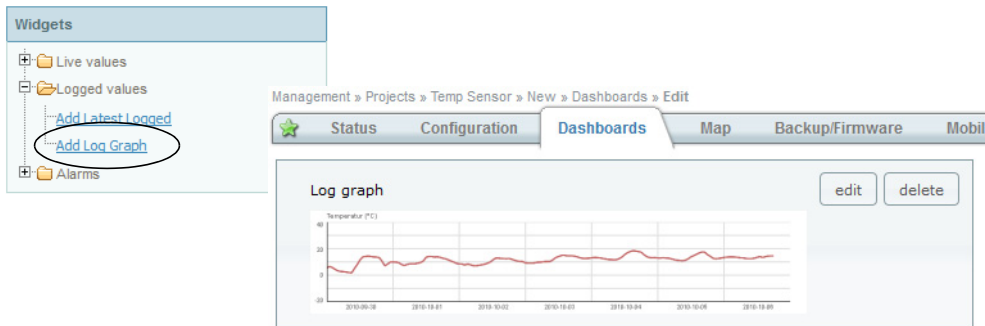
Netbiter Argos に表示された履歴データのサンプルリスト：

Name	Value	Unit	Sparkline	Date logged
Filter Pressure	0.03	Bar		2012-09-19 09:30:00
Temp Pool Water	11.9	C		2012-09-19 09:30:00
Temp Sun Heated Water	12.7	C	Avg: 12.9 C Min: 11.1 C Max: 14.0 C	2012-09-19 09:30:00



## 6.4.2 履歴データをグラフウィジェットとして追加

1. プラス (+) 記号をクリックして **[Logged values]** 内の使用可能なパラメータを展開し、**[Add Log Graph]** リンクをクリックします。新しい履歴データグラフがダッシュボードに表示されます。



2. **[Edit]** ボタンをクリックし、グラフ設定を変更して履歴データを追加します。

使用可能な設定は以下のとおりです。

- **Description** - これはグラフに表示されるパラメータの名称です。
- **Default time period** - 初期表示期間を設定します。後でダッシュボードを表示したときに変更できます。
- **Navigation controls** - グラフの下に時間バーを表示して、ユーザーが履歴データの別の時間にジャンプできるようにします。
- **Legend placement** - 凡例の表示位置を設定します。
- **Y-axis range (L/R)** - **[Auto]** を選択してパラメータの範囲を使用するか、範囲を手動で設定します。それぞれの Y 軸で異なる範囲を使用できます。そうすると、全く異なるパラメータを同じグラフで表すことができます。

The 'Graph settings' dialog box contains the following fields and options:

- Description:** Water temperature
- Default time period:** Last 24 hours
- Navigation controls:** On
- Legend placement:** Lower left corner
- Left Y-axis range:** Manual, 0 - 30
- Right Y-axis range:** Manual, 0 - 30

Parameter	Color	Axis	
Temp Pool Water	Red	Left	remove
Temp Sun Heated Water	Green	Right	remove

Buttons: add, Ok

3. **[Parameter]** の下の **[Add]** をクリックして、関連付けられたデバイスプロファイルからパラメータデータを挿入します。

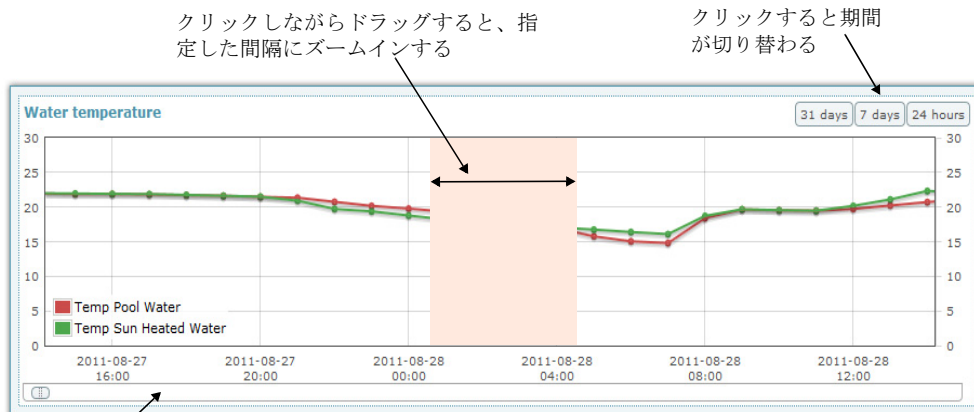
目的のパラメータを選択し、使用する Y 軸（左または右）を選択します。色ボックスをクリックすると、パラメータ曲線の色を変更できます。

4. **[OK]** をクリックして設定を完了します。グラフの表示の詳細については、次のページを参照してください。



## グラフの表示とナビゲーション

前のセクションで作成したグラフは、ダッシュボードに次のように表示されます。



タイムラインが使用可能 - 目的の時点をクリックすると、そこにジャンプする

デフォルト期間は、グラフ設定で指定された期間です。これを変更するには、右上にある3つのボタンのいずれかをクリックします。

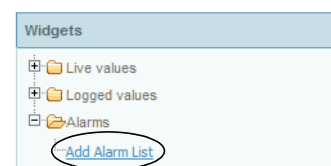
特定の時点にジャンプするには、タイムライン上のその時点をクリックします。あるいは、クリックしながらタイムラインに沿ってドラッグします。

詳細な履歴データを見るには、グラフのエリアをクリックしながらドラッグしてその範囲にズームインします。目的の詳細レベルに達するまでこのズームイン操作を繰り返します。ズームレベルは、このビューを前後にスクロールしたときにも維持されます。

デフォルトのビューに戻すには、右上にある3つのボタンのいずれかをクリックします。

## 6.5 アラームリストウィジェットの追加

アラームリストを追加する手順は現在値または履歴データのリストを追加する手順と似ていますが、ここでは設定は行えません。



**[Add Alarm List]** リンクをクリックします。使用可能なすべてのアラームデータを含むリストがダッシュボードに追加されます。

Active Alarms						
Source	Alarm	Time	Severity	Status	Action	
Internal registers	Serial timeouts > 10	2010-07-09 13:25:09	Critical	Active	acknowledge	
ModsimAnCasDator	On Off	2010-07-12 06:53:30	Warning	Normal	acknowledge	
ModsimAnCasDator	On Off-Off	2010-07-12 06:51:32	Warning	Normal	acknowledge	

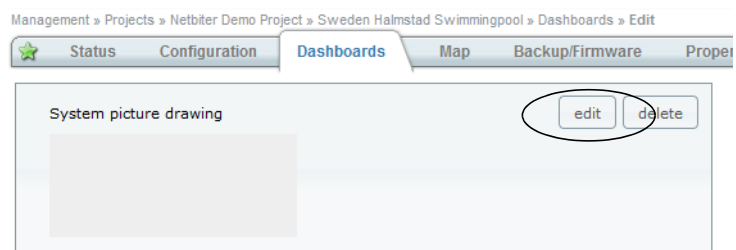
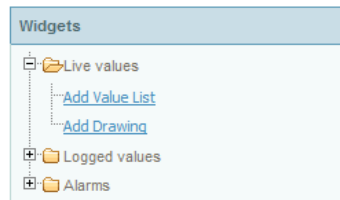
## 6.6 描画ウィジェット（現在値表示）の追加

描画ウィジェットを使って、フィールドシステムの動的かつインタラクティブなグラフィック表示をユーザーが独自に作成することもできます。このウィジェットは、グラフィック要素やテキスト要素を使用してシステムデバイスのパラメータの現在値を表示します。たとえば、タンクの水位パラメータを水位インジケータの付いたタンクの画像にリンクし、水位の上昇または下降を画像で表現します。

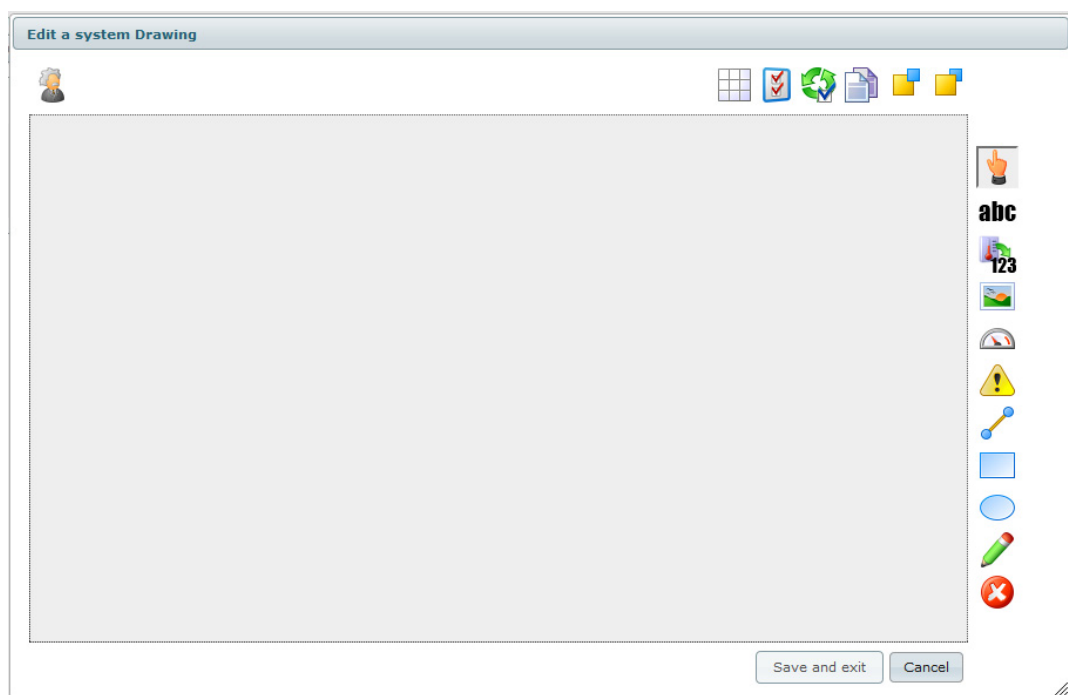
描画ウィジェットはグラフィカルな Web アプリケーションであり、[Add Drawing] リンクをクリックして追加します。

グラフィック画面がダッシュボードに追加されます。

[Edit] ボタンをクリックして、グラフィック画面の作成を開始します。



描画領域は、完成したグラフィック画面がダッシュボードで占める領域に対応します。次の図に示すように、アイコンで表されたさまざまなツールが用意されています。各ツールの詳細については、次のセクションを参照してください。



## 6.6.1 描画ツール



**アドバンスモード** - 作成したグラフィック画面を保存、コンポーネントとして保存、保存されている独自のグラフィック画面を追加、現在のグラフィック画面の内容を消去するツールを開きます。詳細については、62 ページの **高度な描画ツール** を参照してください。



**グリッドにスナップ** - これを有効にすると、新しく作成する線描画オブジェクトが描画中に最も近いグリッド線に自動的に吸着します。無効にすると、フリーハンドで描いたようになります。



**グラフィック画面設定** - グラフィック画面の名前と描画領域の高さを変更します。



**自動更新設定** - 自動更新の **[Default Enabled]** を **[ON]** に設定します。これにより、ページが表示されたときに自動更新が自動的に開始されます。これを **[OFF]** に設定した場合、ダッシュボードページにあるチェックボックスをオンにしない限り自動更新は有効になりません。



**オブジェクトのコピー** - グラフィック画面上の既存のオブジェクトをコピーします。



**背面に送る** - 各オブジェクトはそれぞれ固有のレイヤーにあります。このボタンをクリックすると、オブジェクト/レイヤーが背面に移動します。つまり、別のオブジェクトを前面に配置できます。



**前面に送る** - このボタンをクリックすると、オブジェクト/レイヤーが前面に移動します。つまり、別のオブジェクトを背面に配置できます。



**選択** - 描画領域にある個々の項目をクリックすると、その項目が選択されます。クリックしてマウスをドラッグすると、オブジェクトが移動します。マウスポインターが矢印に変わったときに項目をクリックしてドラッグすると、項目のサイズが変更されます。



**静的ラベル** - 単純なテキストラベル。プロパティを編集するにはダブルクリックします。任意の場所に配置できます。ラベルのサイズはフォントやフォントサイズなどの変更に合わせて自動的に調整されます。



**動的ラベル** - 静的ラベルとの違いは、システムパラメータにリンクしてその値を表示できる点です。



**画像** - 画像ライブラリにある画像をグラフィック画面に追加します。画像は位置とサイズを変更できます。



**動的コンポーネント** - ゲージ、タンク、メーターなどをグラフィック画面に追加できます。コンポーネントをシステムパラメータにリンクすると、パラメータの値とコンポーネントのタイプに従ってコンポーネントがアニメーション表示されます。たとえば、ゲージの針が回転し、タンクの水位が上昇/下降します。パラメータがリンクされていないコンポーネントは単なる静的な画像です。アドバンスモードで動的および静的コンポーネントを独自に作成するか、パブリックライブラリにあるコンポーネントを使用します。



**アラーム** - デフォルトでは、このグラフィックはサマリーアラームを表し、現在のシステムの重要度レベルが最も高いアラームを示します。システムに設定されているアラームのリストから表示するアラームを指定することもできます。アラームは重要度に基づいて色分けされます。アクティブなアラームがないときは緑で表示されます。



**コネクション** - 複数の要素を接続してそれらの関係を示す場合に使用します。コネクションを配置し直すには、その端点をクリックしてドラッグします。端点は近くにある他の端点に自動的に吸着するため、コネクションをドラッグするときに接続し直す必要はありません。システムパラメータをコネクションに割り当てると、コネクションがゲートとして機能します。すなわち、パラメータがある値をとるとコネクションが開き、別の値をとると閉じます。



**四角形の描画** - 必要に応じて位置とサイズを変更できます。不透明度と色を設定することもできます。



**楕円の描画** - 必要に応じて位置とサイズを変更できます。不透明度と色を設定することもできます。



**線の描画** - 必要に応じて位置を変更できます。色、不透明度、グラデーションを設定することもできます。上記の「グリッドにスナップ」も参照してください。



**削除** - 選択した項目をグラフィック画面から削除します。

## 6.6.2 描画領域へのオブジェクトの追加

ラベル、パラメータテキスト、画像、コンポーネント、アラームの各オブジェクトは、関連するボタンをクリックしてから描画領域をクリックするだけで描画に追加できます。オブジェクトの高さ/幅を変更するには四辺のいずれかをクリックしてドラッグします。比率を維持したまま画像のサイズを変更するには、四隅のいずれかをドラッグします。



描画オブジェクトおよびコネクションオブジェクトを追加するには、関連するボタンをクリックしてから描画領域でマウス左ボタンをクリックアンドドラッグし、オブジェクトが目的のサイズになったらマウスボタンを放します。



### オブジェクトのプロパティ

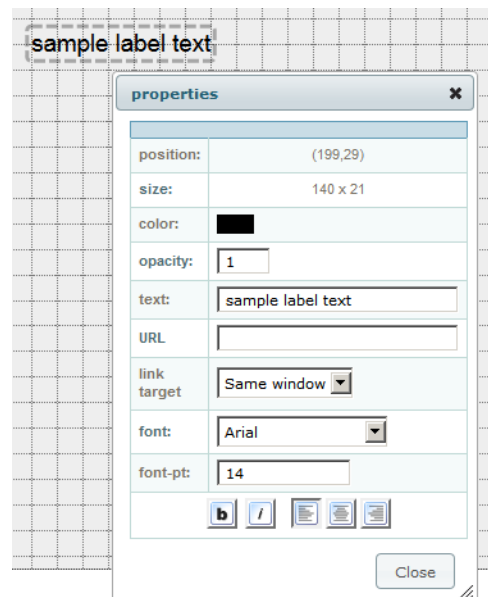
各オブジェクトのプロパティの表示と編集を行うには、オブジェクトをダブルクリックします。プロパティウィンドウが開いた後、別のオブジェクトのプロパティに切り替えるには、そのオブジェクトをクリックします。

### 静的ラベル abc

静的ラベルをグラフィック画面に追加してから、ダブルクリックしてラベルのプロパティウィンドウを開きます。以下の必要なプロパティを入力します。


- 色付きのボックスをクリックして、**テキストの色**を変更します。
- ラベルを透明にするには、**[opacity]** に 1.0 より小さい値を入力して（値が小さいほど透明度は高くなります）、**[Close]** ボタンをクリックします。
- ラベルのテキストを入力し、必要に応じてフォント、テキストサイズ、太字、左揃えなどの設定を変更します。
- 必要に応じて、**[URL]** フィールドにハイパーリンクを指定してテキストボックスを URL にリンクします。**[Link target]** も選択します。
- [Close]** をクリックします。

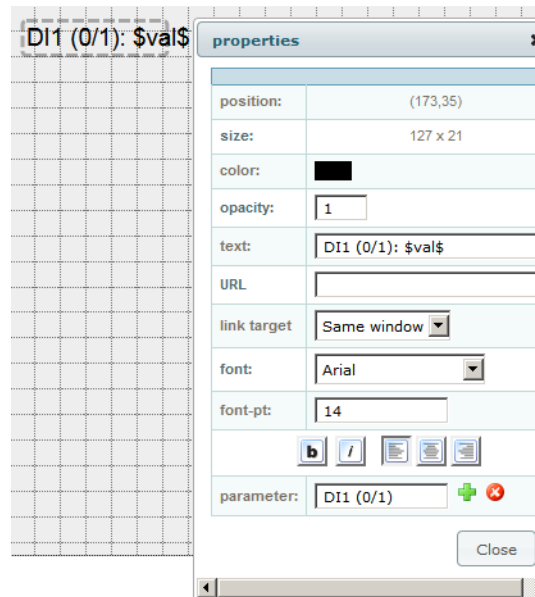
静的ラベルのサイズはテキストの長さによって決定され、自動的に調整されます。テキストは常に 1 行で表示されます。



## パラメータテキスト 123

パラメータテキストは上記の静的ラベルと同じように追加・編集を行います。使用できるプロパティも上記と同じですが、以下の項目が追加で設定できます。

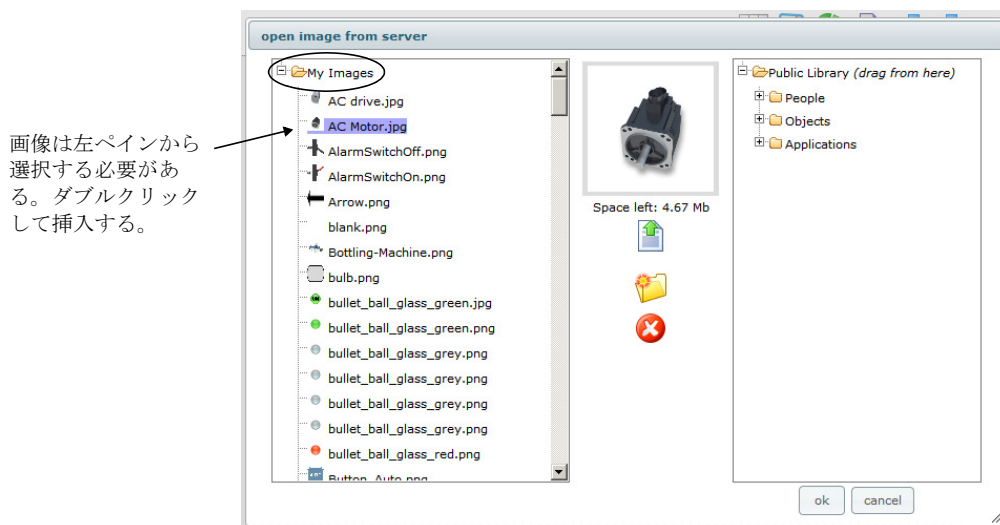
- **[parameter]** -  記号をクリックして、このラベルをフィールドシステムのパラメータに関連付けます。そうすると、**[text]** の設定にそのパラメータの値 (**\$val\$**) が直接取得されます。
- ラベルのテキストを入力し、必要に応じてフォント、テキストサイズ、太字、位置揃え、不透明度などの設定を行います。パラメータは、自動的に "**<parameter name>:\$val\$**" を追加します。  
ここで、"**\$val\$**" はパラメータの値です。これを文字列内の任意の位置に配置できます。
- パラメータのタイプによっては、値が書き込み可能な場合もあります。このオプションを有効にするには、**[Writable]** チェックボックスをオンにします。これを有効にした場合、"**\$val\$**" の前後にテキストを追加することはできません。
- **[Close]** をクリックします。
- このオブジェクトのサイズはテキストの長さによって決定され、自動的に調整されます。テキストは常に 1 行で表示されます。



## 画像

**画像** ボタンをクリックすると、次のような目的の画像を選択するためのダイアログが開きます。グラフィック画面に追加する画像は、左ペインの **[My images]** になければなりません。

画像を追加するには、その画像を**ダブルクリック**します。画像を追加した後、画像の移動、サイズ変更、編集が行えます。次のセクションを参照してください。



**注** : Netbiter Argos で新規にアカウントを作成する際、初期状態では画像は含まれていません。そのため、まずダッシュボードで使用する画像を **[My images]** に追加する必要があります。詳細については、58 ページの画像ファイルの管理を参照してください。

## 描画領域での画像の編集

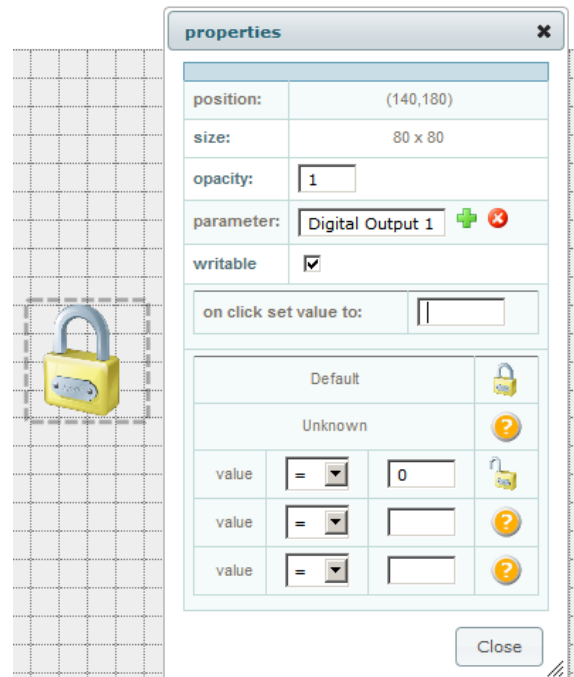
これでグラフィック画面に画像が追加されましたので、画像の編集が行えます。ダブルクリックして画像のプロパティを開きます。

この例では、ロックされた南京錠の画像を使用します。この画像をデジタル出力のパラメータにリンクします。この画像はパラメータのデフォルト状態に使用されます。

次に、値が 0 の場合に表示する別の画像（ロック解除された南京錠）を選択します。画像をダブルクリックして変更します。

不明な状態に対しては、提示された画像がそのまま使用されます。必要に応じて、画像をダブルクリックして変更します。

パラメータが書き込み可能な場合もあります。このオプションを有効にするには、**Writable** チェックボックスをオンにします。必要に応じて、**[on click set value to:]** フィールドの値も入力します。




画像の不透明度を設定することもできます。値が 1 の場合は完全に不透明です。1 未満の値を指定すると透明になり、値が小さいほど透明度は高くなります。


## 画像ファイルの管理

前述したように、画像ファイルは特定の Netbiter Argos アカウント用の画像ライブラリ (My images) に存在するもののみを追加することができます。

新しいファイルを Netbiter パブリックライブラリから追加できます (右側のペインから左側のペインに追加します)。次の図を参照してください。また、右ペインで画像をダブルクリックすると、そのファイルがアカウントに固有のフォルダーにコピーされ、さらにグラフィック画面にも追加されます。



また、新しい画像ファイルをローカルディスクからファイルエリアにアップロードすることもできます。**[Upload]** ボタン  をクリックしてアップロードを開始します。

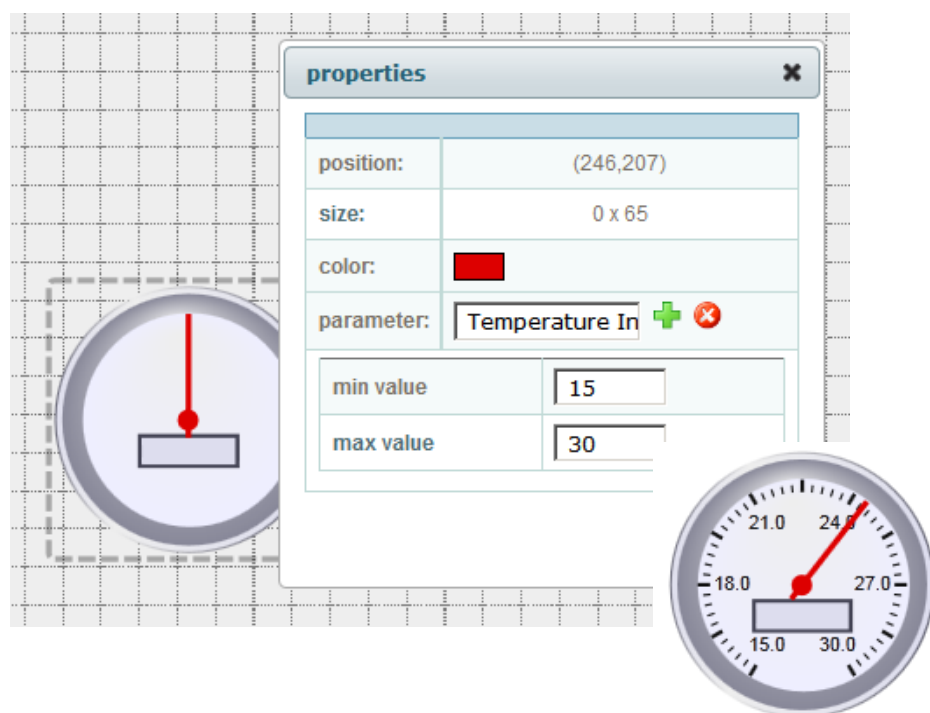
**[My Images]** からファイルを削除するには、対象のファイルを選択して **[Delete]** ボタン  をクリックします。



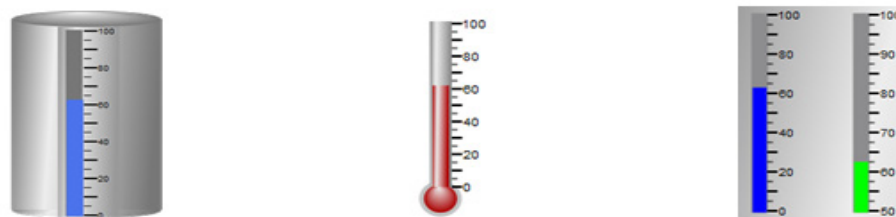
## 動的コンポーネント

動的コンポーネントは、リンクされたパラメータの値に従ってその外観が自動的に更新されるオブジェクトです。次の図に示す温度計がその一例です。動的コンポーネントのプロパティは以下のとおりです。

- **[color]** - 色付きのボックスをクリックして、インジケータコンポーネント（針や水位インジケータなど）の色を設定します。
- **[parameter]** - **+** 記号をクリックして、このコンポーネントをフィールドシステムのパラメータに関連付けます。取得された値と最大値および最小値に従って、コンポーネントの外観が変更されます。下記を参照してください。
- **[min]**（最小）と **[max]**（最大）の値は、パラメータ読み取り値の表示に使用されるスケールの目盛りを設定します。次の例では、15～30℃の範囲で値を表示するように温度スケールを設定しています。



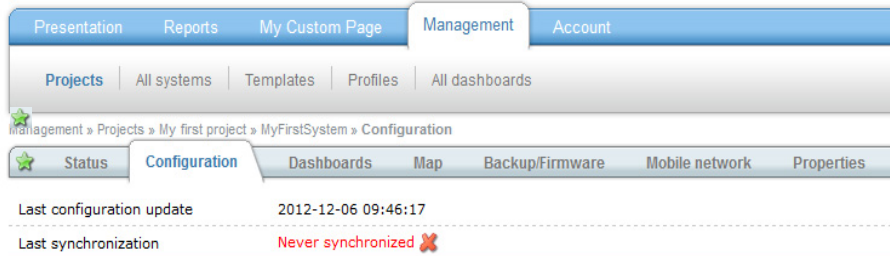
他のタイプの動的コンポーネント（ゲージ、タンク、メーターなど）も Netbiter Argos パブリックライブラリに用意されています。これらはパラメータの値とコンポーネントのタイプに従ってアニメーション表示されます。たとえば、ゲージの針が回転し、タンクの水位が上昇/下降します。パラメータがリンクされていないコンポーネントは単なる静的な画像です。



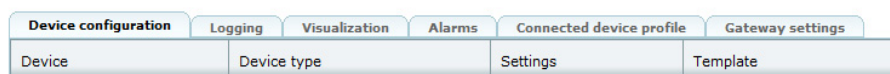
アドバンスモードで動的および静的コンポーネントを独自に作成できます。また、Netbiter Argos のパブリックライブラリにあるコンポーネントを使用することもできます。

## アラーム

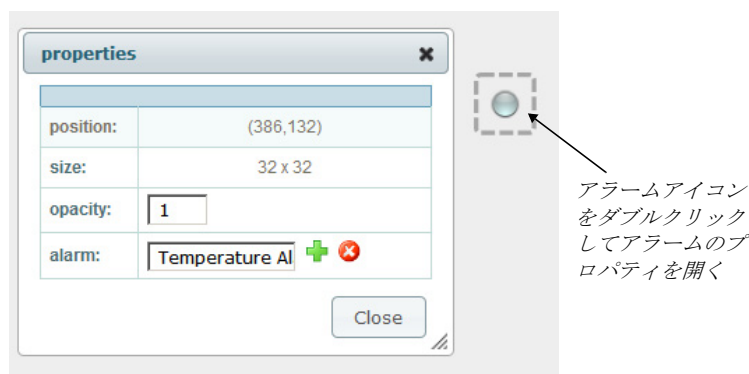
描画に追加したアラームは、39 ページに記載のとおり、**[Configuration] >> [Alarms]** すでに設定したアラームに関連付けられます。








### synchronize configuration





ボタンをクリックしてアラームをグラフィック画面に追加してから、アイコンをダブルクリックしてアラームのプロパティを開きます。



デフォルトでは、アラームオブジェクトはフィールドシステムのすべてのアラームを読み取り、**サマリー**値を表示します(重要度が最も高いアラームを表示します)。使用可能なアラームのレベルは右の表のとおりです。

色	重要度
	アクティブなクリティカルアラーム (危険)
	アクティブなメジャーアラーム (重大)
	アクティブなマイナーアラーム (軽微)
	アクティブな警告
なし	アラームステータス OK
	重要度が設定されていない不確定アラーム

 アイコンを使用して、オブジェクトに関連付ける単一のアラームを選択します。サマリーアラームに戻すには、削除アイコン  をクリックします。不透明度も設定できます。1.0 未満の値を指定すると、アイコンが透明になります。



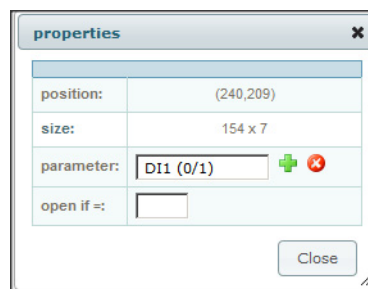
## コネクション

コネクションは、複数の要素を接続してそれらの関係を示す場合に使用するオブジェクトです。コネクションを配置し直すには、その端点をクリックしてドラッグします。端点は近くにある他の端点到自動的に吸着するため、コネクションをドラッグするときに接続し直す必要はありません。システムパラメータをコネクションに割り当てると、コネクションがゲートとして機能します。すなわち、パラメータが指定した値をとるとコネクションが開き、それ以外の値をとると閉じます。次の図を参照してください。



コネクションを追加するには、ツールをクリックしてから描画領域でマウス左ボタンをクリックアンドドラッグしてコネクションを配置します。コネクションを追加した後、端点をドラッグして移動させることができます。2つ以上のコネクションがある場合、端点をドラッグして重ねることによって端点同士を接続できます。

コネクションをダブルクリックすると、プロパティウィンドウが表示されます。



コネクションにパラメータを割り当てるには、**+** アイコンをクリックして目的のパラメータを選択します。

**[open if=]** には、コネクションを開くために満たさなければならない条件を指定します。**[open if]** の値が真になるとコネクションが開き、偽になるとコネクションが閉じます。

## 四角形 / 楕円

四角形または楕円を追加するには、該当するツールをクリックします。

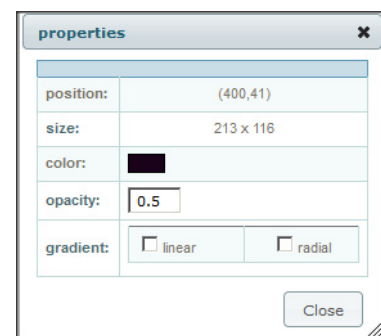
描画領域でマウス左ボタンをクリックアンドドラッグして、オブジェクトの位置とサイズを決定します。オブジェクトが目的のサイズになったらマウスボタンを放します。オブジェクトを追加した後、サイズの変更が行えます。サイズを変更するには、オブジェクトを選択して四辺のいずれかを目的のサイズにドラッグします。比率を維持したままサイズを変更するには、四隅のいずれかをドラッグします。

オブジェクトをダブルクリックすると、プロパティウィンドウが開きます。

色以外の変更可能なプロパティは以下のとおりです。

**[opacity]** - 値を 1.0 未満に設定すると、オブジェクトが透明になります。値が小さいほど透明度は高くなります。

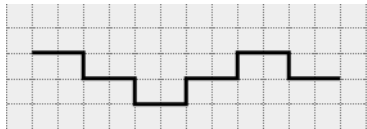
**[gradient]** - オブジェクトをグラデーションで塗りつぶしたい場合、どちらかのオプションを選択します。





線

グラフィック画面での線の描画方法は2通りあります。グリッドにスナップする機能を有効にすると（左下の図を参照）、最も近いグリッド線に従って線が描画されます。この機能を使用しない場合は、フリーハンドで描画されます（右下の図を参照）。



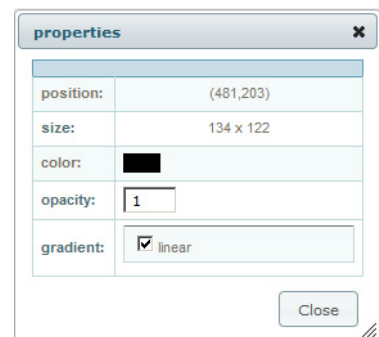
線を描画するには、線描画ツールをクリックしてから描画領域でマウスの左ボタンをクリックアンドドラッグします。線を追加した後でサイズを変更することはできません。線を変更する代わりに、いったん削除してから再度描画し直します。

追加した線をダブルクリックすると、プロパティウィンドウが開きます。

色以外の変更可能なプロパティは以下のとおりです。

**[opacity]** - 値を 1.0 未満に設定すると、オブジェクトが透明になります。値が小さいほど透明度は高くなります。

**[gradient]** - 必要に応じて、オブジェクトをグラデーションで塗りつぶします。




### オブジェクトの削除



オブジェクトを選択してこのボタンをクリックすると、そのオブジェクトがシステム描画から削除されます。オブジェクトを選択してキーボードの **[Delete]** キーを押しても同じ結果になります。

## 6.6.3 高度な描画ツール

描画ウィンドウの左上にあるアドバンスアイコン  をクリックすると、以下の4つのツールが利用できます。



グラフィック画面の保存アイコンでは、描画ツールを終了させずにグラフィック画面を保存することができます。このアイコンを使用しなくても、ツールを終了すると、グラフィック画面が保存されます。



グラフィック画面をコンポーネントとして保存アイコンは、グラフィック画面をコンポーネントとして Netbiter Argos アカウントに保存します。保存したコンポーネントは、たとえばインタラクティブな要素を含むプロセス図を作成するときに背景画像として再利用できます。グラフィック画面のベースとして同じものを繰り返し使用する場合は、この方法を使用すると時間を節約できます。



保存されているグラフィック画面の追加アイコンは、以前に保存されたグラフィック画面 / コンポーネントを編集のために読み込みます。Netbiter Argos パブリックライブラリからコンポーネントを読み込み、独自の要件に合わせて編集とカスタマイズを行うこともできます。単に既存のグラフィック画面にコンポーネントを追加するだけの場合は、代わりにコンポーネントの追加機能を使用します。



すべて消去アイコンは、グラフィック画面からすべてのオブジェクトを削除します。

## 第7章

## 7. レポート (M&amp;A のみ)

Netbiter Argos によって生成されるレポートは、下記の例に示すように、リスト、グラフ、図などのさまざまな形式でユーザーデータを明確かつ正確に表現します。レポートのソースとして使用されるデータは（主に）アカウントの各種フィールドシステムパラメータ（たとえば、タンク水位インジケータやアナログ入力など）から取得されます。つまり、データが、通常は、ゲートウェイに物理的に接続されたデバイスから取得されたものであることを意味します。

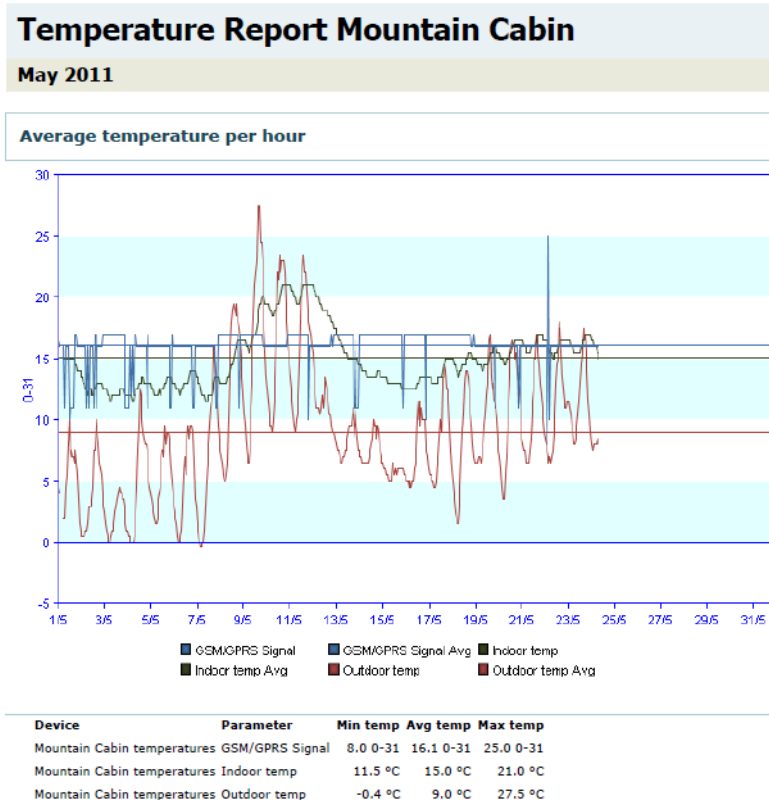
最もシンプルなタイプのレポートでは、設定の必要がほとんどありません。それ以外のレポートでは、複数のフィールドシステムパラメータを選択できるほか、データの表示に影響を与えるさまざまなレポート設定を構成することもできます。

生成された各レポートは Netbiter Argos にオンラインで保存され、ダウンロードして表示することができます。ほとんどのレポートは PDF 形式で提供されますが、**エクスポートデータレポート**は Microsoft Excel で開けるように .xls 形式で保存されます。各ダウンロードレポートには一意の ID 番号が割り当てられます。

レポートタイプに応じて、以下のソースからレポートの基になるデータを取得できます。

- 異なるシステムの同じパラメータ
- 異なるシステムのさまざまなパラメータ
- 同じシステムのさまざまなパラメータ
- 異なるシステム

いずれのタイプのレポートの作成時でも、Web インターフェイスで設定する各パラメータの説明がオンラインで確認できます。



## 7.1 レポートタイプの概要

### アカウントレポート (Account report)

Netbiter Argos で用意された最もシンプルなレポートの 1 つです。このレポートには以下の情報が含まれます。

- Netbiter Argos アカウントに属するすべてのプロジェクトの一覧 (連絡先や住所の情報を含む)
- アカウントのユーザー情報 (E-mail アドレスや電話番号など)
- 各ユーザーがアクセスできるプロジェクト
- アカウントのすべてのフィールドシステムの情報

### オンラインレポート (Online report)

このレポートには、アカウントの各フィールドシステムのオンライン履歴が含まれます。グラフとリストの両形式で表示されます。

### エクスポートデータレポート (Export data report)

選択したフィールドシステムごとに 1 つの .xls ファイルが 1 つの zip ファイルにまとめられてエクスポートされます。.xls ファイルのデータは、Excel で使用したり、さらに他のアプリケーションにエクスポートしたりできます。.xls ファイルには、以下のいずれかのレベルのデータを含めることができます。

- 詳細データ
- 平均データ
- 平均データと最小 / 最大

### エネルギー / 消費レポート (Energy/Consumption report)

エネルギー消費値をグラフとリスト形式で表示します。レポートに使用するパラメータは、アカウントのフィールドシステムから 1 つずつ選択します。時間帯によって異なる料金表を適用することもできます。66 ページのレポート固有の設定に関する説明も参照してください。

### タンク液量レポート (Tank volume report)

タンク液量データをリストとグラフ形式で表示します。このレポートには、タンク液量のパーセント表示はもちろん含まれますが、その他にも任意のフィールドシステムパラメータを選択できます。

### 温度 / トレンドレポート (Temperature/Trend report)

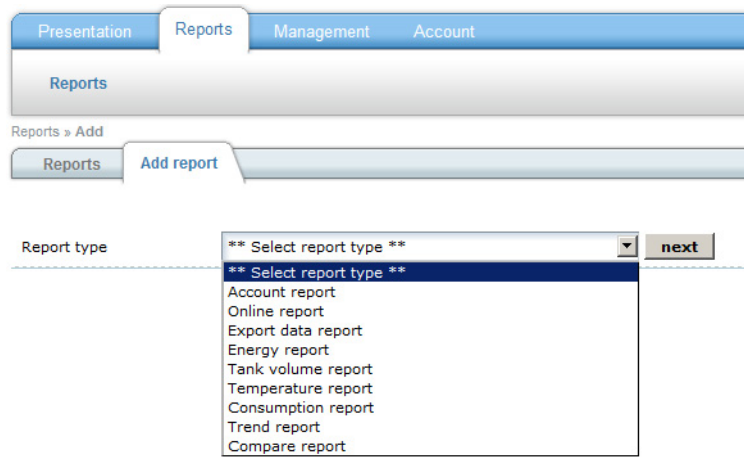
このレポートは、温度 / トレンドデータをグラフで表すのに適しています。最小値 / 最大値と平均値で表すこともできます。66 ページのレポート固有の設定に関する説明も参照してください。

### 比較レポート (Compare report)

このレポートは、フィールドシステムパラメータに基づいてグラフの作成や計算を行う場合に役立ちます。66 ページのレポート固有の設定に関する説明も参照してください。

## 7.2 レポートの作成

Netbiter Argos のレポートは、次の図に示すように、[Add Report] タブからすばやく簡単に作成できます。



レポートを作成できるのはアカウント管理者だけですが、生成されたレポートはプロジェクトの全ユーザーがダウンロードできます。

1. 作成するレポートタイプを選択し、[Next] ボタンをクリックします。

2. 設定ページの最初のセクションで、レポートの基本設定を指定します。以下を入力します。

- **Report name** – 簡単に識別できるわかりやすい名前を使用します。
- **Create new report** – 1 回限りのワンタイムレポートと定期的に繰り返すレポートのどちらを作成するかを選択します。繰り返すオプションの選択肢は毎週と毎月で、実行する曜日や日付を設定できます。どちらかのラジオボタンをクリックして選択します。
- **Send e-mail notification...** – レポートが生成される都度アカウント管理者に通知する場合は、[Yes] に設定します。このオプションは繰り返しレポートを選択した場合にのみ使用できます。

- **This report will be visible...** – レポートを特定のプロジェクトにリンクします。こうすることで、選択したプロジェクトのユーザーがレポートにアクセスできるようになります。[No project] に設定した場合は、アカウント管理者だけがレポートにアクセスできます。

3. 2 番目のセクションでは、生成するレポートに固有の設定 (必須または任意指定) を行います。詳細については、次のセクションを参照してください。

4. 最後に、[Add] ボタンをクリックしてレポートを作成します。

Reports » Reports » Add » Tank volume report

Reports Add report

Report settings

**Report name**

**Create new report**

that runs once  
**or**  
 that is repeated

every week  
 every month

and will run on the day of the week:

Send email notification whenever report is available  
 Yes  
 No

This report will be visible for users with access to this project:

## 7.3 レポート固有の設定

上記の手順 3 に必要な設定の数は、生成するレポートのタイプによって異なります。たとえば、**オンラインレポート**の場合は、次の図に示すように、詳細データを表示するかどうかを指定するだけです。

その他のレポートタイプでは、もう少し多くの設定があります。たとえば、**エネルギーレポート**では、選択した（複数の）フィールドシステムパラメータからのデータの表示に影響を与えるさまざまな**レポート設定**があります。スケーリング機能がその一例です。

2つのフィールドシステムパラメータ

フィールドシステムパラメータからのデータの表示に影響を与える各種レポート設定

温度/トレンドレポートでは、次の例に示すように、フィールドシステムパラメータを異なるグループにまとめることもできます。

The screenshot shows the 'Temperature report Settings' interface. At the top, there is a header 'Temperature report Settings' and a breadcrumb 'Netbiter Demo Project->Mountain Cabin in Vemdalen'. Below this, there are two groups of parameters, labeled 'グループ 1' and 'グループ 2' with arrows pointing to them. Each group has a 'Group title' (e.g., 'Average indoor temperature per hour'), 'Show detail' status, and 'Use min/max' status. Below each group title, there are specific parameter entries with their values and 'Remove' links. At the bottom, there are buttons for 'new group' and 'create'.

**注:** フィールドシステムパラメータをグループに追加する場合、直近に作成されたグループ（すなわち、リストの一番下にあるグループ）に追加されます。以前に追加したグループにパラメータを追加することはできません。したがって、上記の例では、「Average indoor temperature...」グループにこれ以上パラメータを追加することはできません。グループからのパラメータの削除はいつでも行えます。

比較レポートでは、選択したフィールドシステムパラメータのデータに基づいて計算を実行し、グラフを作成することができます。

The screenshot shows the 'Compare report Settings' interface. At the top, there is a header 'Compare report Settings' and a breadcrumb 'Netbiter Demo Project->HMS Beijing Netbiter EC220 Demo->Temperature 1'. Below this, there are two parameter entries, labeled '2つのフィールドシステムパラメータ' with arrows pointing to them. Each entry shows the parameter name, unit, parameter type, and 'Show average', 'Show total', and 'Show in table' status. Below the parameter entries, there are buttons for 'add' under 'Calculated' and 'add' under 'Graphs'. A label 'ボタンをクリックして計算を追加する' with an arrow points to the 'add' button under 'Calculated'.



最初オペランドとしてパラメータを選択します。

演算子 (+/-\*%) を選択します。

2 番目のオペランドで、別のパラメータを選択するか、独自のオペランド値を設定します。

[Save] ボタンをクリックして計算を保存します。

## 7.4 どのレポートを使用すればよいか

作成するレポートのバリエーションは数多くあるため、すべての組み合わせを網羅したリストをここで示すことはできません。さらに、プロジェクトは1つとして同じものではなく、必要とされるレポートの種類はプロジェクトごとに異なります。

各自の要件に見合ったレポートの作成方法が十分理解できるように、各種レポートでさまざまな設定を試しながら、満足のいく結果が得られるまで設定やパラメータを調整することをお勧めします。(テスト) レポートを生成しても保存されているデータに影響する心配はないため、レポートの作成方法が効果的に学習できます。

## 7.5 レポートリスト

このページには、アカウントのレポートが一覧表示されます。ページの一番上のセクション ([Report Name]) はレポートのセットアップ (すなわち、レポートの「テンプレート」) を示します。ここで、[Edit] リンクをクリックしてレポートに変更を加えることができます。レポートを再び手動で生成するには、[Run] リンクをクリックします。そうすると、使用可能な最新データを含む新しいレポートが生成されます。このとき、レポート期間を設定するダイアログが開きます。


Report name	Report type	Creator	Next run	Manage	Action
Account report	account	Test User		Edit Delete	Run
Export data report	export	Test User	2013-06-19 16:09:00	Edit Delete	Run
Online report	online	Test User	Report running. Cancel	Edit Delete	Run

Create date	Report type	Report name	Period	Download	Status	Action
2013-06-19 13:38:28	account	Account report	2013 W23	download	done	Delete
2013-06-19 12:54:24	account	Account report	2013 May	download	done	Delete

[Generated reports] リストには、各レポートのインスタンスが一覧表示されます。リストの各行は、レポートの基本情報 (タイプ、名前、対象期間など) を示します。

[Download] リンクをクリックして、レポートを目的の場所に保存します。

 アカウントから削除したレポートは元に戻せません。ただし、削除したレポートがしばらくの間リストに残ることがあります。



## 8. テンプレートおよびプロファイルの作成

Netbiter EasyConnect ゲートウェイに接続されたデバイスと通信するには、デバイスと Netbiter EasyConnect ゲートウェイ間のマッピングを提供する、**デバイステンプレート**または**デバイスプロファイル**が必要です。

- **デバイステンプレート**は、接続されたデバイスのパラメータを記述したものです。このテンプレートには、使用可能な Modbus または SNMP アドレスとそのデータタイプのほか、あらかじめ定義されたスケーリングやオフセットが格納されています。パラメータのさまざまな表示方法もテンプレートで定義できます（たとえば、列挙や読み出し / 書き込み条件など）。
- **デバイスプロファイル**には、デバイステンプレートに加えて、ユーザーに最適なインターフェースを提供するための追加の設定（ダッシュボード、現在値、履歴データ、アラーム、各種ゲートウェイ設定など）が格納されています。

### 強力なツール

テンプレートとプロファイルの利便性は、複数のフィールドシステムに適用したときに明らかになります。

- 設置の際にテンプレートを適用するだけで、同じタイプのデバイスが接続された新しいフィールドシステムを簡単に追加できます。設定はすでに構成されています。
- 複数のフィールドシステムのパラメータ設定の更新と保守が簡単に行えます。テンプレートでパラメータを変更した後、フィールドシステムに同期すると、そのテンプレートを使用するすべてのデバイスが変更を受け取ります。
- パラメータのアドレスやスケーリングを覚えておく必要はありません。これらはすでにテンプレートまたはプロファイルで定義されています。

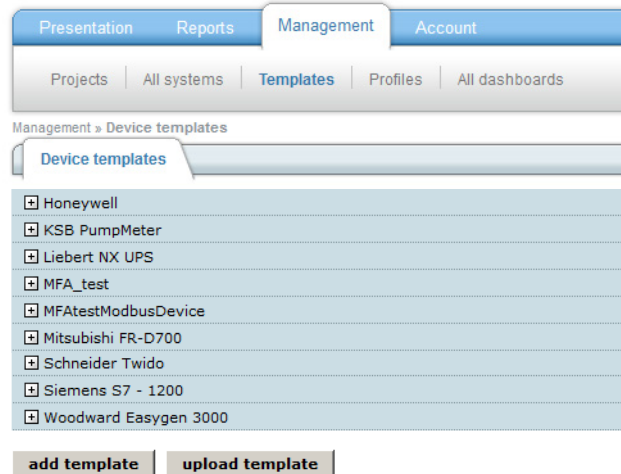
ユーザー定義のテンプレートとプロファイルは、必要に応じて Netbiter Argos アカウントに追加し、編集できます。

また、カスタムデバイスプロファイルを Netbiter Argos に公開して、共有することもできます。詳細については、92 ページのセクション 9.4.3 を参照してください。

## 8.1 デバイステンプレートの作成

デバイステンプレートの作成とアップロードは、**[Management]>>[Templates]** メニューで行います。

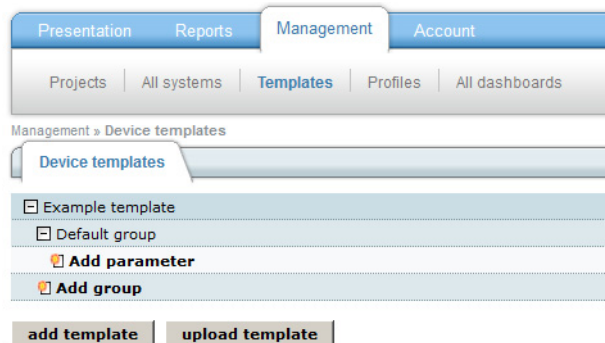
新しいテンプレートを追加するには、ページの下部にある **[Add Template]** ボタンをクリックします。



テンプレートタイプ (Modbus または SNMP) を選択し、わかりやすい名前を入力します。 **[Save]** ボタンをクリックします。テンプレートには、その目的や適用範囲がわかるような名前を付けます。名前にユニットのモデル、名前、バージョンなどを含めることもできます。

The screenshot shows the 'Add template' form. It has a 'Template type' dropdown menu with 'Modbus' selected. Below it is a 'Name \*' text input field containing 'SNMP'. At the bottom of the form are two buttons: 'save' and 'cancel'.

これで、新しいテンプレートがテンプレートのリストに追加されます。



### 8.1.1 デバイステンプレートへのパラメータの追加

テンプレートの + 記号をクリックして、グループとパラメータを展開します。前のセクションでサンプルテンプレートを作成したばかりなので、現時点では 1 つのグループ (Default group) しかありません。

[Add parameter] をクリックして必要な情報を入力します。

**Name** – 新しいパラメータの名前。

**Unit** – 値のタイプ (V、KWh、hours など) を定義します。

**Type** – Modbus タイプ (Holding、Input、Coil、Discrete input) を定義します。テンプレートが SNMP タイプの場合は、SNMP にのみ設定できます。このアドレスの読み出しまたは書き込みを設定するには、下記の **Presentation** を参照してください。

**Address** – 読み書きする Modbus レジスタアドレスまたは SNMP オブジェクト識別子 (OID)。

**Datatype** – Modbus/SNMP レジスタのデータ型を定義します。

Modbus の場合は、Modbus テンプレートタイプに応じて以下のいずれかを指定できます。

- **16 bit value** (符号付きまたは符号なし)。
- **32 bit value** (符号付きまたは符号なし)。下位アドレスに最上位ワード (レジスタ)。
- **Swapped 32 bit value** (符号付きまたは符号なし)。上位アドレスに最上位ワード (レジスタ)。
- **Floating point** – 32 ビット浮動小数点。(IEEE-754) 下位アドレスに最上位ワード (レジスタ)。
- **Swapped floating point** – 32 ビット浮動小数点。(IEEE-754) 上位アドレスに最上位ワード (レジスタ)。
- **Double precision floating point** – 64 ビット浮動小数点。(IEEE-754) 下位アドレスに最上位ワード (レジスタ)。
- **Swapped double precision floating point** – 64 ビット浮動小数点。(IEEE-754) 上位アドレスに最上位ワード (レジスタ)。
- **Hi 8 bit value** (符号付きまたは符号なし)。16 ビットレジスタの上位バイトを示します。この値を書き込むと、16 ビットレジスタが読み出されて上位バイトが更新され、その値が書き戻されます。この値を読み出すと、16 ビットレジスタが読み出され、その上位 8 ビットの値が表示されます。
- **Lo 8 bit value** (符号付きまたは符号なし)。16 ビットレジスタの下位バイトを示します。この値を書き込むと、16 ビットレジスタが読み出されて下位バイトが更新され、その値が書き戻されます。この値を読み出すと、下位 8 ビットの値が単に読み出されて表示されます。
- **Special formats** (1 および 2)。特殊な実装用に予約されています。
- **String**。このデータタイプを入力すると、[Multi register] (マルチレジスタ) のフィールドも表示されます。ここで入力した値 (1 ~ 20) により、読み出す 16 ビットレジスタの数が決まります。文字列の各文字は 8 ビットであるため、各リードレジスタは 2 つの文字を持つことができ、文字列の最大長は 40 (20x2) 文字になります。0x00 は終端文字列として使用されます (文字数が奇数の場合など)。無効な文字が存在する場合、その文字が何であるかに応じて、無効な文字が

取り除かれるか、エラーコードが返されます。文字のエンコーディングは ISO-8859-1 です。

- **ASCII Hex.** 古いデバイスとの後方互換性を確保するため、このデータタイプは **[Multi register] (マルチレジスタ)** のフィールドも使用します。このフィールドの値 (1 ~ 20) により、読み出す 16 ビットレジスタの数が決まります。各 16 ビットレジスタは、4 個の文字を用いた 16 進数形式 (0000 ~ FFFF) で表示されます。そのため、文字列の最大長は 80 (20\*4) 文字になります。

SNMP テンプレートの場合は、以下のデータ型も使用できます。

- Boolean.
- Date time.
- Bit string.
- Null.
- SNMP Object ID - 管理対象オブジェクトを一意に定義します。これはピリオドで区切られた数値の文字列です (例: 10.4.3.67.88.23)。
- IP address - 32 ビット IPv4 アドレスを表します。
- Counter - 最小値 0、最大値 232 - 1 (4,294,967,295) の 32 ビット値。
- Gauge - 最小値 0、最大値 232 - 1 (4,294,967,295) の 32 ビット値。ゲージは自由に増減できますが、最大値を超えることはできません。
- Timeticks - 最小値 0、最大値 232 - 1 (4,294,967,295) の 32 ビット値。デバイスのアップタイムを 1/100 秒単位で測定します。
- Opaque - 任意のエンコーディングをオクテット文字列に埋め込むことができます。
- 64 bit counter - 上記のカウンターとほぼ同じですが、最大値は 18,446,744,073,709,551,615 です。
- 64 bit value (符号付きまたは符号なし)。

**Scaling と offset** - スケーリングでは、Modbus/SNMP レジスタから読み出す値または Modbus/SNMP レジスタに書き込む値を表示 / 書き込みする前に変更することができます。これにより、たとえばガロンをリットルに換算するなど、値を別の単位で表示できます。スケーリング係数は除数なので、レジスタから読み出す際は値がこの係数によって**除算**され、レジスタに書き込む際はこの係数と**乗算**されます。

オフセットを使用すると、値をさらに修正できます。

読み出し時は、スケーリング後にオフセットが適用されます。

$$\text{計算値} = \frac{\text{パラメータ値}}{\text{スケーリング}} + \text{オフセット}$$

書き込み時は、スケーリング値が乗算される前にオフセットが減算されます。

$$\text{パラメータ値} = (\text{表示値} - \text{オフセット}) \times \text{スケーリング}$$

以下の例を参照してください。

- Modbus/SNMP レジスタ値 = 510、スケール値 = 10 > 51.0 が表示されます。
- Modbus/SNMP レジスタ値 = 5118、スケール値 = 100 > 51.18 が表示されます。
- Modbus/SNMP レジスタ値 = 1、スケール値 = 0.1 > 10 が表示されます。
- Modbus/SNMP レジスタ値 = 2、スケール値 = -1 > -2 が表示されます。
- ページ入力 = 127.5、スケール値 = 10 > 1275 がレジスタに書き込まれます。

オフセット値は、ページに表示する前、履歴データに記録する前、またはアラーム条件と比較する前にレジスタ値から**減算**されます。

例：レジスタ値 = 5、オフセット = 2 の場合、3 がページに表示されます。

オフセット値は、Modbus/SNMP スレーブに書き込む前に値に**加算**されます。

例：入力値 = 5、オフセット = 2 の場合、7 がスレーブに書き込まれます。

スケーリングとオフセットの両方を使用する例として、温度を摂氏または華氏に換算する場合を考えます。

$$\text{摂氏} = \frac{\text{華氏}}{1.8} - 17.7778$$

摂氏はスケーリング = 1.8、オフセット = -17.7778 で計算されます。

$$\text{華氏} = \frac{\text{摂氏}}{0.5556} + 32$$

華氏の場合、スケーリングは 0.5556、オフセットは +32 に設定されます。

**i** **注**：複数のインスタンスで同じスケーリングとオフセットを使用する場合は、これらをデバイステンプレートで直接設定すると便利です。

**Group** – パラメータを割り当てるパラメータグループを選択します。

**Presentation** – ページに値をどのように提示するかを定義します。以下のいずれかに設定できます。

- **Show as value** – アドレスから読み出して結果をページに表示します。
- **Read/Write value** – アドレスから値を読み出してそれを表示します。ページ上の値の横に **[Set]** ボタンがあり、これを使用してアドレスに書き込むことができます。
- **Write only** – この値は書き込みのみ可能で、読み出しはできません。
- **Show with enumeration** – アドレスから値を読み出し、対応する列挙文字列でそれを表示します。下記の Enumeration を参照してください。
- **Read/Write value with enumeration** – アドレスから値を読み出し、対応する列挙文字列でそれを表示します。ページ上の値の横にドロップダウンがあり、これを使用して有効な列挙文字列を選択できます。選択した値がアドレスに書き込まれます。
- **Write only value with enumeration** – 選択した値がアドレスに書き込まれます。

**Enumeration** – 列挙型変数を [ 数値 ]=[ 文字列 ] の形式で定義します。各列挙項目はセミコロン (;) で区切り、前後にスペースは入れません。また、**undefined={ 文字列 }** と入力することにより、定義されていないすべての値に対するデフォルトの列挙文字列を設定できます。

例：

0=Off;1=On

0=Sunday;1=Monday;2=Tuesday;3=Wednesday;4=Thursday;5=Friday;6=Saturday

0=Weekend;6=Weekend;Default=Workday

**Number of decimals** – 列挙型パラメータで使用する小数点以下の桁数を定義します。

**Mask** – Modbus/SNMP レジスタから特定のビットをマスクする場合に使用します。値はバイナリ形式でページに表示されます。マスク (論理 AND) されたレジスタ値は、ページに表示する前、履歴データに記録する前、またはアラーム条件と比較する前に右にシフトされます。

例：

レジスタ値 = 214 (16 進数 D6)、マスク = 240 (16 進数 F0) の場合、マスク演算結果は 208 (16 進数 D0) となり、この値がビットシフトされて 13 (16 進数 D) がページに表示されます。

マスクを追加または修正するには、16 進数の値を入力するか、2 進数表現における目的のビットを反転させます。

**Valid range** – 書き込みパラメータの最大値と最小値を定義します。この範囲から外れた値を入力した場合、警告メッセージが表示されます。スケーリングと組み合わせる場合は、スケーリング後の値を指定します。

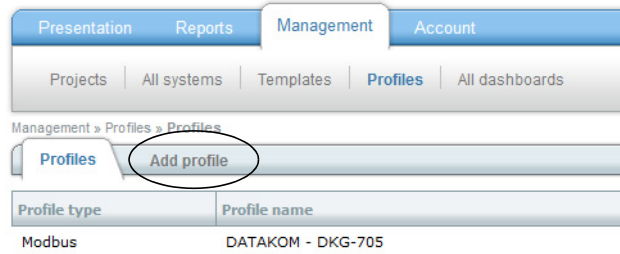
## 8.2 テンプレートのアップロード

既存のテンプレートを Netbiter Argos アカウントにアップロードするには、テンプレートリストの下部にある **[Upload]** ボタンをクリックします。

## 8.3 デバイスプロファイルの作成 (M&A のみ)

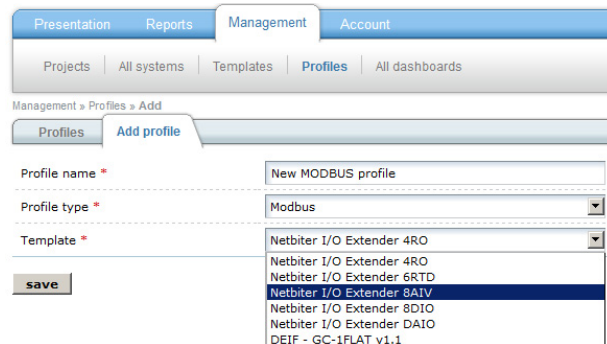
デバイスプロファイルの作成とアップロードは、**[Management]>>[Profiles]** メニューで行います。

新しいプロファイルを追加するには、**[Add Profile]** タブをクリックします。

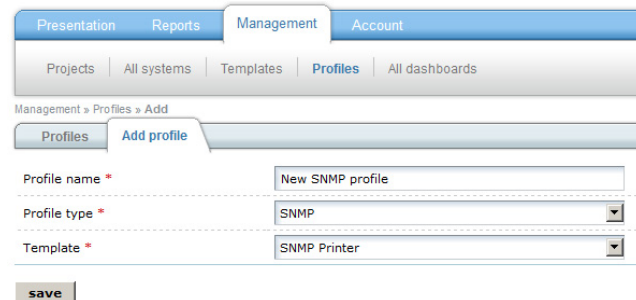


**[Name]** フィールドにプロファイルの名前を入力します。

プロファイルのタイプとして、**[Virtual]** (ゲートウェイ内部 IO およびレジスタ)、**[Modbus]**、**[SNMP]** のいずれかを選択します。



デバイスに必要なパラメータマッピングを含むデバイステンプレートを選択します。右の例を参照してください。



**[Save]** ボタンをクリックします。

新しいプロファイルがユーザー定義プロファイルとして保存されます。

User defined device profiles	
Profile type	Profile name
Modbus	New Modbus profile
SNMP	New SNMP profile

プロファイルをさらに編集するには、次のセクションを参照してください。

### 8.3.1 デバイスプロファイルの編集

プロファイルを編集するには、そのプロファイルの **[Edit]** リンクをクリックします。そうすると、次の図のような編集ウィンドウが開きます。

一番上のフィールドに、プロファイル名と関連付けられたデバイステンプレートが表示されます。**[Add]** ボタンをクリックして、プロファイルにさらにテンプレートを追加することができます。

関連付けられたデバイステンプレートを使用することで、プロファイルをユーザーがすぐに使える包括的なインターフェースにすることができます。そのためには、テンプレートから以下のコンポーネントを直接インポートします。

- 履歴データ
- 現在値
- アラーム
- ゲートウェイ設定

### 8.3.2 履歴データ、現在値、およびアラームの追加

履歴データ、現在値、およびアラームをプロファイルに追加するには、プロファイルに関連付けられたデバイステンプレートからそれらを選択します。すなわち、既存のデバイステンプレートにすでにそれらが設定されている必要があります。

これらのいずれかを追加するには、適切なタブを開き（上の図を参照）、**[Add Log Parameter]**（履歴データ追加）、**[Add Visualization Parameter]**（現在値追加）、**[Add Alarm Parameter]**（アラーム追加）のいずれかのボタンをクリックします。

たとえばアラームとして追加するパラメータを選択するためのダイアログでは、元のパラメータがアラーム条件の基礎として使用されます。

テンプレートで定義されている元のパラメータ

プロファイルでアラームとして使用されるパラメータ



**i** 注:

- プロファイルに必要な履歴データ、現在値、またはアラームがテンプレートに存在しない場合は、まず適切なデバイステンプレートでその項目を作成する必要があります。
- 複数のインスタンスで同じスケールリングとオフセットを使用する場合は、デバイステンプレートで設定した方が便利です。

### 8.3.3 ダッシュボードおよびデフォルトゲートウェイ設定の追加

#### ダッシュボード

ダッシュボード（編集ウィンドウには表示されません）は別個に設定してからプロフィールにリンクします。プロフィールで使用するためのダッシュボードは、次の場所からプロフィールダッシュボード（**Profile Dashboard**）として追加する必要があります。

[Management]  
    → [All dashboards]  
        → [Add Dashboard]

ダッシュボードの作成の詳細については、46 ページを参照してください。

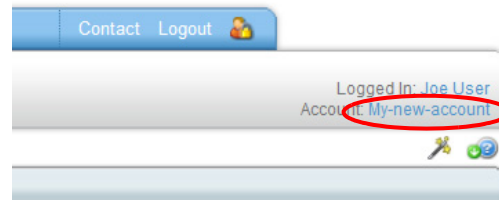
#### デフォルトゲートウェイ設定

ゲートウェイ設定は、ゲートウェイとそれに接続されたデバイスとの通信に必要です。これらの設定は、接続された Netbiter EasyConnect ゲートウェイから取得するか、手動で入力します。詳細については、34 ページのコンフィグレーション - ゲートウェイ設定を参照してください。

## 9. アカウントのコンフィグレーション (M&A)



**重要!** この章の内容は、M&A サービスレベルのアカウント設定に当てはまるものです。V&C レベルで利用可能なアカウント設定にアクセスするには、右に示すように、アカウント名のリンクをクリックします。



Netbiter Argos のアカウントに関する設定は、すべて **[Account]** タブに用意されています。この設定はアカウント管理者のみ利用できます。

Presentation		Reports		Management		Account			
Information		Licensing		Users		External data access		Customize	
Account » Information									
Summary				Log calculation					
Number of projects						1			
Number of active systems						0			
Number of sending systems						0			
Number of GPS tracking enabled systems						0			
Number of users						1			
Login information									
Account login						DemoSetup			
Last login						2012-11-05 13:50:29			

### 9.1 Information

このタブには、使用中のアカウントに関する情報が保持されます。アカウント名はページの右上隅に表示されています。

#### 9.1.1 サマリーページ

このページは、アカウントに関する最も重要な情報が一目でわかるようになっています。

- **Number of Projects** - このアカウントに属するプロジェクトの数を示します。
- **Number of Active Systems** - このアカウントに属するアクティブなフィールドシステムの数を示します。
- **Number of Pending Systems** - このアカウントに属するアクティブでない保留中のフィールドシステムの数を示します。
- **Number of GPS Tracking Enabled Systems** - このアカウントに属する、GPS トラッキングが有効になっているフィールドシステムの数を示します。
- **Number of Users** - このアカウントのユーザーの数（管理者を含む）を示します。
- **Account login** - 現在アカウントにログインしている管理者を示します。
- **Last login** - このアカウントの前のログイン日時を示します。

### 9.1.2 履歴データ計算

このページには、設定に応じた履歴データの保存期間を計算するためのツールが用意されています。

必要な変数を入力すると、履歴データ保存期間がサブスクリプションごとに表示される。

Log level	Log parameters	Interval
Slow log	1	60 min
Medium log	8	5 min
Fast log	1	60 sec

Subscription Level	Points	Detailed Period	Average Period
Standard	50000	14 days	209 days
Log250	250000	67 days	750 days
Log1000	1000000	266 days	750 days

## 9.2 ライセンス

### 9.2.1 サブスクリプション

Netbiter Argos ソリューションでは、サブスクリプションに基づいて定義済みのサービスレベルを利用できます。これはユーザー数、データの保存容量、サポートされているフィールドシステムの数などを基準とします。サブスクリプションは [Account]>> [Licensing] にある [Subscription] タブで管理します。

Account » Licensing » Subscription

Subscription SMS Users

Subscription key	Order ref	Information	Used	Add date	Select
Standard		Standard	1		C

add subscription key Start add subscription key use subscription key

System subscription overview

Name	Device ID	Project	Level	Activated	Expiration date	Select
Power 1	003023FD273P	Power plant	Standard	Yes	Standard	

Subscription expired Subscription less than 3 months Subscription more than 3 months

Netbiter EasyConnect ゲートウェイの購入に付属するスタンダードサブスクリプションは、履歴データの保存容量、サポートシステムの数、ユーザー数、および SMS メッセージ数が設定された基本的なサービスレベルを提供します。不足がある場合は、必要に応じて、履歴データの容量を増やす / 保存期間を延長する、ユーザー数を増やす、などの拡張が可能です。新しいサブスクリプションをお申し込みいただく場合は、HMS 製品の販売店にお問い合わせください。サブスクリプションライセンスは通常、有効期限が定められています。

### 9.2.2 サブスクリプションキーの追加

ここで説明する手順は、サポートシステムの数や使用可能な履歴データ容量などのサブスクリプションキーに関する手順です。SMS およびユーザーサブスクリプションキーを追加する手順については、セクション 9.2.3 および 9.2.4 を参照してください。

1. 新しいサブスクリプションキーを追加するには、[Subscription] タブにある [Add subscription key] ボタンをクリックします。

Account » Licensing » Subscription

Subscription SMS Users

Subscription key	Order ref	Information	Used	Add date	Select
Standard		Standard	1		C

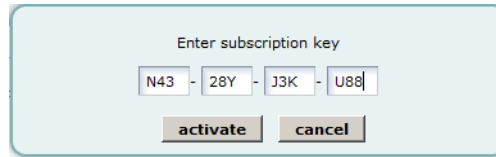
add subscription key Start add subscription key use subscription key

System subscription overview

Name	Device ID	Project	Level	Activated	Expiration date	Select
Power 1	003023FD273P	Power plant	Standard	Yes	Standard	

Subscription expired Subscription less than 3 months Subscription more than 3 months

2. 12桁のサブスクリプションキーを入力するためのダイアログが表示されます。キーを入力して **[Activate]** ボタンをクリックします。

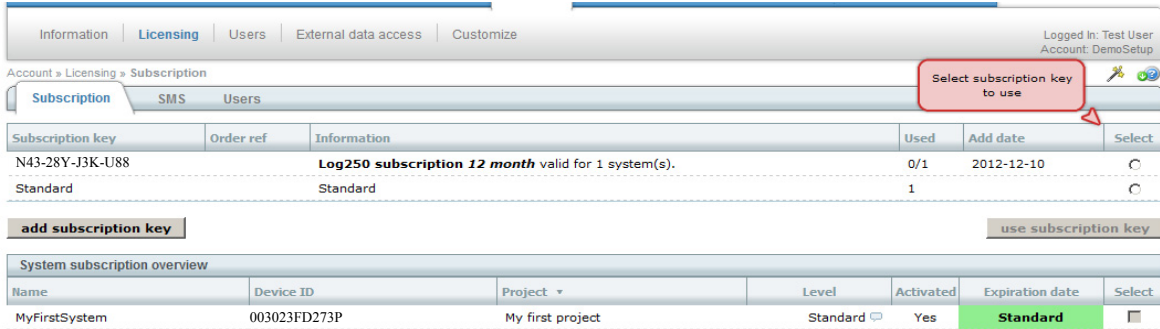


Enter subscription key

N43 - 28Y - J3K - U88

activate cancel

次の例のように、サブスクリプションキーがリストに追加されます。



Information | **Licensing** | Users | External data access | Customize

Account » Licensing » Subscription

Subscription key | Order ref | Information | Used | Add date | Select

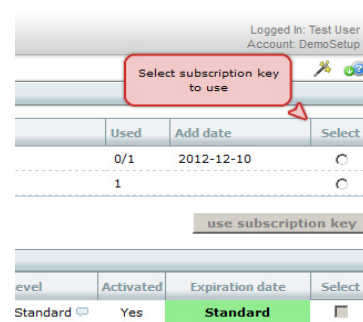
N43-28Y-J3K-U88		Log250 subscription 12 month valid for 1 system(s).	0/1	2012-12-10	<input type="radio"/>
Standard		Standard	1		<input type="radio"/>

add subscription key use subscription key

System subscription overview

Name	Device ID	Project	Level	Activated	Expiration date	Select
MyFirstSystem	003023FD273P	My first project	Standard	Yes	Standard	<input type="checkbox"/>

3. 右側のラジオボタンをクリックして、使用する(新しい)サブスクリプションを選択します。



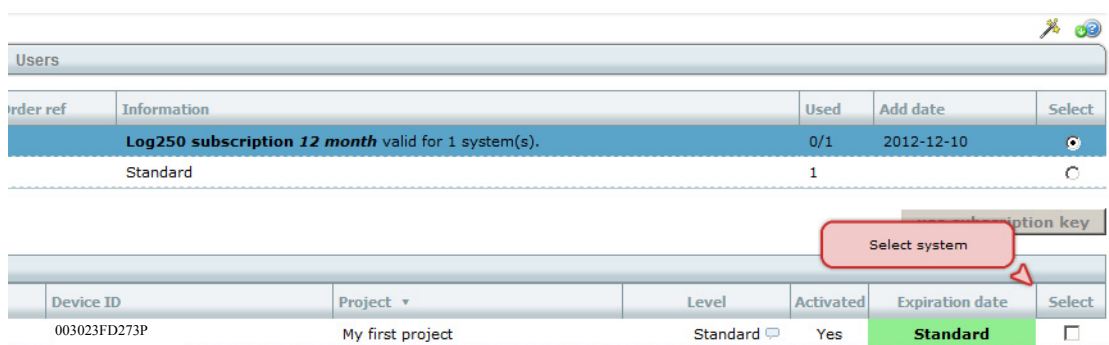
Used | Add date | Select

0/1	2012-12-10	<input type="radio"/>
1		<input type="radio"/>

use subscription key

Level	Activated	Expiration date	Select
Standard	Yes	Standard	<input type="checkbox"/>

4. 次に、サブスクリプションを適用するフィールドシステムを選択します。次の例では、新しいサブスクリプションによって履歴データ容量を増やすフィールドシステムを選択します。



Users

Order ref | Information | Used | Add date | Select

	Log250 subscription 12 month valid for 1 system(s).	0/1	2012-12-10	<input type="radio"/>
	Standard	1		<input type="radio"/>

use subscription key

Select system

Device ID	Project	Level	Activated	Expiration date	Select
003023FD273P	My first project	Standard	Yes	Standard	<input type="checkbox"/>

5. 最後に、**[Use subscription key]** ボタンをクリックしてこのサブスクリプションを選択したシステムに割り当てます。



Used | Add date | Select

0/1	2012-12-10	<input type="radio"/>
1		<input type="radio"/>

Use the subscription key use subscription key

Level	Activated	Expiration date	Select
Standard	Yes	Standard	<input checked="" type="checkbox"/>

これで、システムサブスクリプション一覧リストにどのフィールドシステムがどのサブスクリプションを使用しているかが表示されます。有効期限も示されます。

System subscription overview						
Name	Device ID	Project	Level	Activated	Expiration date	Select
MyFirstSystem	003023FD273P	My first project	Log250	Yes	2013-12-31	<input type="checkbox"/>

■ Subscription expired 
 ■ Subscription less than 3 month 
 ■ Subscription more than 3 month

### 9.2.3 SMS サブスクリプションキーの追加

Netbiter EasyConnect ゲートウェイの購入に付属するスタンダードサブスクリプションには、ユーザーへのアラーム通知の送信に使用できる、一定の SMS メッセージ数 (リソースプール内) が含まれています。SMS メッセージの数を増やすには、HMS 製品の購入先から受け取った SMS サブスクリプションキーを入力する必要があります。これは [Account]>>[Licensing] にある [SMS] タブで入力します。

1. [Add SMS licence key] ボタンをクリックします。

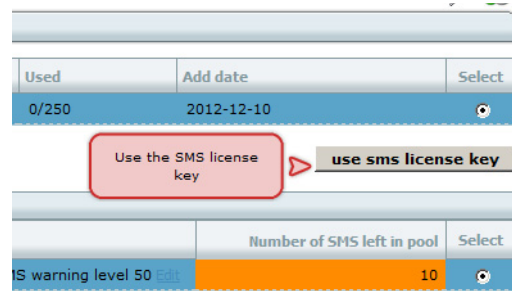
2. 12桁のサブスクリプションキーを入力するためのダイアログが表示されます。キーを入力して [Activate] ボタンをクリックします。

サブスクリプションキーがリストに追加されます。

3. 対応するラジオボタンをクリックして、使用する (新しい) SMS サブスクリプションを選択します。

4. 新しい SMS メッセージを追加するリソースプールを選択します。

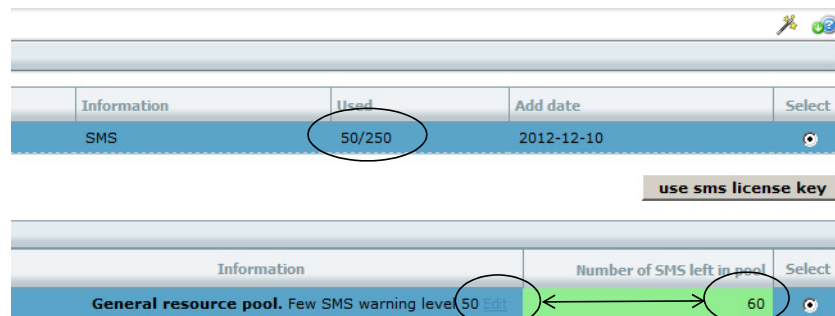
5. **[Use SMS license key]** ボタンをクリックし、SMS メッセージをこのリソースプールに追加します。



6. プールに追加する SMS メッセージの数を選択します。必ずしも一度にすべての量を追加する必要はありません。**[OK]** ボタンをクリックします。



選択したプールの SMS メッセージ数が更新され、サブスクリプションによって追加された数とそのうちの使用数が表示されます。



上の図に示すように、リストの **[Edit]** リンクを使用して、SMS メッセージの残り数の警告レベルを変更できます。



## 9.2.4 ユーザーサブスクリプションキーの追加

ユーザーサブスクリプションキーを使用して、Netbiter Argos アカウントのデフォルトのユーザー数（ユーザー 9 人 + 管理者 1 人）よりも多くのユーザーを登録できます。ユーザーの作成の詳細については、84 ページを参照してください。このサブスクリプションキーは [Account]>>[Licensing] にある [User] タブで入力します。

1. [Add subscription key] ボタンをクリックします。サブスクリプションキーを入力するためのフィールドが表示されます。

2. キーを入力して [Activate] ボタンをクリックします。新しいユーザーライセンスキーがリストに表示されます（スタンダードサブスクリプションのユーザーも「included」としてリストに示されます）。

3. 対応するラジオボタンをクリックして、使用する（新しい）ユーザーサブスクリプションを選択します。

Order ref	Information	Used	Add date	Select
	Account users included	1/9		<input type="radio"/>
	Users subscription 12 month valid for 10 users.	3/10	2012-12-10	<input type="radio"/>

4. サブスクリプションを適用するユーザーを選択します。

Used	Add date	Select
1/9		<input type="radio"/>
3/10	2012-12-10	<input checked="" type="radio"/>

Expiration date	Select
Administrator	<input checked="" type="checkbox"/>
Included	<input type="checkbox"/>

5. [Use subscription key] ボタンをクリックし、表示されたダイアログで選択を確認します。

これで、そのユーザーの行に有効期限（このユーザーに対してライセンスがいつまで有効であるか）が表示されます。ユーザーライセンスのデフォルト期間は、当月の残り + 1 年です。

Full name	Expiration date	Select
Test User	Administrator	
testuser 10	2013-12-31	<input type="checkbox"/>
testuser 11	Included	<input type="checkbox"/>

### 注:

- 1 年間のユーザーライセンスはさまざまな形で適用することが可能です。たとえば、10 ユーザーに 10 ライセンスを適用すると、各ユーザーに 1 年間のライセンスが与えられます。また、少数のユーザーにライセンスを複数回与えることも可能です。たとえば、5 人のユーザーにそれぞれ 2 年間のライセンスを与えるなど、必要な組み合わせを自由に選択できます。
- スタンダードサブスクリプションのユーザー数の上限である 9 ユーザーに達すると、既存のユーザーを新しいユーザーサブスクリプションに割り当てて（移動させて）スペースを空けない限り、新規ユーザーは追加できません。

## 9.3 [Account] - [Users] タブ

ユーザーは [Account]>>[Users] から設定します。

ユーザーは、1つのリストに表示するか、プロジェクトごとにグループ化できます。いずれの場合も、下記の例のように、各ユーザーに割り当てた権限が表示されます。

Account » Users » Users by project

All users Users by project Add user

Showing 1 to 14 of 14 entries

Full name	Project access	Project manager	Read data	Write data	Ack alarms
My first project					
Test User (admin)	✓	✓	✓	✓	✓
testuser 10	✓	✓	✓	✓	✓
Power plant					
Test User (admin)	✓	✓	✓	✓	✗
testuser 11	✓	✓	✓	✓	✓
testuser 2	✓	✓	✓	✓	✗
Water treatment plant					
Test User (admin)	✓	✓	✓	✓	✗
testuser 2	✓	✓	✓	✓	✗
The user has no access to any project.					
testuser 3	✗	✗	✗	✗	✗

### 9.3.1 ユーザー情報

ユーザーのプロパティと権限を確認するには、リストでユーザー名をクリックします。

#### [User Information] タブ

このタブにはユーザーの基本情報が表示されます。ほとんどのフィールドは説明がなくてもわかるようになっていますが、以下の点に注意してください。

- **[Mobile/Cell]** 番号は、SMS (テキスト) アラームメッセージの送信に使用されます。この番号は国際形式にする必要があります。たとえば、日本では +81xxxxxxxx にします。
- **[E-mail]** は、E-mail でのアラームメッセージの送信に使用されます。

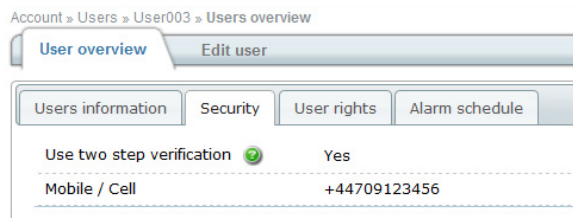
Account » Users » User003 » Users overview

User overview Edit user

Users information	Security	User rights	Alarm schedule
Username	User003		
First name	Joe		
Last name	User		
Company			
Phone no.			
Mobile / Cell			
E-mail	user003@example.com		
Address			
ZIP / Post code			
City			
State / County			
Country			
Language	English		
Time zone	Europe/Stockholm		
Additional information			

## [Security] タブ

このタブには、このユーザーに対して2段階認証が有効になっているかどうかが表示されます。2段階認証が有効になっている場合、ユーザーはログイン時に追加のワンタイムコードを入力するよう求められます。このコードはユーザーの携帯電話に送信されます。



## [User rights] タブ

このタブには、ユーザーがアクセスできるプロジェクトと、ユーザーに付与されたプロジェクトごとの権限が表示されます。

Account » Users » User003 » Users overview

User overview Edit user

Users information Security User rights Alarm schedule

Project name	Project access	Project manager	Read data	Write data	Remote access	Ack alarms	Alarms	Offline alarm	GPS alarm	Alarm via SMS
HMS EC220										
HMS EC250										
HMS EC350										

各種プロジェクト権限の列は以下のとおりです。

- **Project access** - プロジェクトへの基本的なアクセスが許可されます。
- **Project manager** - ユーザーがこのプロジェクトのプロジェクトマネージャー権限を持つことを示します。このユーザーレベルは、標準ユーザーと管理者の中間のアクセス権を持ちます。プロジェクトマネージャーは以下のことができます。
  - 許可されたプロジェクト内での設定の作成 / 変更とシステムの同期。
  - 許可されたプロジェクト内でのシステムの追加 / 削除 / アクティベート / アクティベート解除。
  - 許可されたプロジェクト間でのデバイスの移動。
  - ワンタイムレポートの作成。
- **Read data** - 読み取り専用アクセスが許可されます。
- **Write data** - 書き込みアクセスが許可されます。
- **Remote Access** - このオプションを選択すると、機器にリモートアクセスするためのトンネルを作成できます。これにより、デバイスに直接アクセスできます。なお、このオプションは、この機能を有効にして **Netbiter** でアカウント (V&C または M&A) を作成するときに、管理者ユーザーに対し自動的に有効になります。
- **Ack alarms** - これはアラームの確認を許可するユーザーに対して有効にする必要があります。
- **Alarms** - このユーザーに E-mail でアラームメッセージを送信する場合、この権限を有効にする必要があります。有効な E-mail アドレスも設定する必要があります。
- **Offline alarm** - プロジェクトのフィールドシステムがオフラインになった場合、このユーザーにアラームが送信されます。
- **GPS alarm** - プロジェクトのフィールドシステムからの GPS 位置アラームがこのユーザーに送信されます。まずアラームをセットアップして有効にする必要があります。
- **Alarm via SMS** - このユーザーに SMS メッセージでアラームが送信されます。有効な携帯電話番号も設定する必要があります。

### [Alarm Schedule] タブ

このタブには、アラームの受信タイミングがどのように設定されているかが表示されます。ここでの設定は、ユーザーがアクセスを許可されているすべてのプロジェクトのあらゆるタイプのアラームに適用されます。アラームスケジュールの詳細については、89ページを参照してください。

### 9.3.2 ユーザーの追加

新しいユーザーを追加するには、[Add User] タブをクリックします。そうすると、次のようなダイアログが開きます。

新しいユーザーの情報を入力します。赤のアスタリスクが付いたフィールドは必須入力項目です。

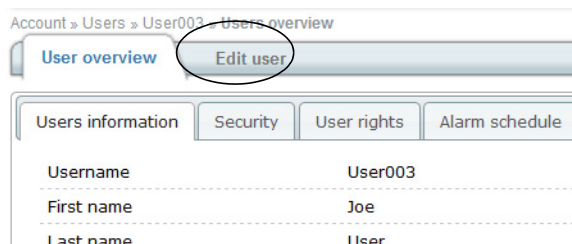
[Time Zone] と [Override the remote system time zone] の設定は以下のように動作します。

- [Time Zone] は、ユーザー / アカウントのタイムゾーンを意味します。
- フィールドシステムで使用されるタイムゾーンはこれとは異なる場合があります (フィールドシステムのプロパティを参照)。この場合、そのシステムからのタイムスタンプ (履歴データやアラームなど) はすべてフィールドシステムの日時になります。
- [Override the remote system time zone] を有効にした場合、プロジェクトのすべてのタイムスタンプでユーザー / アカウントのタイムゾーンが使用されます。デフォルト設定は [No] です。

必要な情報を追加した後、[Save] ボタンをクリックします。

### 9.3.3 既存ユーザーの編集

[Account]>>[Users] に移動し、ユーザーのリストでユーザー名をクリックします。そうすると、[User Overview] が開きます。[Edit User] タブへのリンクをクリックします。



#### ユーザー情報

最初に表示されるタブは [Add User] のダイアログとほぼ同じですが、ここではユーザー名の変更はできません。その他の情報はすべて変更できます。

#### セキュリティ (2段階認証)

このタブの設定は、2段階認証の使用を制御します。これは、ユーザーの携帯電話に送信される追加のワンタイムログイン用セキュリティコードの入力をユーザーに要求することで、より高いセキュリティを提供します。これは、すべてのログインに必要な標準のログイン手順の追加手順です。2段階認証は任意で、ユーザーごとに設定できます。

**Use two step verification** - 有効にすると (任意。ユーザーごとに設定)、ユーザーは、通常のパスワード、およびユーザーの携帯電話に送信されるワンタイムセキュリティコードの両方を入力する必要があります。

**Security code should be sent to this mobile/cell phone number:-** ユーザーの携帯電話番号を入力します。ログインに必要なワンタイムセキュリティコードを含む SMS / 携帯メールメッセージは、この番号に送信されます。

**Send a test security code to mobile/cell** - ユーザーの携帯電話にテスト用の SMS / 携帯メールを送信します。

**注:** SMS / 携帯メールが正しく配信されたら、用意されたチェックボックスをオンにしてください。

**Generate new recovery codes** - ユーザーが携帯電話を紛失したり、破損したり、その他の理由により携帯電話を利用できない状況に対応するため、非常時のリカバリコードのリストからログイン用のワンタイムセキュリティコードを引き出すことができます。このボタンをクリックすると、リカバリコードの新規リストが作成されます。

**重要**

- リカバリコードは、Netbiter Argos にログインしているときのみ生成できます。
- 将来使用するときのために、リカバリコードを印刷して保管してください。
- リカバリコードの新規リストを作成すると、以前に生成したコードは古くなって使えなくなります。

**ユーザー権限**

次に、[User Rights] タブをクリックします。

このリストでは、ユーザーにプロジェクトへのアクセス権を与えることができます。

特定のプロジェクトへのアクセス権を与えるには、まずそのプロジェクト行の最初のチェックボックス ([Project access]) をオンにする必要があります。続いて、残りのチェックボックスを使用して各プロジェクトでユーザーにどのアクセス権を与えるかを正確に指定します。

Account » Users » testuser4 » Edit user

User overview **Edit user**

Users information **User rights** Alarm schedule

Project name	Project access	Project manager	Read data	Write data	Ack alarms	Alarms	Offline alarm	GPS alarm
My first project	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Test project	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

save delete

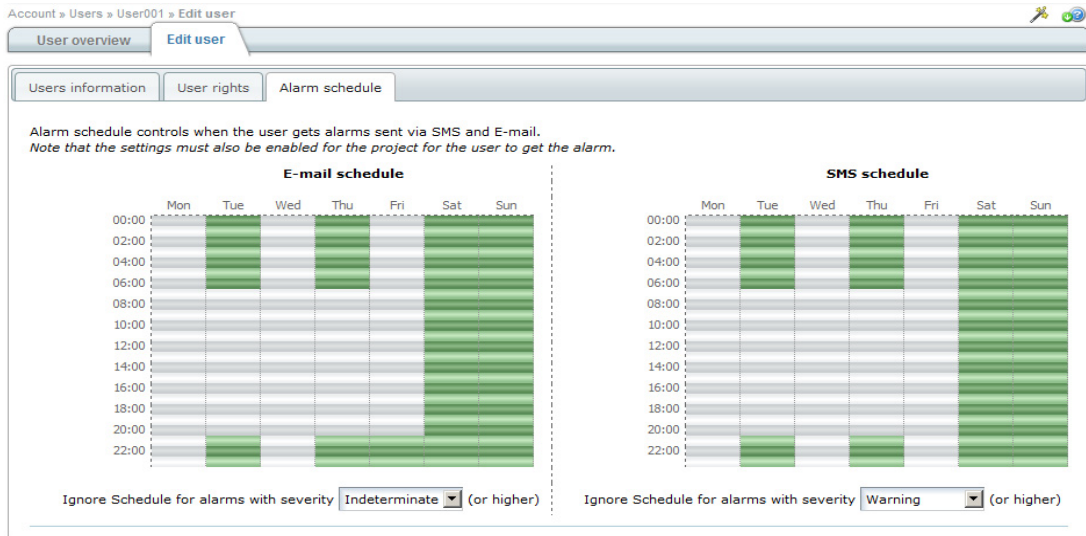
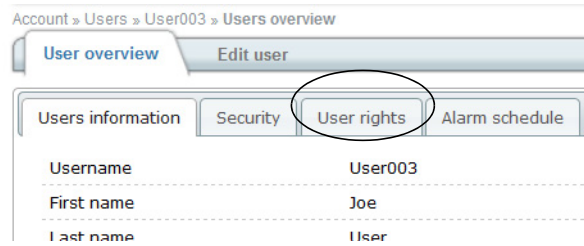
変更を加えた後、[Save] ボタンをクリックします。



## アラームスケジュール

[Alarm Schedule] タブでは、ユーザーが E-mail または SMS テキストでアラームを受信する時間帯を設定できます。

ここでは、ユーザーがいつアラームを受信するかのみ行います。これ以外に、関連するプロジェクトとフィールドシステムで個々のアラームを設定する必要があります。設定すると、ここで定義したスケジュールに従って E-mail または SMS メッセージによるアラームが自動的にユーザーに送信されます。



アラームスケジュールの2つのウィンドウはそれぞれ1週間を示し、各曜日が24個の色分けされた帯で表されています。帯をクリックするとその色が変わり、領域をクリックしてドラッグするとその領域全体の色が変わります（領域を「塗りつぶす」と似ています）。

上の例の緑の領域はユーザーがアラームを受信する時間帯を示し、灰色の領域はアラームが送信されない時間帯を示します。この例は夜間警備員用スケジュールの一例で、火曜日の夜間、木曜日の夜間、週末全体にアラームが送信されるようスケジュールされています。

## スケジュールの無視

ある一定レベル以上のアラームが発生した場合はスケジュールを完全に無視するように設定することもできます。スケジュールの下にあるドロップダウンリストからレベルを選択します。

上記の設定例で、たとえば [Major] に設定した場合、このユーザーは通常業務時間内にはすべてのアラームを受信し、メジャーまたはクリティカルレベルのアラームについてはそれ以外の時間帯にも受信します。



## 9.4 [Account] - [External Data Access] タブ

場合によっては、ユーザーが第三者または他のアプリケーションにフィールドシステムのデータへのアクセスを許可しなければならないことがあります。これは以下の3通りの方法で実現可能であり、いずれの方法も先に Netbiter Argos でセットアップする必要があります。

- **Web サービス** - 必要なデータに対する配布可能なアクセスキーを作成します。
- **RSS フィード** - RSS リーダーで使用するための URL を作成します。
- **公開プロフィール** - ユーザー定義のカスタムプロフィールを Netbiter Argos で他のアカウントと共有します。

### 9.4.1 Web サービスのアクセスキーの作成

Netbiter Argos の Web サービス API を使用すると、Netbiter Argos に接続されたフィールドシステムからの情報をカスタム Web サイトまたはアプリケーションに表示できます。

たとえば、アプリケーション固有のユーザーインターフェースやシステムエンドユーザーへのデータの表示などがその例です。Web サービスは、フィールドシステムからデータを読み出すタスクを容易にし、処理の基盤となるアドレス方式や低レベルプロトコルの複雑さを隠します。

1. **[Add]** ボタンをクリックします。
  2. **[Key Type]** で、以下の中から必要なアクセスレベルを選択します。
    - **Account** - アカウント全体へのアクセス
    - **Project** - 単一のプロジェクトへのアクセス（複数のプロジェクトの場合は同じ手順を繰り返します）
    - **Field System** - 単一のフィールドシステムへのアクセス（複数のシステムの場合は同じ手順を繰り返します）
    - **User** - 特定のユーザーのためのアクセス（複数のユーザーの場合は同じ手順を繰り返します）
- 選択したレベルに応じて、アクティブになるドロップダウンリストが決まります。
3. 上記の手順2で説明したように、関連するプロジェクト、システム、ユーザーのいずれかを選択します。
  4. **Use Whitelist** 設定で **[Yes]** または **[No]** を選択して、承認された IP アドレスのみにアクセスを許可するかどうかを指定します。IP ホワイトリストの詳細については、93 ページを参照してください。
  5. **[Save]** ボタンをクリックします。

保存した後、次の例に示すように、アクセスキーがリストに表示されます。このキーをコピーして、アクセスを必要とする外部関係者に提供します。

Key type	Information	Key	Whitelist	Active	Action
Project	Water treatment	AB090577072BB9CE3B684ADC91A5D9A7	✓	✓	Edit Deactivate

No IP whitelisted.

Web サービスの詳しい使い方は、[www.netbiter.jp](http://www.netbiter.jp) にある Netbiter Argos Web サービス API プログラミングガイドに記載されています。Netbiter Argos のオンラインヘルプも参照してください。

## 9.4.2 RSS フィードの作成

RSS フィードは、アラーム履歴を RSS リーダーに配信するのに使用できます。RSS フィードが追加されると、行の右端に RSS フィードアイコンが表示されます。これはメイン **[Presentation]** ページでも使用できます。



Account » External data access » RSS feed

Web services | **RSS feeds** | Published profiles

Key type	Information	Key	Whitelist	Active	Action
User	Test User (DemoSetup)	B219DDCA9100469A309C817A3E91020C			<a href="#">Edit</a> <a href="#">Deactivate</a>
User	Test User (DemoSetup)	2BE10120A569F60F3400CFCFA7EE933C			<a href="#">Edit</a> <a href="#">Deactivate</a>
Project	Power plant	8F342F35BEEE3F2426D1C00F4D7AD842			<a href="#">Edit</a> <a href="#">Deactivate</a>

No IP whitelisted.

**add**

General settings

Allow user to create alarm RSS Yes

- [Add]** ボタンをクリックします。
- [Key Type]** で、以下の中から必要なアクセスレベルを選択します。
  - **Account** - アカウントのすべてのプロジェクトとフィールドシステムが RSS フィードに含まれます。
  - **Project** - 単一のプロジェクトからの RSS フィード (複数のプロジェクトの場合は同じ手順を繰り返します)。
  - **Field System** - 単一のフィールドシステムからの RSS フィード (複数のシステムの場合は同じ手順を繰り返します)。
  - **User** - 特定のユーザーがアクセスできる内容のみを含めます (複数のユーザーの場合は同じ手順を繰り返します)。

選択したレベルに応じて、アクティブになるドロップダウンリストが決まります。
- 上記の手順で説明したように、関連するプロジェクト、システム、ユーザーのいずれかを選択します。
- [Use Whitelist]** 設定で **[Yes]** または **[No]** を選択します (93 ページを参照)。
- [Save]** ボタンをクリックします。

Account » External data access » RSS feed » Add

Web services | **RSS feeds** | Published profiles

Select key type: Project

Select project: Power plant

Select remote system: \*\*\*\* Select remote system \*\*\*\*

Select user: \*\*\*\* Select user \*\*\*\*

Use whitelist: Yes

**save**

### 全般設定

[General settings] で、RSS フィードの追加を管理者以外のユーザーにも認める設定を行うと、RSS アイコンが **[Presentation]** ページに追加されます。このアイコンをクリックすると、RSS フィードのユーザーキーがフィードリストに作成されます。この種の自動生成されるユーザーキーに対しては、ホワイトリストは有効になりません。

**Allow user to create alarm RSS** - これを **[Yes]** に設定すると、**[Presentation]** ページに RSS アイコンが追加されます。

## RSS フィードの読み取り

RSS フィードを読み取るには、RSS リーダーが必要です。最近のブラウザのほとんどは RSS リーダー機能を備えています。RSS マークをクリックすると RSS フィードが新しいウィンドウで開くので、その URL を RSS リーダーに追加します。



### 9.4.3 公開プロフィール

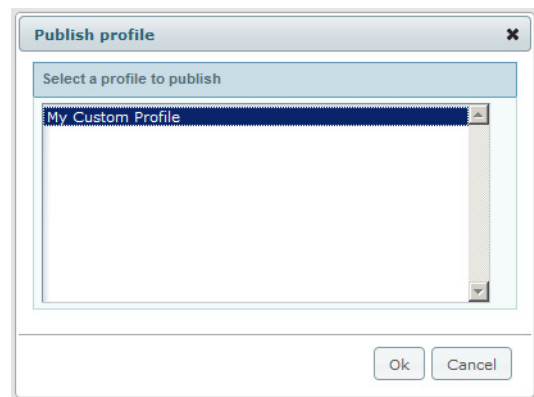
この機能を使用すると、他の Netbiter Argos アカウントからカスタムプロフィールを使用できるようになります。管理者として複数のアカウントを管理している場合は、他のアカウントでプロフィールを再利用できるようになります。



**注:** このプロセスでは、プロフィールの独立したコピーが作成されます。元のプロフィールに加えられた変更は公開プロフィールに反映されません。

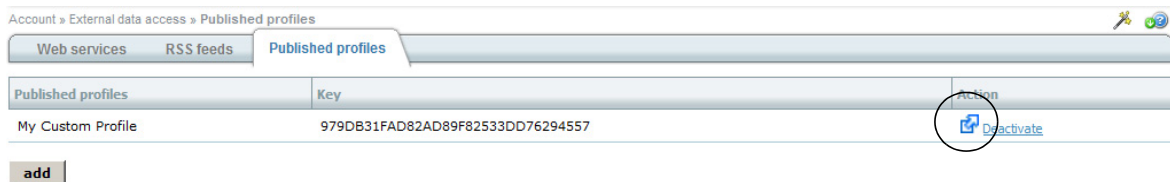
#### プロフィールの公開

1. [Add] ボタンをクリックします。
2. 公開するプロフィールを選択します。
3. [OK] ボタンをクリックします。

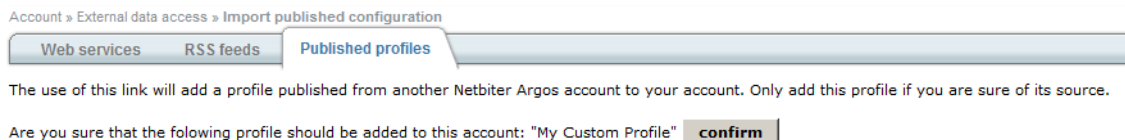


これでプロフィールが公開され、固有のキーとともに表示されます。

1. 青い矢印ボタンをクリックして (次の図を参照)、リンクの配布に関する指示に従います。



2. 次に、このプロフィールを使用する (他の) アカウントにアクセスします。ログインすると、確認待ちのプロフィールがあることを知らせるメッセージが表示されます。



3. [Confirm] ボタンをクリックすると、プロフィールがアカウントにインポートされます。

### 9.4.4 IP ホワイトリストの使用

承認済み IP アドレスのホワイトリストを使用すると、承認された IP アドレスのみにアクセスを許可することができます。ホワイトリストを使用する場合には、Web サービスのアクセスキーまたは RSS フィードへのアクセスを試みる各 IP アドレスが承認されている必要があります、そうでなければブロックされます。

ホワイトリストを設定するには、まずアクセスを許可するコンピューター / デバイスからアクセスキーまたは RSS フィード URL にアクセスします。次に、Web サービスのアクセスキーまたは RSS フィードの **[Edit]** リンクをクリックします。そうすると、クライアントの IP アドレスが表示されます。基本的なセキュリティ手順として前回使用日時が正しい / 妥当であることを確認してから、行の右端にある **[Approve]** をクリックします。

Account » External data access » RSS feed » Edit 🔍 🌐

Web services	RSS feeds	Published profiles	
Key type	Project - Power plant		
Key	8F342F35BEEE3F2426D1C00F4D7AD842		
Is Active	Yes		
Use whitelist	Yes <a href="#">Stop Use</a>		
IP	Approved	Latest use	Action
88.131.56.171	⊖	2012-11-12 11:48:10	<a href="#">Approve</a>

## 9.5 [Account] - [Customize] タブ

Netbiter Argos インターフェースのカスタマイズが行えます。そのためのツールが

**[Account]>>[Customize]** に用意されています。

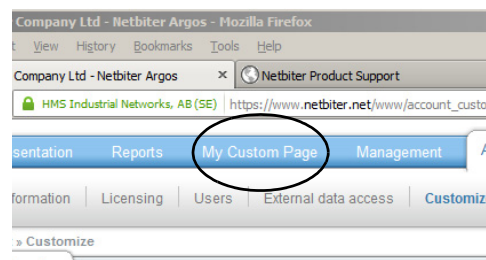
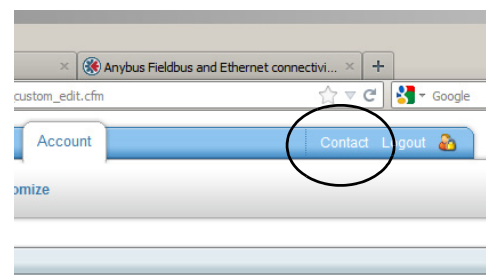
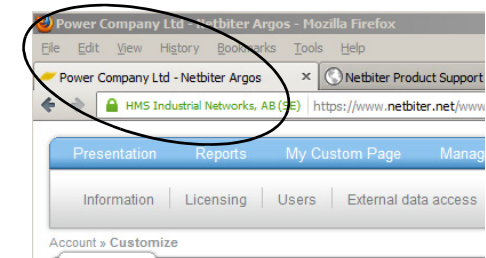
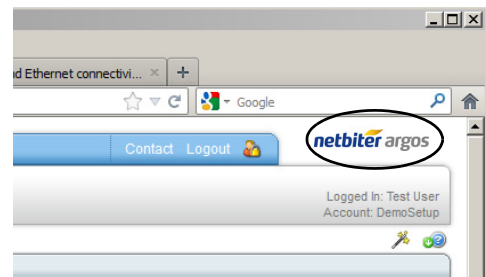
ここで変更を加えた後、ページの下部にある **[Save]** ボタンをクリックします。

**1. Company logotype** - ユーザーインターフェースの右上隅にロゴを配置できます。最大 140x36 ピクセルの JPG、JPEG、または PNG 画像を使用できます。

**2. Web page title** - Web ブラウザーのタイトルバーとタブに表示するタイトルを指定します。

**3. Contact account administrator** - トップレベルメニューに **[Contact]** という項目を追加します。ユーザーがこれをクリックすると、Netbiter Argos アカウントの管理者にメッセージを送信するための Web フォームが開きます。この部分には他にもさまざまなリンクが提供されます (たとえば、Netbiter Argos サポート機能へのリンクなど)。

**4. Custom defined page** - オプションのカスタム情報ページを表示する追加のメニュー項目 / タブをトップレベルメニューに追加します。このページはページタイトルのフィールドの下で WYSIWYG エディターを使用して編集します。このページには、たとえば会社に関する情報、このアカウントの詳しい紹介、その他の関連情報などを表示できます。



## 10. 他のゲートウェイの使用

### 10.1 Netbiter WS シリーズ

Netbiter® WS100 および WS200 は、Netbiter EasyConnect ゲートウェイと同じタイプのタスクを実行します。すなわち、柔軟性が高く使いやすい方法で接続デバイスへのアクセスを提供します。大きな違いは、WS シリーズでは、設定と管理をすべて内部 Web ページから行う点と、通常はローカル Ethernet ネットワークを介してアクセスする点です。


ただし、WS シリーズも Netbiter Argos に接続するように設定して、Netbiter EasyConnect と同じようにアラームや履歴データの送信が行えます。この場合、Netbiter WS は Netbiter Argos にアラームや履歴データの送信のみを行い、コマンドを受け取ることはできません。

Netbiter WS は、Netbiter Argos サーバーとのすべての通信を処理します。利点は、パブリック IP アドレスもスタティック IP アドレスも必要ない点です。

Netbiter WS からのアラームや履歴データを監視するには、製品の内部 Web ページから履歴データやアラームを設定します。設定したページは、Netbiter Argos によってデータの表示に使用されます。Netbiter WS へのローカルのログインが必要となるのは、履歴データやアラームを作成 / 編集するときだけです。Netbiter WS からの実際のデータはすべて自動的に Netbiter Argos サーバーに送信されます。

次の図は、Netbiter WS からのデータが Netbiter Argos に具体的にどのように表示されるかを示します。

The screenshot shows the Netbiter Argos web interface. At the top, there are navigation tabs: Presentation, Reports, My Custom Page, Management, and Account. Below these are sub-tabs: Projects, All systems, and All alarms. The main content area shows a breadcrumb trail: Presentation » Projects » My first project » WS-200 » Overview. Under the Overview tab, there are sub-tabs: Overview, Alarm, Historical data, Map, Notes, and Information. A 'Select page' dropdown menu is set to 'Latest logged data'. Below this is a table with columns 'Name', 'Value', and 'Date logged'. The table is empty, and a message below it reads 'No latest log-data available for the system'. Below this is another table with columns 'Source', 'Alarm', 'Time', and 'Severity'. This table is also empty, and a message below it reads 'No status available for the system'.

 注：Netbiter WS の情報は、ダッシュボードには表示できません。



### 10.1.1 Netbiter Argos アカウントへの Netbiter WS の追加

1. 製品ドキュメントの指示に従って Netbiter WS をインストールします。これにはシステム/デバイス ID とアクティベーションコードが必要です。
2. たとえば Netbiter Config ユーティリティを使用して、ローカルネットワーク上で Netbiter WS を検索し、リストに表示されたユニットをダブルクリックして Ethernet 接続の設定を開きます。
3. ローカルネットワークに関する必要な設定を行い、**[Set]** ボタンをクリックします。これでユニットが再起動します。
4. Netbiter Config でネットワークを再スキャンし、ユニットの IP アドレスを書き留めます。
5. ブラウザーのアドレスフィールドにこの IP アドレスを入力し、ユニットにアクセスします。
6. デフォルトパスワードの“admin”を使用して、製品の内部 Web ページにログインします。このパスワードは速やかに変更することをお勧めします。

NetBiter® WS200

Username: admin

Password: \*\*\*\*\*

login

based on NetBiter® technology

7. **[Setup]** >> **[Netbiter.net]** ページに移動します。

NetBiter® WS200

Logged in as: Administrator

Select page: Status Devices Alarm Log Configuration **Setup** About

Users Modbus Modem Regional E-Mail SNMP Webserver GPS Ethernet System **NetBiter.net**

**NetBiter.net information**

This product is compatible with the online management site [www.netbiter.net](http://www.netbiter.net), which provides enhanced functionality to manage remote equipment.

For more information about this service, please go to [www.netbiter.net/about](http://www.netbiter.net/about)

To use the NetBiter.net service you will need an activation code. If you don't have the activation code, please go to [www.netbiter.net/activation](http://www.netbiter.net/activation)

**NetBiter.net configuration**

NetBiter.net service: Disable

Device ID: 003011BF86C1

Activation code: \*\*\*\*\*

Enable transmission of:  Alarms  Log

save settings

**Netbiter.net status**

NetBiter.net service: Not enabled

8. **[Netbiter.net]** サービスを **[Enabled]** に設定します。
9. **[Activation code]** にユニットのアクティベーションコードを入力します。
10. **[Enable transmission of]** で **[Alarms]** と **[Logs]** の各チェックボックスをオンにして、アラームと履歴データの送信を有効にします。
11. **[Save settings]** ボタンをクリックします。

これでユニットが再起動し、数分後に Netbiter Argos サーバーに接続します。問題がある場合は、Netbiter Config を使用して DNS サーバーの設定を確認してください。

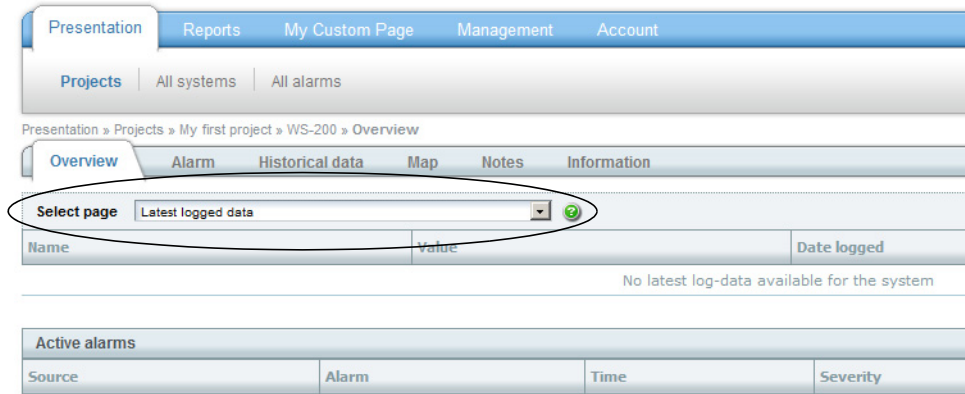
これで Netbiter Argos サーバーへの通信が設定されました。Netbiter WS でアラームと履歴データを設定するには、この製品のユーザードキュメントを参照してください。



## 10.1.2 Netbiter Argos での Netbiter WS の設定

次に、システム / デバイス ID とアクティベーションコードを使用して、Netbiter WS を新規システムとして Netbiter Argos に追加します。この手順は Netbiter EasyConnect の場合と同じです。詳細については、第 2 章を参照してください。

Netbiter WS が追加されてオンラインになると、Netbiter WS からのデータを表示できません。



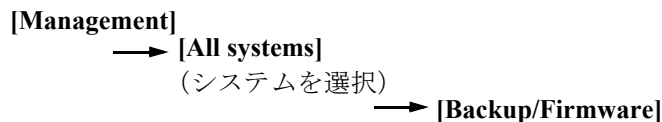
[Alarms] と [Historical data] の標準タブとは別に、必要なパラメータとその値を示すカスタムページを表示することもできます。まず、ドロップダウンリストから表示できるページをユニットのローカル Web ページで作成して設定する必要があります。また、Netbiter Argos 上の設定を更新することも必要です。次のセクションを参照してください。

## 10.1.3 Netbiter WS の設定の更新

前述したように、Netbiter WS のすべての設定はユニットの内部 Web ページから行います。Netbiter Argos から設定を行うことはできません。そのため、新しい履歴データやアラームを設定したとき、または既存の設定を編集したときは必ず、Netbiter Argos 上のユニットの設定も、ユニットでローカルに加えた変更と一致するように更新する必要があります。

Netbiter EasyConnect の場合は同期機能を使用します。ただし、これは Netbiter WS の場合は当てはまりません。Netbiter WS で設定を更新するには、設定をバックアップする必要があります。

1. 次のページに移動します。



2. [Backup] ボタンをクリックします。これにより、Netbiter WS から設定が読み取られ、変更された内容が Netbiter Argos に登録されます。

